

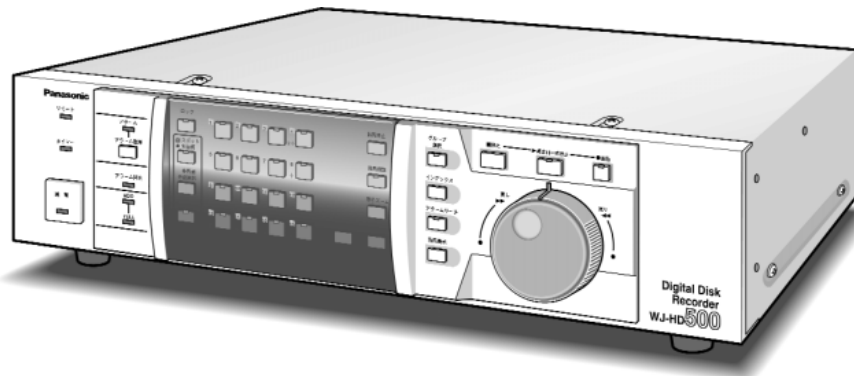
Panasonic

デジタルディスクレコーダー

取扱説明書

工事説明付き

品番 **WJ-HD500A(Ver.2)**



上手に使って上手に節電

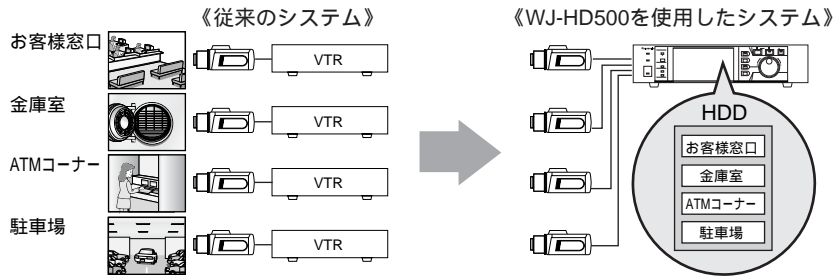
保証書別添付

このたびは、デジタルディスクレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ・この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なお読みください。
- ・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

商品概要

本機は、ハードディスクドライブ（HDD）にカメラ映像を録画する機能と、16台のカメラが接続可能なフレームスイッチャー機能を組み合わせた装置です。マルチレコーディング機能の採用により、録画時間帯の異なる場所や録画間隔を変えて録画したい場合など、運用形態が異なる環境でも本機1台で効率的に運用できます。



多彩な録画機能

- 内部タイマー録画により、指定した曜日の指定時刻（16件まで設定可能）に、自動で録画を行うことができます。
- タイムスイッチなどの外部タイマーを利用した自動録画ができます。
- 緊急事態などが発生したときに、外部に設置したスイッチ操作で鮮明な映像を録画する緊急録画機能を搭載しています。
- センサーなどからのアラーム入力時に鮮明な映像を録画するアラーム録画機能を搭載しています。

フレームスイッチャー機能

- 最大16台のカメラを接続できます。接続するカメラには、同期をかける必要はありません。
- カメラ映像を分割画面（4, 7, 9, 10, 13, 16画面）やシーケンス（カメラ映像の自動切替表示）で表示して監視を行うことができます。
- センサーなどからのアラーム入力に連動したカメラ映像の表示ができます。

安心のセキュリティ機能と信頼性

- 操作者認証機能の搭載により、パスワードにて本機を操作する人を限定できます。（不正操作防止）またパスワードは、システム管理者向けと運用者向けの2種類設定することができます。
- 録画した映像が何らかの理由で改ざんされた場合、改ざんされたことを検出して知らせる機能を搭載しています。
- 万一、機器が故障したときでも、録画した大切な映像の消失を防止するバックアップ機能、ミラーリング機能を搭載しています。（：別売のDVD増設ユニット接続時に使用可能です。）

拡張性

- 別売のネットワークインターフェースボードを装着することにより、10BASE-Tまたは100BASE-Tを介したEthernet（イーサネット）ネットワークへの接続が可能になります。
- 別売のモーションディテクターボードを装着することにより、カメラ映像内の動きを検出する“動き検出アラーム機能”が使用可能になります。

付属品をご確認ください

電源コード	1	ラック取付ねじ（呼び径5タッピング）	4
ラックマウント金具	2	取扱説明書（本書）	1
ラックマウント金具取付ねじ	4	保証書	1

本書について

本書の構成

本書では、機器の取り扱い方法と設置工事について説明しており、構成は次のようになっています。

- はじめに : 最初に読んでいただきたいことをまとめています。
- 準備 : 使用を開始する前に準備していただきたいことを説明しています。
- 録画操作 : 録画のしかたを説明しています。
- 再生操作 : 再生のしかたを説明しています。
- スイッチャー操作 : カメラ映像をモニターに表示して監視する方法について説明しています。
- 便利な機能 : 本機の多彩な機能の設定方法、使用方法について説明しています。
- 機能設定 : メニュー画面ごとに設定操作方法を説明しています。
- 設置 : 接続方法やラックへの取り付け方法など、設置工事に関する内容をまとめています。
(販売店や工事施工店向けの説明です。)
設置工事は、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。
- その他 : システムの再構成方法、メニュー画面の構成、故障かなと思ったときに確認していただきたい内容、機器の仕様についてまとめています。

本文中の表現について

本書の中で使用している用語の意味は次のとおりです。その他の用語については、本文中で説明しています。

- ハードディスク、HDD : 本機や別売の増設ユニットに搭載されているハードディスクドライブのことです。
このハードディスクドライブに映像が録画されます。
- レコード : ハードディスクに録画した映像のことです。録画データと表現している場合もあります。
- レコード番号 : レコードに自動的に付与される番号です。レコードを検索するときを使用します。
- チャンネル、CH : 映像入力端子1～16に入力された映像のことです。
- グループ : グループ設定メニューで設定するカメラグループのことです。接続したカメラを4つのグループ（G1、G2、G3、G4）に分けることができます。
内部タイマー録画では、タイマー設定ごとに録画するカメラをグループで指定します。

登録商標について

- BURN-Proofは、三洋電機株式会社の商標です。

もくじ

ご使用前に

準備

録画操作

再生操作

スイッチャー操作

便利な機能

機能設定

設置

その他

はじめに

安全上のご注意	6
取り扱いについて	8
各部のなまえ	10
前面パネル部	10
後面パネル部	12
画面表示	13

準備

操作の流れ	14
電源を入れる	15
ハードディスクのフォーマット	16
DVD-RAMディスクのフォーマット	20
日付・時刻を合わせる	22

録画操作

録画を始める前に	24
ハードディスクについて	24
バックアップについて	24
録画モードについて	25
録画のしかた	28
手動操作で録画する（マニュアル録画）	28
内部タイマー録画	30
外部タイマー録画	34
アラーム録画	35
緊急録画	37

再生操作

再生のしかた	38
再生する	38
検索機能を利用して再生する	42
バックアップ（コピー）した録画データを再生する	44
カメラ映像と一緒に再生画を見る	46

スイッチャー操作 [フレームスイッチャー機能]

スイッチャー操作を始める前に	47
スポットモニターと多画面モニターについて	47
スポット表示とシーケンス表示について	47
スポット表示でカメラ映像を見る	48
1画面スポット表示	48
多画面スポット表示	50
シーケンス表示でカメラ映像を見る	52
1画面シーケンス表示	52
4画面シーケンス表示	54
グループ1画面シーケンス表示	56
グループ多画面シーケンス表示	58

便利な機能

操作者認証機能（キーロック）	60
ボタン操作時のブザー機能	64
画像データ改ざん検出機能	65
アラーム機能	66
アラーム停止機能	66
端子アラーム	67
映像ロスアラーム	68
障害検出アラーム	69
動き検出アラーム	70
自動時刻合わせ機能	73
バックアップ機能	75
ミラーリング機能	82
録画データ消去機能	85

機能設定

メニュー画面について	89
共通機能の設定	90
マニュアル録画・外部タイマー録画機能の設定	94
内部タイマー録画機能の設定	98
緊急録画機能の設定	108
スイッチャー機能の設定	112
アラーム機能の設定	118
表示機能の設定	121
通信機能の設定	124
システム設定	130
DVD設定	135

設置

接続のしかた	136
増設ユニットの接続方法	138
DVD増設ユニット、DVD-RAMドライブ、CD-Rドライブの接続方法	139
PS・Data対応機器の接続方法	140
制御入力/出力端子の接続例	141
アラーム端子の接続例	144
シリアル端子の接続例	146
ネットワークインターフェースボード装着時の接続例	146
ラックへの取り付けかた	147
オプションボードの取り付けかた	148

その他

システムの再構成（リンクハズシ）について	150
メニュー画面構成	152
故障とありましたら	154
仕様	155
初期設定（工場出荷状態）に戻す	156
パスワードの確認方法	157
保証とアフターサービス	158

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

機器の上に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止

落下によるけがの原因になります。

⚠ 警告

電源コード・電源プラグを破損するよう
なことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、
無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、
重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショール
ト・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱に
よる火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないで
ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で
絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使
い方や、交流100V以外での使用はしな
い



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱
による火災の原因になります。

禁止

ぬれた手で、電源プラグ
の抜き差しはしない



感電の原因になり
ます。

ぬれ手禁止

⚠ 注意

通風孔をふさがない



内部に熱がこもり、
火災の原因になりま
す。

禁止

振動や強い衝撃を与えな
い



火災や感電、故障の
原因になります。

禁止

湿気やほこりの多い場所
に設置しない



火災や感電、故障の
原因になります。

禁止

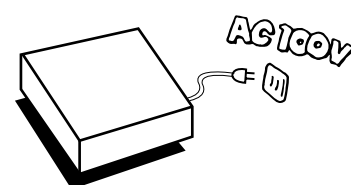
取り扱いについて

使用上のお願い

使用電源は

AC100 V (50/60 Hz) です。

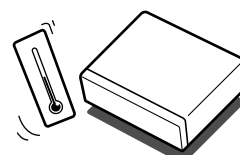
また、消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じACコンセントからは、電源をとらないでください。



使用温度範囲は

5 ~ 45 です。

この温度範囲外で使用すると、内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。



5°C~45°C

内蔵バックアップ電池について

初めて使用するときは、48時間以上の連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池を充電してください。

電池の充電が不十分ですと、停電があったときに内部時計の時刻が狂ったり、停電前の動作状態に正しく戻れない場合があります。

内蔵バックアップ電池交換の目安は約5年です。交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

振動や衝撃を与えないでください

ハードディスクドライブは精密部品です。振動や衝撃を与えると故障の原因となり、録画された映像が使用できなくなります。

結露に注意してください

本機を温度差の大きいところや湿度の高いところへ移動すると、結露を生じることがあります。結露したまま使用すると故障の原因となりますので、ご注意ください。

内蔵ハードディスク、放熱ファンは消耗品です。約30,000時間（ハードディスクは周囲温度25°Cの環境で使用時）を目安に交換してください。

消耗品の交換は、保証期間内でも有料となります。交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

この時間は、あくまでも交換の目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

電源スイッチについて

電源スイッチを“切”にしても電源からは遮断されません。（電源表示灯が消灯しても、電源が遮断されているとは限りません。）

電源を遮断する場合は、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

設置上のお願い

横置き（水平）に設置してください
縦置きや傾けての設置はしないでください。

5 cm以上の間隔をあけてください

本機の側面・後面・上面は、壁面から5 cm以上離してください。また、前面および側面にある空気吸い込み口をふさがないようにしてください。

この吸い込み口から空気を通して、内部のハードディスクを冷却しています。

空気吸い込み口にほこりやゴミが目立ってきたときは、掃除機などで取り除いてください。

雑音源を避けてください

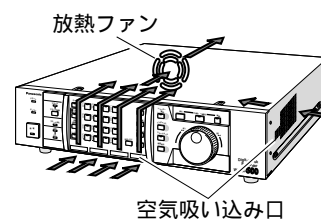
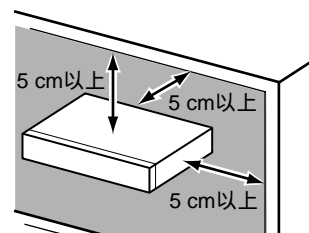
強い磁界を発生する機器（テレビ、ラジオ、無線機など）の近くでは、画像の乱れや雑音が発生する恐れがあります。また、電灯線などに近づけてケーブルを配線すると、雑音が入る場合があります。

このようなときは、ケーブルの配線や設置場所を変えてください。

電源について

電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）に容易に手が届くこと。
- (3) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

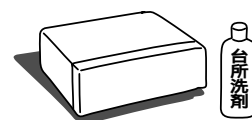


お手入れ

電源を切り、乾いた布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、よく絞り、軽くふいてください。

ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

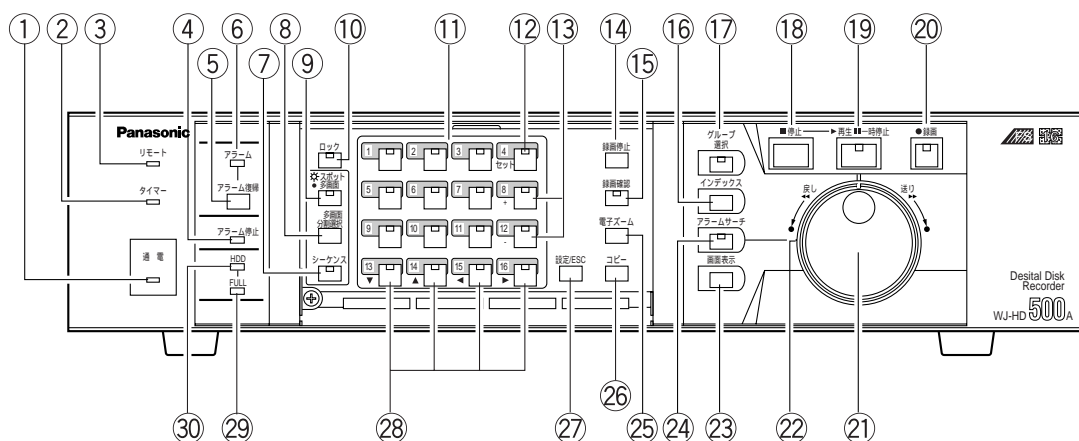


**ベンジン
シンナー
殺虫剤**

その他

本機の故障もしくは不具合により録画されなかった場合の補償についてはご容赦ください。

各部のなまえ (前面パネル部)

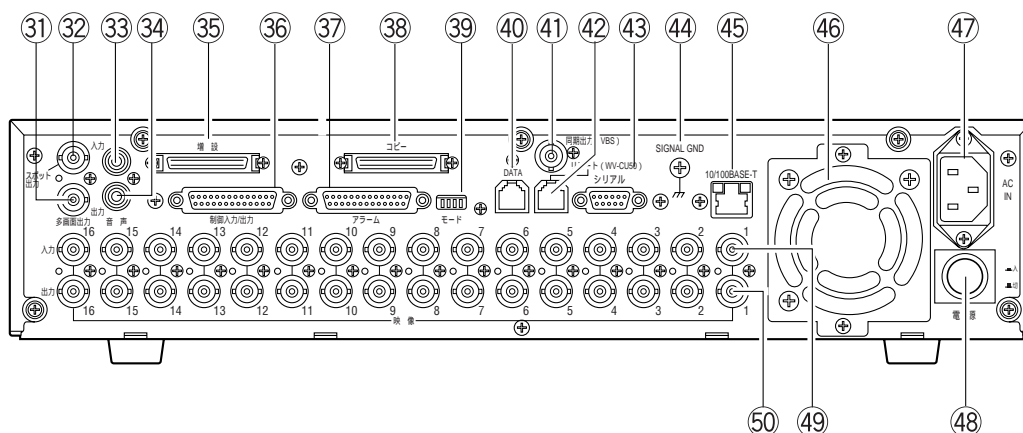


- ① 電源表示灯
後面にある電源スイッチを“入”にすると点灯します。
- ② タイマー表示灯
内部タイマー録画が“ON”のとき点灯します。タイマー動作中は点滅します。
- ③ リモート表示灯
シリアル端子、または10/100BASE-T端子から本機を制御しているときに点灯します。
- ④ アラーム停止表示灯
アラーム停止状態のとき点灯します。
- ⑤ アラーム復帰ボタン
アラーム動作状態およびアラーム停止状態から通常状態に戻るときに押します。
- ⑥ アラーム表示灯
アラーム発生時に点滅し、自動復帰すると点灯します。
- ⑦ シーケンスボタン
シーケンス表示するときを押します。シーケンス表示中に押すと、シーケンスを一時停止します。
- ⑧ 多画面分割選択ボタン
多画面の分割数を切り換えます。
- ⑨ スポット/多画面ボタン
カメラ映像の表示方法を操作するモニター（スポットモニター、多画面モニター）を選択します。
- ⑩ ロックボタン
操作者認証機能（キーロック）使用時に使用します。
- ⑪ カメラボタン
 - モニターに表示するカメラ映像を選択します。カメラボタン1～16は、映像入力端子1～16と対応しています。
 - 録画中やモニター表示中は、対応するカメラボタンが点灯します。
 緑色：モニターに表示中
 黄色：モニターに表示している映像を録画中
 橙色：録画中（モニター非表示）
- ⑫ セットボタン
機能設定（メニュー画面表示）時、下の階層に移動するときを使用します。
- ⑬ +ボタン、-ボタン
 - 電子ズーム機能使用時、電子ズーム倍率を変更します。
 - 機能設定（メニュー画面表示）時、設定値の変更を使用します。
- ⑭ 録画停止ボタン
録画を停止します。
- ⑮ 録画確認ボタン
カメラ映像と再生画を一緒にモニターへ表示するときを使用します。
- ⑯ インデックスボタン
アラームサーチボタンの状態により、録画リスト（一覧表示またはサムネール表示）またはアラームログリストを表示します。
- ⑰ グループ選択ボタン
グループの選択状態を切り換えます。
- ⑱ 停止ボタン
再生を停止します。

- ⑱ 再生/一時停止ボタン
再生を開始します。再生中に押すと、一時停止状態になります。
- ⑳ 録画ボタン
録画を開始します。
- ㉑ ジョグダイヤル
 - 順再生・逆再生、順コマ送り・逆コマ送り、アラームサーチスキップ、レコードサーチスキップを行うときに使用します。
 - 検索機能使用時、レコードを選択するときに使用します。
 - 機能設定（メニュー画面表示）時、設定値の変更に使用します。
- ㉒ シャトルリング
 - 順再生・逆再生、アラームサーチスキップ、レコードサーチスキップを行うときに使用します。
- ㉓ 画面表示ボタン
画面に表示されるカメラタイトルなどの表示/非表示を切り換えます。
- ㉔ アラームサーチボタン
 - インデックスボタンを操作して表示するリストの内容を切り換えます。
点灯：アラーム録画・緊急録画リスト
消灯：録画リスト
 - 再生中は、アラームサーチスキップ機能とレコードサーチスキップ機能の切り換えを行います。
点灯：アラームサーチスキップ機能
消灯：レコードサーチスキップ機能
- ㉕ 電子ズームボタン
 - 電子ズーム機能を使用するときに押します。
 - リスト表示中に押すと、押すたびにHDDとDVDまたはCD-Rの表示を切り換えます。
- ㉖ コピーボタン
 - 選択中のレコードをDVD-RAMディスクまたはCD-Rディスクへコピー（バックアップ）します。
 - 約2秒間押し続けると、DVD-RAMディスクまたはCD-Rディスクの取り出しができます。
 - CD-Rディスクへの書き込みを完了する際にも本ボタンを約2秒間押しつづけます。
- ㉗ 設定/ESCボタン
 - 約2秒間押し続けると、セットアップメニューを表示します。メニュー画面表示中に約2秒間押し続けると、通常画面に戻ります。
 - 機能設定（メニュー画面表示）時、上の階層に移動するときに使用します。
- ㉘ カーソルボタン
 - 電子ズーム機能使用時、電子ズームの範囲を移動します。
 - 機能設定（メニュー画面表示）時、カーソルの移動に使用します。
- ㉙ FULL表示灯
ハードディスクの残容量警告時に点灯します。
- ㉚ HDD表示灯
ハードディスクにアクセスしているとき点灯します。

各部のなまえ (後面パネル部)

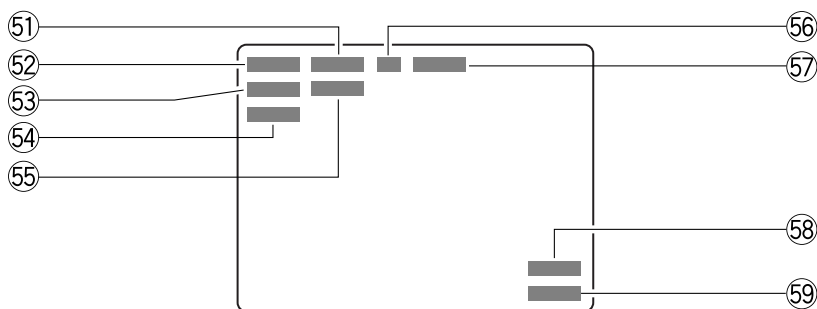
各端子の詳細説明は、接続のしかた (136ページ) をご覧ください。



- ③1 多画面出力端子
多画面モニターを接続します。
- ③2 スポット出力端子
スポットモニターを接続します。
- ③3 音声入力端子
ライン (LINE) 入力です。マイクアンプなどからの音声を入力します。
- ③4 音声出力端子
音声を出力する端子です。
- ③5 増設端子
別売の増設ユニットを接続します。
- ③6 制御入力/出力端子
緊急録画、自動時刻合わせ機能、停電対策などを行うときに使用する端子です。
- ③7 アラーム端子
センサーなどを接続します。
- ③8 コピー端子
別売のDVD増設ユニットやPanasonic製DVD-RAMドライブ、BURN-Proof対応Plextor製CD-Rドライブを接続します。
- ③9 モードスイッチ
PS・Data(パナソニック セキュリティ データ)対応機器や増設ユニットを接続する場合に、終端設定を行うスイッチです。
- ④0 DATA (データ) 端子
PS・Data(パナソニック セキュリティ データ)システムに接続するとき 사용합니다。
- ④1 同期出力 (VBS) 端子
接続するカメラに同期をかけたい場合、システムカメラなどの同期入力端子と接続します。
- ④2 リモート端子
別売の専用コントローラーを接続します。
- ④3 シリアル端子
パソコンを接続します。(RS-232C)
- ④4 SIGNAL GND端子
- ④5 10/100BASE-T端子 (オプション)
別売のネットワークインターフェースボードを取り付けた場合の端子です。
10BASE-Tまたは100BASE-Tを介したEthernet (イーサネット) ネットワークへ接続するとき 사용합니다。
- ④6 放熱ファン
- ④7 電源端子
付属の電源コードを接続します。
- ④8 電源スイッチ
- ④9 映像入力端子
カメラの映像を入力する端子です。
- ⑤0 映像出力端子
映像入力端子に入力された映像をループスルー出力します。

各部のなまえ (画面表示)

スポットモニターは、グループタイトルとカメラタイトルのみ表示できます。

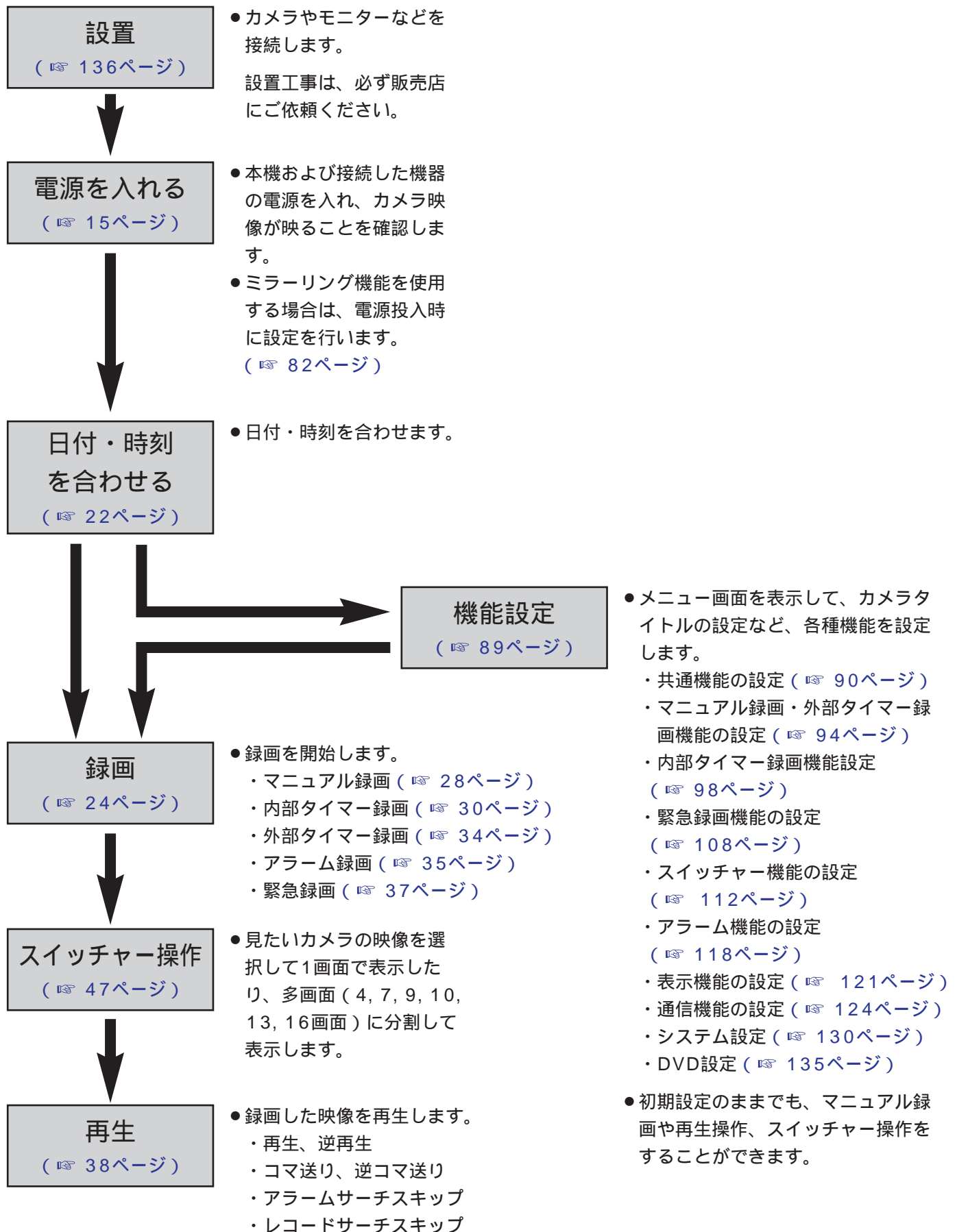


- ⑤① 時刻表示
時 (24時間単位) 分、秒を表示します。
- ⑤② 日付表示
年 (西暦下2桁) 月、日を表示します。
- ⑤③ 動作状態表示
REC **% : 録画中 (HDD終端動作設定が“STOP”の場合、**%にHDDの残容量を表示)
EMERGENCY : 緊急録画中
***** : レコード番号 (再生時のみ。レコード番号は、録画時に自動で付けられます。)
- ⑤④ ディスク残容量表示 / 障害検出表示
ハードディスク (以下、HDD) DVD-RAMディスクの残容量表示および温度異常やドライブ異常などの障害情報を表示します。
障害情報の表示内容については、障害検出アラームをご覧ください。
HDD **% : HDDの残容量表示 (* *には数値を表示) 設定した残容量になると表示されます。
DISK FULL : HDDの残容量0%
DVD **% : DVD-RAMディスクの残容量表示 (* *には数値を表示) 設定した残容量になると表示されます。
FORMAT ERR : 本機で未フォーマットのDVD-RAMディスク装着時
MEDIUM ERR : DVD-RAM以外のディスク装着時
NO DISC : DVD-RAMディスク未装着
PWR LOSS : 停電検出時 (UPS使用時)
WARNING *-* : HDDの故障予告表示
この場合、HDDを交換してください。 (*-* : HDD番号)
CLOSE CD! : CD-Rへのコピー未終了
コピーボタンを約2秒間押し続けコピーを終了してください。
- DVD BUSY : DVD準備中
DVD未接続時に、本機の設定がDVDを使用する状態になっていると、表示が消えませんがご注意ください。
- PROTECTED : DVD-RAMディスクがライトプロテクト状態
- COPY ERROR : DVDへの書き込み異常発生時
- ⑤⑤ 操作状態表示
▶ : 再生中
▶ x * : *倍速再生中 (*には数値を表示)
|| : 一時停止中
AUTO COPY: 自動コピー中
COPYING : 手動コピー中
LOCKED : キーロック中
ERASING : 録画データ消去中
- ⑤⑥ グループ表示
選択されているグループ (G1, G2, G3, G4) を表示します。全グループ選択時は表示しません。
- ⑤⑦ 電子ズーム表示 / ネットワークアクセス表示
ZOOM x * : 電子ズーム機能使用時 (*には数値を表示)
REMOTE : ネットワーク経由で本機にアクセスされている状態
- ⑤⑧ グループタイトル表示
設定したグループタイトルを表示します。
- ⑤⑨ カメラタイトル表示 / アラーム発生表示
設定したカメラタイトルを表示します。
また、設定により、アラーム発生時に次の表示に切り換えることもできます。
ALARM : 端子アラーム発生時
VMD : 動き検出アラーム発生時
CH ** LOSS: 映像ロスアラーム発生時

操作の流れ

本機を設置するところから再生操作までの流れは次のとおりです。

準備



電源を入れる

ミラーリング機能を設定する場合は、下記の操作を行わず、82ページの操作を行ってください。

準備

1

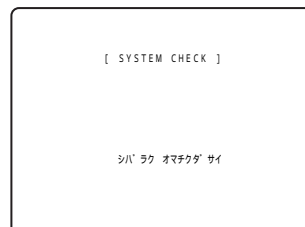
本機に接続した周辺機器の電源を入れます。

2



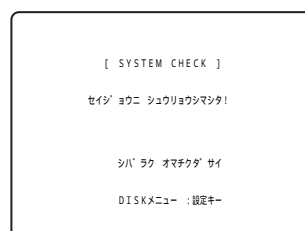
本機の電源を入れます。

- 起動画面が表示され、システム確認を行います。



3

システム確認が正常に終了すると、起動画面上に“セイジ ヨウニ シュウリョウシマシタ!”と表示し、カメラ映像に切り換わります。

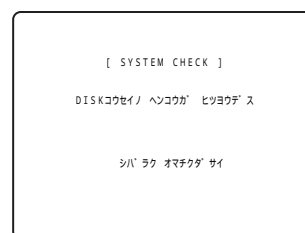


メモ

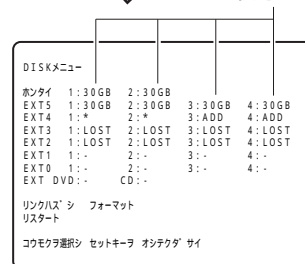
システム確認時、起動画面上に“DISKコウセイノ ヘンコウガ ヒツヨウデス”と表示されると、約5秒後に“DISKメニュー画面”に切り換わります。

この画面が表示される原因と対応方法は次のとおりです。[]内の表示は、DISKメニュー画面に表示されるハードディスクの状態表示を示します。

- ① 別売の増設ユニットを接続した [ADD]
増設ユニットのハードディスクをフォーマットする必要があります。(16ページ)
- ② ハードディスクを交換した [*]
交換したハードディスクをフォーマットする必要があります。(16ページ)
- ③ ハードディスクを取り外した [LOST]
システムの再構成 (リンクハズシ) を行う必要があります。(150ページ)
- ④ ハードディスクが故障した [*]
お買い上げの販売店にご相談ください。
システムの再構成 (リンクハズシ) を行えば、故障したハードディスクを無いものとして、本機を使用できる状態にします。(150ページ)



↓ ハードディスクの状態表示



[DISKメニュー画面]

ハードディスクのフォーマット

次のようなときは、ハードディスクをフォーマットする必要があります。

- 本機のハードディスクを交換したとき（交換したハードディスクをフォーマット）
- 本機に別売の増設ユニットを接続して初めて使用するとき（増設ユニットのハードディスクをフォーマット）

メモ

- 一度使用した（録画した）ハードディスクにフォーマットを行うと、録画されていたデータは消去されます。
- ミラーリング設定時は、交換したハードディスクをフォーマットすると、ミラーリング設定されているもう片方のハードディスクにある録画データがコピーされます。この場合、約2時間（30GBの場合）かかりますのでご注意ください。

1

本機に接続した周辺機器の電源を入れます。

2



本機の電源を入れます。

- 起動画面が表示され、システム確認を行います。

[SYSTEM CHECK]

シハ'ラク オマチクダ'サイ

3

起動画面に“DISKコウセイノヘンコウガ ヒツヨウデス”と表示され、約5秒後に“DISKメニュー画面”に切り換わります。

- DISKメニュー画面上の表示内容は次のとおりです。
容量表示：前回存在し、今回も問題ないHDD
ADD：今回追加されたHDD
*：故障または交換されたHDD
LOST：前回存在し、今回取り外されたHDD
-：前回もなく、今回も存在しないHDD
ERR：録画中に故障したHDD

[SYSTEM CHECK]

DISKコウセイノヘンコウガ ヒツヨウデス

シハ'ラク オマチクダ'サイ



DISKメニュー

ホンタイ	1:30GB	2:30GB		
EXT5	1:30GB	2:30GB	3:30GB	4:30GB
EXT4	1:ADD	2:ADD	3:ADD	4:ADD
EXT3	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT2	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT1	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT0	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT DVD	:-	CD:-		

リンクハズ'シ フォーマット
リスタート

コウモクヲ選択シ セットキーヲ オシテクダ'サイ

4



カーソルを“フォーマット”に合わせます。

リンクハズ'シ フォーマット
リスタート

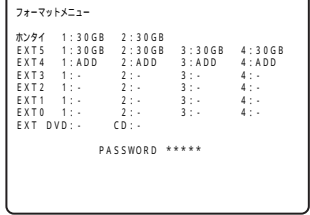
カーソルとは、メニュー上で反転表示している部分です。この説明書では、白文字で表現しています。

ハードディスクのフォーマット

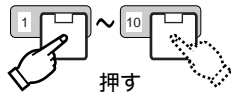
5



フォーマットメニュー画面を表示します。



6



ALLパスワード¹を入力します。(初期設定:12345)

- カメラ10ボタンは、“0”の入力に使用します。
- パスワードを入力すると、パスワードの照合を自動的に行います。
- パスワード入力を途中でやめるときは、設定/ESCボタンを押します。

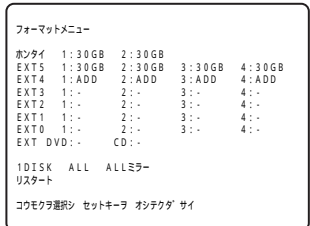
PASSWORD - - - - -



PASSWORD *****

7

ALLパスワードと一致するとフォーマットメニュー画面の下部にメニュー項目が表示されます。



8



カーソルを“1DISK”または“ALL”に合わせます。

- 1DISK : 1つのハードディスクを選んでフォーマットします。
- ALL² : すべてのハードディスクをフォーマットします。

1DISK ALL ALLミラー
リスタート

9



フォーマット方法を決定します。

- “1DISK”を選択した場合は、手順10へ進んでください。
- “ALL”を選択した場合は、手順12へ進んでください。

1DISK ALL ALLミラー
リスタート

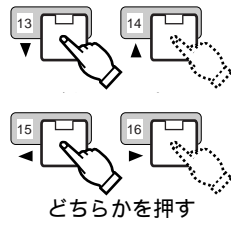
1 ALLパスワードの設定は、操作者認証機能の設定で行います。
([P.60](#) ページ)

2 ALLは、すべてのハードディスクをフォーマットするため、録画されているハードディスクがあると、その録画データは消去されます。

ハードディスクのフォーマット

準備

10




カーソルをフォーマットしたいハードディスク番号に合わせます。

- “ADD” または “*” 表示がフォーマットの必要なハードディスクです。

ホンタイ	1:30GB
EXT5	1:30GB
EXT4	1:ADD

11



フォーマットするハードディスクを決定します。

- 画面下部に “ジッコウシマスカ? YES NO” と表示されます。


1DISKフォーマットメニュー

ホンタイ	1:30GB	2:30GB		
EXT5	1:30GB	2:30GB	3:30GB	4:30GB
EXT4	1:ADD	2:ADD	3:ADD	4:ADD
EXT3	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT2	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT1	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT0	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT DVD:-		CD:-		

ジッコウシマスカ? YES NO

YES/NO 左選択シ セットキーヲ オシテクダサイ


12



カーソルを “YES” に合わせます。

ジッコウシマスカ? YES NO

13



フォーマットを開始します。

- フォーマット中は、画面下部に “ジッコウチュウ シバラク オマチクダサイ” と表示されます。

1DISKフォーマットメニュー

ホンタイ	1:30GB	2:30GB		
EXT5	1:30GB	2:30GB	3:30GB	4:30GB
EXT4	1:ADD	2:ADD	3:ADD	4:ADD
EXT3	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT2	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT1	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT0	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT DVD:-		CD:-		

ジッコウチュウ シバラク オマチクダサイ

14

フォーマットが終了すると、画面下部に “シュウリョウシマシタ!” と表示されます。

《1DISKを選択した場合》

- 約5秒後にハードディスクの選択状態（手順10）へ戻ります。
- 続けて他のハードディスクをフォーマットするときは、手順10以降の操作を行ってください。
- フォーマットをやめるときは、手順15以降の操作を行ってください。

《ALLを選択した場合》

- 約5秒後に通常画面（カメラ映像）が表示されます。

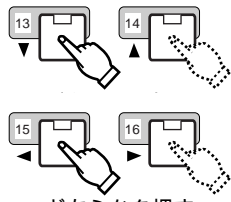
1DISKフォーマットメニュー

ホンタイ	1:30GB	2:30GB		
EXT5	1:30GB	2:30GB	3:30GB	4:30GB
EXT4	1:ADD	2:ADD	3:ADD	4:ADD
EXT3	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT2	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT1	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT0	1:-	2:-	3:-	4:-
EXT DVD:-		CD:-		

シュウリョウシマシタ!


ハードディスクのフォーマット

準備

15  カーソルを“リスタート”に合わせます。

どちらかを押す

リスタート

16  本機を再起動します。

- システム確認終了後、通常画面（カメラ映像）が表示されます。
- “ADD”、“*”、“LOST”表示のハードディスクがあると、再びDISKメニュー画面が表示されます。詳しくは、15ページの“メモ”をご覧ください。

1DISKフォーマットメニュー（ハードディスク選択状態）

機器の名称

ホントイ : WJ-HD500A

EXT0~5 : 増設ユニット

EXT DVD : DVD増設ユニット

1DISKフォーマットメニュー

ホントイ	1: 30GB	2: 30GB	3: 30GB	4: 30GB
EXT5	1: 30GB	2: 30GB	3: 30GB	4: 30GB
EXT4	1: ADD	2: ADD	3: ADD	4: ADD
EXT3	1: -	2: -	3: -	4: -
EXT2	1: -	2: -	3: -	4: -
EXT1	1: -	2: -	3: -	4: -
EXT0	1: -	2: -	3: -	4: -
EXT DV	1: -	2: CD:-	3: -	4: -

フォーマットスル DISKヲ選択シ セットキーヲ オシテクダサイ

ハードディスク状態表示

ハードディスク番号選択部


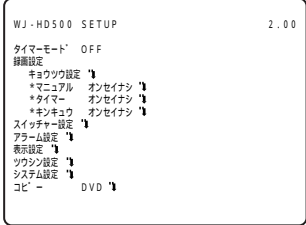



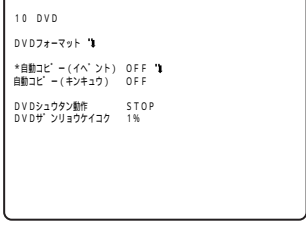



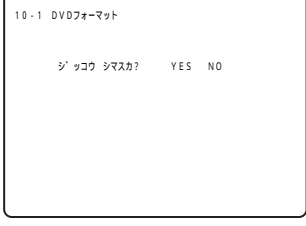


DVD-RAMディスクのフォーマット

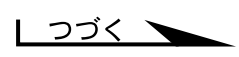
別売のDVD増設ユニットを接続し、バックアップ機能を使用する場合は、使用するDVD-RAMディスクをフォーマットする必要があります。

メモ

- データが保存されているDVD-RAMディスクにフォーマットを行うと、保存されていたデータは消去されます。
- 自動コピー（イベント）または自動コピー（キンキュウ）設定が“ON”の場合はフォーマットが行えませんので、“OFF”にしてください。（[P.78](#), [P.80](#), [P.81](#)ページ）

準備

1		DVD増設ユニットにDVD-RAMディスクを装着します。	
2		セットアップメニューを表示します。 • カーソルは“タイマーモード”の設定項目にあります。	
3		カーソルを“DVD ↓”に合わせます。	
4		DVD設定メニューを表示します。	
5		カーソルを“DVDフォーマット ↓”に合わせます。	
6		DVDフォーマットメニューを表示します。	
7		カーソルを“YES”に合わせます。	



8



フォーマットを開始します。

- フォーマット中は、画面中央に“フォーマットチュウ”と表示されます。
- フォーマット中は電源を切らないでください。

10-1 DVDフォーマット

フォーマットチュウ
デングンヨ キラナイデクダサイ!

9

フォーマットが終了すると、画面中央に“カンリョウ!”と表示されます。

10-1 DVDフォーマット

カンリョウ!
デングンヨ キラナイデクダサイ!

10



メニューを消します。

DVD-RAMディスクを取り出すときは――

メニューやリスト表示を行っていない状態で、コピーボタンを2秒以上押します。画面中央に“DVD UNLOCKED”と表示されるのを確認し、DVD増設ユニットの開閉ボタンを押すと取り出すことができます。

日付・時刻を合わせる

1	<p>設定/ESC 約2秒間押す</p>	<p>セットアップメニューを表示します。</p>	
2	<p>13 14 どちらかを押す</p>	<p>カーソルを“システム設定”に合わせます。</p>	
3	<p>4 セット 押す</p>	<p>システム設定メニューを表示します。</p>	
4	<p>13 14 どちらかを押す</p>	<p>カーソルを“時刻”に合わせます。</p>	
5	<p>4 セット 押す</p>	<p>日付・時刻を設定する状態にします。 ●カーソルが“年”に移動します。</p>	
6	<p>8 12 どちらかを押す</p>	<p>“年”を設定します。 ●“年”は、西暦の下2桁で表示されます。</p>	
7	<p>16 押す</p>	<p>カーソルを“月”の設定項目に合わせます。</p>	
8	<p>8 12 どちらかを押す</p>	<p>“月”を設定します。</p>	
9	<p>16 押す</p>	<p>カーソルを“日”の設定項目に合わせます。</p>	
10	<p>8 12 どちらかを押す</p>	<p>“日”を設定します。</p>	

11  16 押す

カーソルを“時”に合わせます。

00 - 1 - 1 00:00

12  8 12 どちらかを押す

“時”を設定します。

- “時”は、24時間表示です。

13  16 押す

カーソルを“分”に合わせます。

00 - 1 - 1 00:00

14  8 12 どちらかを押す

“分”を設定します。

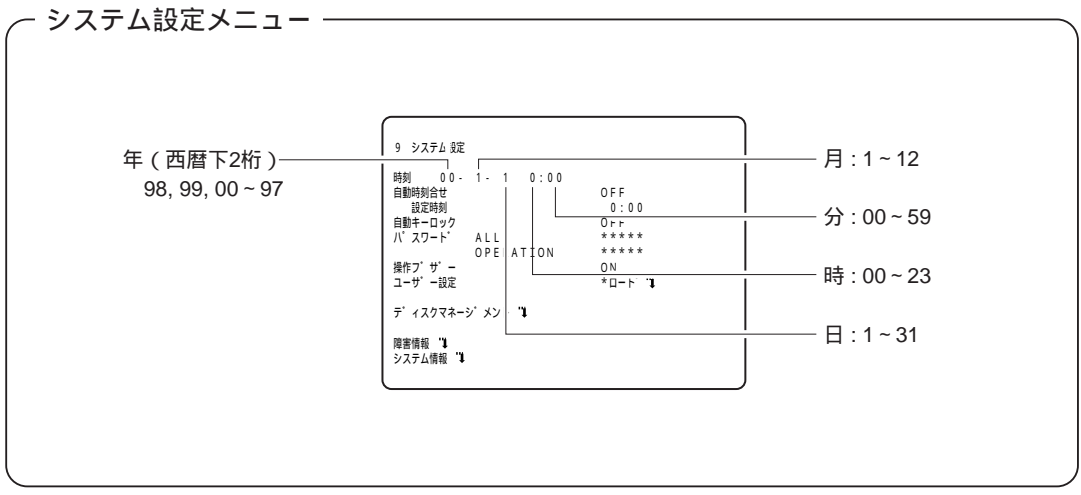
15  設定/ESC 押す

時刻を合わせます。

- 設定した時刻が00秒からスタートします。
- 時報などに合わせて操作すると、正確な時刻が設定できます。
- カーソルが“時刻”に戻ります。

16  設定/ESC 約2秒間押す

メニューを消します。

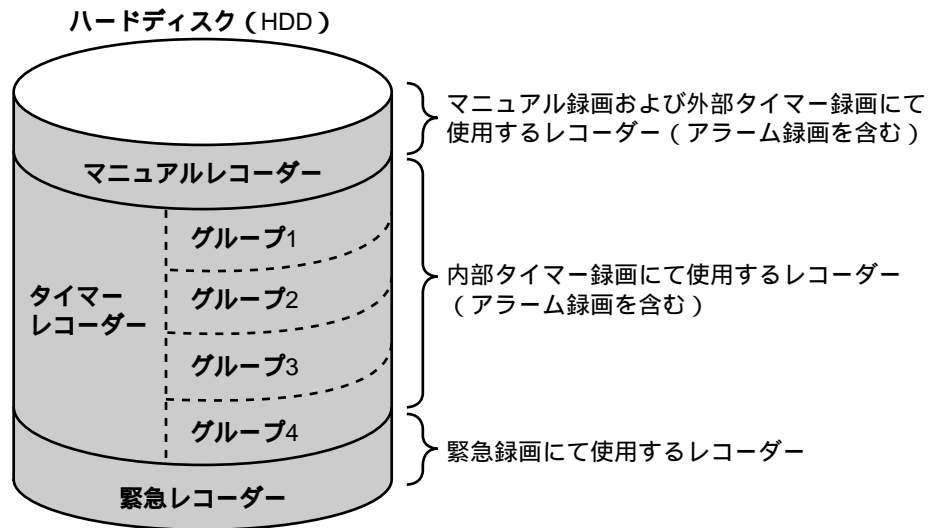


録画を始める前に

ハードディスクについて

録画を行う際は、本機に搭載されているハードディスクを、仮想的に6台に分けて録画します。

仮想的に分けた6台のハードディスクは、録画方法（マニュアル録画、内部・外部タイマー録画など）により使用されるハードディスクが異なり、それぞれ録画設定を行えます。



1 ひとつのディスクを複数のボリューム（容量）に区切ることです。

メモ

あくまでもハードディスクドライブを仮想的に分けるのであって、パーティション¹設定のようにハードディスクの容量は分割しません。従って、それぞれのハードディスクごとに容量が決められるわけではありません。

録画中にハードディスクが故障したときは

他のハードディスクに録画を行います。本機には2台のハードディスクが内蔵されていますので、録画中に1台が故障した場合、もう1台のハードディスクに録画を続けます。

故障したハードディスクは録画対象から自動的に外されます。また、フォーマットメニューおよびDISK情報メニュー上で“ERR”と表示し、録画中に故障したことを表します。

バックアップについて

2 バックアップとは、オリジナルデータのコピーをDVD-RAMディスクなどにとっておくことです。

大切な録画データは、ハードディスクの故障や突然の事故発生に備えて、バックアップ²をとることをおすすめします。

- バックアップ機能 (75ページ)
- ミラーリング機能 (82ページ)

録画モードについて

本機には、“タイムラプス録画”“マルチショット録画”“ワンショット録画”という3種類の録画モードがあります。

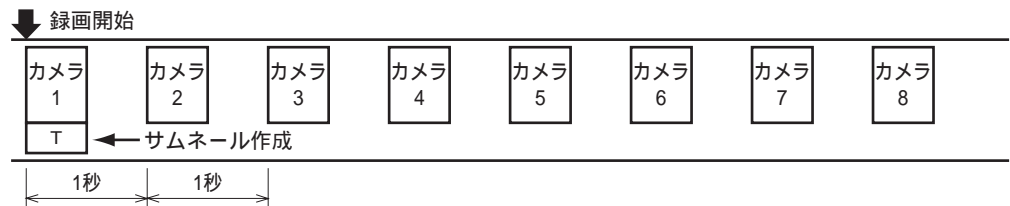
各録画モードの動作は、次のとおりです。

タイムラプス録画モード

録画終了操作がされるまで、設定内容に従って複数の静止画像を連続で録画するモードです。映像入力端子1～16の16chを設定内容に従って録画します。

- マニュアル録画、外部タイマー録画時の動作設定は、マニュアル録画設定メニューで行います。
- 緊急録画時の動作設定は、緊急録画設定メニューで行います。
- 内部タイマー録画時の動作設定は、タイマー録画設定のタイムラプス録画モード設定メニューで行います。
- タイムラプス録画モードの動作例は次のとおりです。

《録画時間モードが“SP”で、録画レートが“1FPS”の場合》
1秒間隔で静止画像を録画します。



メモ

- 録画開始時点でサムネイルが作成されます。サムネイルとは、録画データ（レコード）の代表小画面のことで、検索機能のサムネイル一覧表示に使用される映像です。
- 録画データ（レコード）には、自動的にレコード番号が付与されます。このレコード番号は、再生時やレコード検索時に表示されます。
- 録画データ（レコード）は、録画時間約3分間で自動的に分割され、新しいレコード番号が付与されます。その際、サムネイルも作成されます。

録画を始める前に

グループ設定メニューで設定するカメラグループのことです。接続したカメラを4つのグループに分けることができます。
(92ページ)

マルチショット録画モード

内部タイマー録画時、外部からのアラーム信号が入力されたときに、設定内容に従って設定した枚数（プレ録画枚数、ポスト録画枚数）の静止画像を連続で録画するモードです。

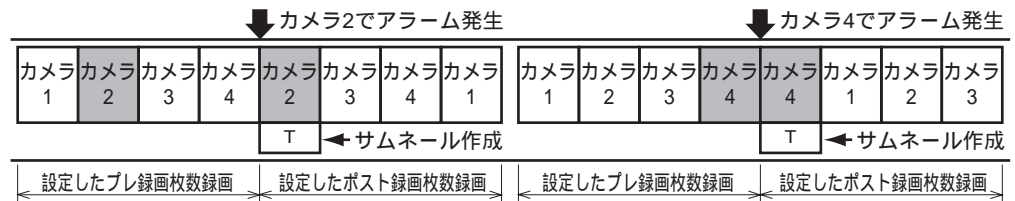
アラーム発生時点の前後を録画したいときは、このモードを使用します。

- マルチショット録画モードの動作設定は、タイマー録画設定のマルチショット録画モード設定メニューで行います。
- マルチショット録画モードの動作例は次のとおりです。

(1) グループ の録画を行う場合（ユウセン録画：OFF）

アラームが発生した時点で、グループに所属するカメラの映像を、設定したプレ録画枚数およびポスト録画枚数録画します。

（例：グループがカメラ1, 2, 3, 4で構成されているとき）



(2) アラームが発生したカメラのみ録画を行う場合（ユウセン録画：ALM-ONLY）

アラームが発生した時点で、グループに所属するカメラの映像を設定したプレ録画枚数録画し、アラームが発生したカメラの映像を設定したポスト録画枚数録画します。

（例：グループがカメラ1, 2, 3, 4で構成されているとき）



メモ

- アラーム発生時点でサムネールが作成されます。サムネールとは、録画データ（レコード）の代表小画面のことで、検索機能のサムネール一覧表示に使用される映像です。
- 録画データ（レコード）には、自動的にレコード番号が付与されます。このレコード番号は、再生時やレコード検索時に表示されます。

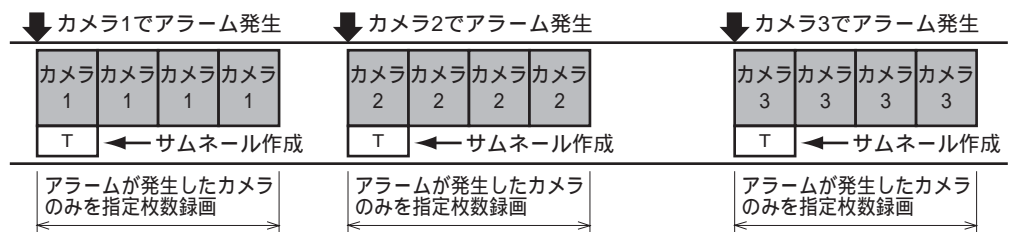
ワンショット録画モード

内部タイマー録画時、外部からのアラーム信号が入力されたときに、設定内容に従って、複数の静止画像を録画するモードです。

アラーム発生時、発生した瞬間からの映像をある枚数だけ連続写真のように録画したい時は、このモードを使用します。

また、当社コンビネーションカメラのプリセットアラーム機能¹と組み合わせると、カメラの向きがプリセットポジション²へ移動完了したときに録画を行いますので、移動中の不要な映像は録画されません。

- ワンショット録画モードの動作設定は、タイマー録画設定のワンショット録画モード設定メニューで行います。
- ワンショット録画モードの動作例は次のとおりです。



メモ

- アラーム発生時点でサムネールが作成されます。サムネールとは、録画データ（レコード）の代表小画面のことで、検索機能のサムネール表示に使用される映像です。
- 録画データ（レコード）には、自動的にレコード番号が付与されます。このレコード番号は、再生時やレコード検索時に表示されます。

1カメラの向きがプリセットポジションへ移動完了したときに、アラーム信号を出力する機能です。詳しくは、コンビネーションカメラの取扱説明書をご覧ください。

2任意に設定されたカメラの向き（撮影場所）のことです。1台で最大64ヶ所のプリセットポジションを設定できるカメラもあります。

録画のしかた

手動操作で録画する（マニュアル録画）

録画の開始から終了までの操作手順です。

この操作を行うと、マニュアルレコーダーにタイムラプス録画モードで録画されます。

メモ

- セットアップメニューのタイマーモード設定が“OFF”および“EXT”以外のときは、録画ボタンを押しても録画は開始されません。
- ハードディスクの残容量がなくなったときは、録画を停止します。（初期設定時）

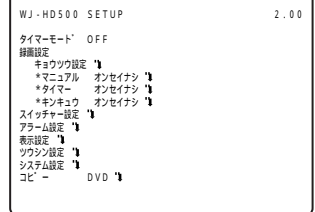
操作手順

1



セットアップメニューを表示して、タイマーモードの設定が“OFF”になっていることを確認します。

（初期設定：OFF）



- 初期設定のまま使用する場合は、手順2へ進んでください。

- “OFF”以外のときは、次の操作を行ってください。

①カーソルをタイマーモードの設定項目に合わせます。

②タイマーモードを“OFF”に設定します。

③メニュー画面を消します。

タイマーモード OFF

2

マニュアル録画設定メニューを表示して、録画動作の設定を行います。（[94ページ](#)）

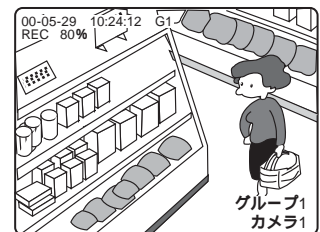
- 初期設定のまま使用する場合は、手順3へ進んでください。

3



録画を開始します。

- 画面下部に“REC xx%”と表示されます。（xx%はハードディスクの残容量を示します。）



4



録画を停止します。

共通設定メニューのHDDシュータン動作設定が“CONTINUE”のときは、残容量（xx%）が表示されません。

エンドレス録画機能について

ハードディスクの残容量がなくなった場合、古い録画データに上書きして録画を続ける機能です。

- マニュアル録画するときエンドレス録画機能を使用すると、録画停止操作を行うまで録画を続けます。
- エンドレス録画機能には次の2種類があり、共通設定メニューの“HDDシュウタン動作”で設定することができます。(91ページ)

CONTINUE : ハードディスクの残容量が無くなると、古い録画データに上書きして録画を続けます。

ALM CONTINUE : ハードディスクの残容量が無くなると、アラーム発生時のみ古い録画データに上書きして録画を続けます。

1 キョウツク設定	
画質設定(録画時間, 録画レート)	エイキョウ
フィールド / フレーム	FIELD
カラーモード	COLOR STD
カメラGENLOCK	OFF
グループ設定	
カメラ設定	
タイトル	
タイトル記録	OFF
録別記録	OFF
サムネール表示数	8
再生動作	ALL
シ'ヨク / シャトル動作	SET1
HDDシュウタン動作	CONTINUE

HDDシュウタン動作(初期設定: CONTINUE)
 STOP
 CONTINUE
 ALM CONTINUE

内部タイマー録画

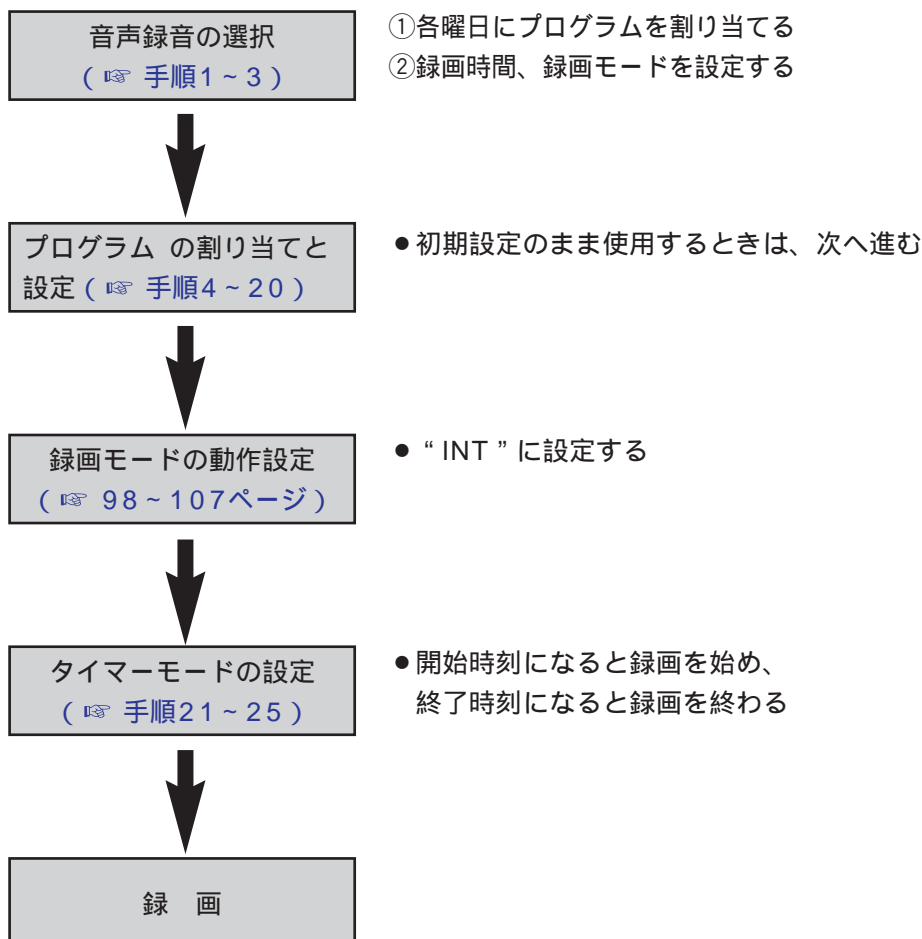
内部タイマーを使用して、指定した曜日の指定した時刻に、録画を自動で行うことができます。

内部タイマー録画では、タイマー設定ごとに録画するカメラをグループで指定します。1つのタイマー設定に4グループまで指定できますので、4グループ同時に録画できます。また、グループごとに録画モード（タイムラプス、マルチショット、ワンショット）を設定できますので、監視環境に合わせた録画が行えます。

メモ


エンドレス録画機能については、[29ページ](#)をご覧ください。

内部タイマーの録画操作の流れ



プログラム設定メニューで設定する4種類のタイマー設定（録画時間と録画モード）をプログラムといいます。プログラムは4パターン設定でき、PROG1、2、3、4と呼びます。

内部タイマー録画の設定方法

1  約2秒間押す

セットアップメニューを表示します。

WJ-HD500 SETUP 2.00

タイマーモード OFF

録画設定

キョウツツ設定 ↵

*マニュアル オンセイナシ ↵

*タイマー オンセイナシ ↵

*キンキュウ オンセイナシ ↵

スイッチャー設定 ↵


アラーム設定 ↵

表示設定 ↵

ツラシ設定 ↵

システム設定 ↵

コピー DVD ↵


2  どちらかを押す

カーソルを“ *タイマー オンセイナシ ↵ ”に合わせます。

*マニュアル オンセイナシ ↵


*タイマー オンセイナシ ↵

*キンキュウ オンセイナシ ↵

3  どちらかを押す

音声を録音するか選択します。

タイマー オンセイアリ：音声を録音する
 タイマー オンセイナシ：音声を録音しない

4  押す

タイマー録画設定メニューを表示します。

3 タイマー録画設定(オンセイアリ)

プログラム

SUNDAY ...

MONDAY ...

TUESDAY ...

WEDNESDAY ...

THURSDAY ...


FRIDAY ...

SATURDAY ...

DAILY PROG1 ↵

タイマー スペシャルデ -設定 ↵

ガ イブ 録画モード PROG1 ↵

5  どちらかを押す

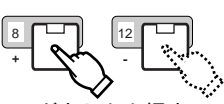
カーソルを“プログラム”設定部に合わせます。

●曜日表示の“DAILY”とは、毎日のことです。

プログラム

SUNDAY ...

MONDAY ...

6  どちらかを押す

プログラム (PROG1, 2, 3, 4) を割り当てます。¹

●曜日ごとの設定とDAILY設定では、曜日ごとの設定が優先されます。

従って、各曜日にプログラムを割り当てた場合、DAILYにプログラムを割り当てても、そのプログラムは動作しません。

●プログラム内容の設定は、手順10以降で行います。


プログラム

SUNDAY PROG1

MONDAY ...

7

手順5, 6の操作をくり返し、各曜日にプログラムを割り当てます。

8  どちらかを押す

カーソルを“ガ イブ録画モード²”の設定部に合わせます。

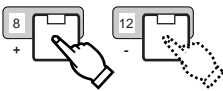
●“ガ イブ録画モード”を使用しない場合は、手順10へ進みます。

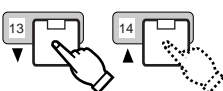
ガ イブ 録画モード PROG1 ↵

1 プログラムの割り当て例。火～木は、毎日に設定したPROG4が動作します。


日	PROG1
月	PROG2
火	
水	
木	
金	PROG2
土	PROG3
毎日	PROG4

2 外部からの操作で内部タイマー録画に使用するプログラムを切り換える設定です。アラーム端子にある外部録画切替入力を使用します。
 (141ページ)

9  外部からの操作で切り換えるプログラム (PROG1, 2, 3, 4) を割り当てます。
どちらかを押す


10  カーソルを設定するプログラムに合わせます。
どちらかを押す

SUNDAY	プログラム
MONDAY	PROG1
	- - -

11  プログラム設定メニューを表示します。
押す


- 右図の状態でセットボタンを押すと録画カメラ設定メニューが表示され、録画しないカメラを設定できます。(105ページ)

NO START	END
1	0:00-24:00

12  カーソルを録画開始時刻 (START) の “分” に合わせます。
押す

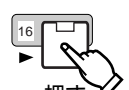
NO START	END
1	0:00-24:00

13  録画開始時刻 (START) の “時 (0~23)” を設定します。
どちらかを押す

14  カーソルを録画開始時刻 (START) の “分” に合わせます。
押す


NO START	END
1	8:00-24:00

15  録画開始時刻 (START) の “分 (00~59)” を設定します。
どちらかを押す

16  カーソルを録画終了時刻 (END) の “時” に合わせます。
押す

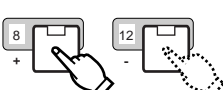
- 手順12~15と同様の操作で録画終了時刻を設定します。
- 録画終了時刻を “24:00” に設定すると、NO2~4のタイマー設定はできません。

NO START	END
1	8:30-12:00

17  カーソルを録画モードの設定部に合わせます。
押す

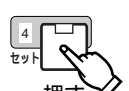
- G1, G2, G3, G4は、グループ1, 2, 3, 4を表しています。

G1	G2
T/L↓	-
7.5	

18  録画モードを設定します。
どちらかを押す

T/L : タイムラプス
M/S : マルチショット
O/S : ワンショット

G1	G2
T/L↓	-
7.5	

19  録画モード設定メニューを表示して、録画モードの動作設定を行います。(98~107ページ)
押す

- 初期設定のまま使用する場合は、手順20へ進みます。

手順3で “オンセイアリ” を選択した場合、G2~G4の設定部は表示されません。

カレンダーとは違う曜日の録画動作をする“日”を設定します。例えば、火曜日が祝日の場合、その日を日曜日のプログラム設定で録画することができます。

20

NO.2～4の録画開始時刻、録画終了時刻、録画モード設定します。

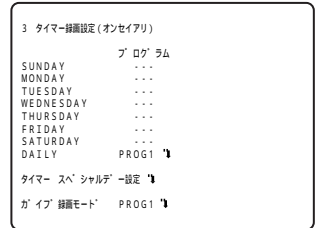
- 手順12～19と同様の操作で設定します。
- NO.1の録画終了時刻を“12:00”に設定した場合、NO.2の録画開始時刻を12:00以前に設定することはできません。

21



タイマー録画設定メニューに戻ります。

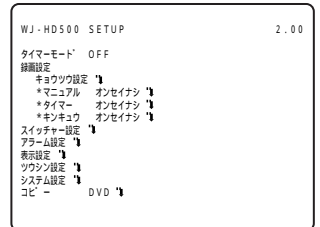
- タイマースペシャルデーの設定を行う場合は、106ページをご覧ください。



22



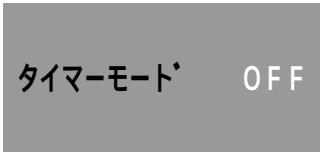
セットアップメニューに戻ります。



23



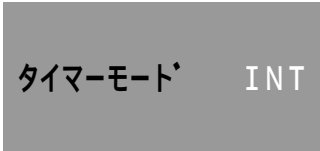
カーソルを“タイマーモード”の設定項目に合わせます。



24



タイマーモードを“INT (内部タイマー)”に設定します。



25

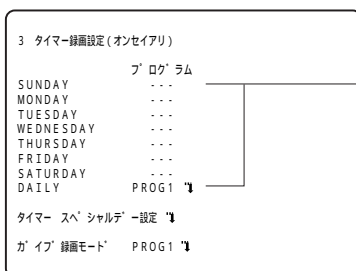


メニューを消します。

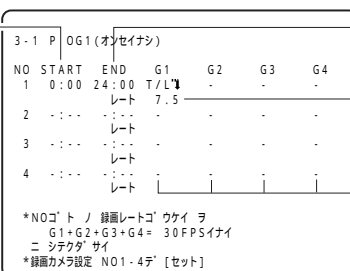
- 設定が完了します。
- 録画開始時刻になると設定した録画モードで録画を開始し、録画終了時刻になると録画を停止します。
- 内部タイマー録画は、次の優先順位で実行されます。
 - ①タイマースペシャルデー設定
 - ②曜日ごとの設定
 - ③DAILY設定

タイマー録画設定メニュー、プログラム1,2,3,4設定メニュー

●タイマー録画設定メニュー



●プログラム1, 2, 3, 4設定メニュー



録画終了時刻
録画レート
プログラムNO.ごとの合計が30FPSに収まるように設定します。30FPSを越えると正常に動作しません。
録画モード設定部
T/L : タイムラプス
M/S : マルチショット
O/S : ワンショット

外部タイマー録画

タイムスイッチなどの外部タイマーを使用して、本機の電源を入/切し、録画を行うことができます。

外部タイマー録画では、本機の電源が“入”になったとき、マニュアルレコーダーにタイムラプス録画モードで録画されます。

メモ

エンドレス録画機能については、29ページをご覧ください。

外部タイマー録画の設定方法

1

外部タイマー側で、電源の入/切時刻を設定します。

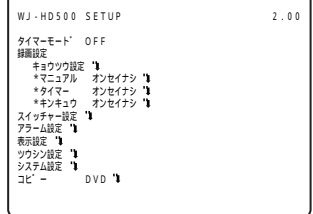
- 設定方法は、使用するタイマーの取扱説明書をご覧ください。

2



約2秒間押す

セットアップメニューを表示します。



3

マニュアル録画設定メニューを表示して、録画動作の設定を行います。(94ページ)

- 初期設定のまま使用する場合は、手順4へ進んでください。

4

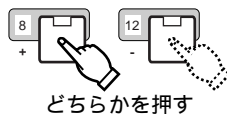


どちらかを押す

カーソルを“タイマーモード”の設定項目に合わせます。

タイマーモード OFF

5



どちらかを押す

タイマーモードを“EXT (外部タイマー)”に設定します。

タイマーモード EXT

6

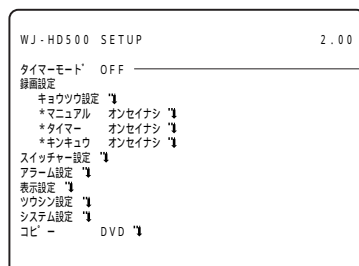


約2秒間押す

メニューを消します。

- 設定が完了します。
- 設定した時刻になると本機の電源が入り、録画が開始されます。

セットアップメニュー

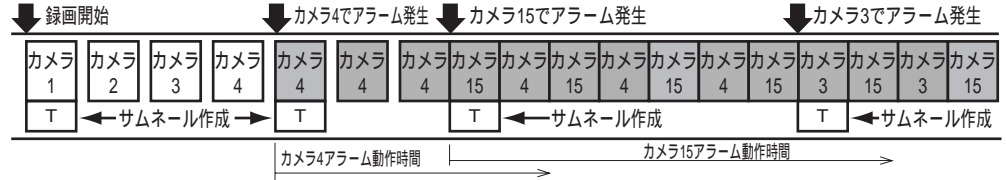


タイマーモード (初期設定: OFF)
 OFF : タイマー OFF
 INT : 内部タイマー ON
 EXT : 外部タイマー ON

グループ設定メニューで設定するカメラグループのことです。接続したカメラを4つのグループに分けることができます。
(92ページ)

④ “ユウセン録画” 設定が “ALM-MULTI” の場合

アラームが発生したすべてのカメラ映像を録画します。レコード切換時（新しいアラーム発生時）に動作中のアラームは、次のレコード切換時まで録画されます。

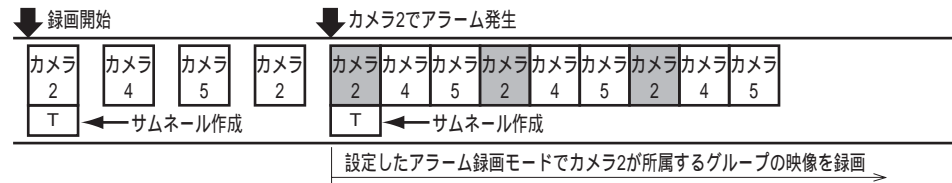


内部タイマー録画時のアラーム録画動作

- 各録画モード（タイムラプス、マルチショット、ワンショット）設定メニューに従って動作します。
- タイムラプス録画モード時の動作例は次のとおりです。
（例：グループがカメラ2, 4, 5で構成されているとき）
マルチショット、ワンショット録画モード時の動作例は、26, 27ページで説明していますので、そちらをご覧ください。

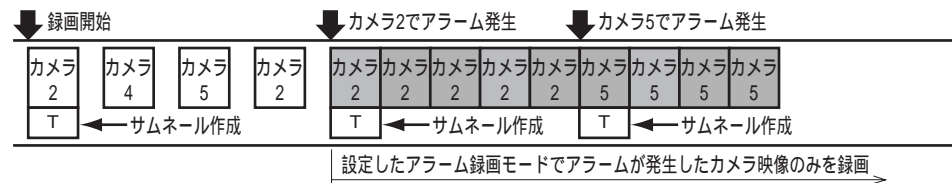
① “ユウセン録画” 設定が “OFF” の場合

グループ映像のシーケンス表示を最初から開始し、グループの映像を録画します。



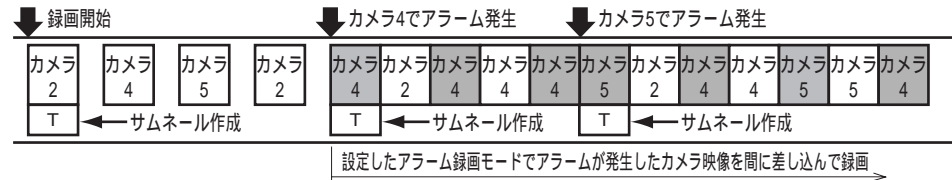
② “ユウセン録画” 設定が “ALM-ONLY” の場合

最新のアラームが発生したカメラ映像のみを録画します。



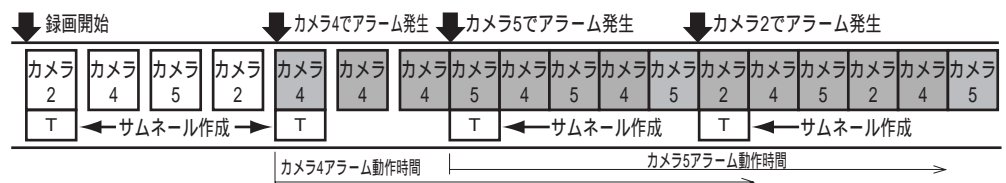
③ “ユウセン録画” 設定が “ALM-PRI” の場合

アラームが発生したカメラ映像を間に差し込んで録画します。



④ “ユウセン録画” 設定が “ALM-MULTI” の場合

アラームが発生したすべてのカメラ映像を録画します。レコード切換時（新しいアラーム発生時）に動作中のアラームは、次のレコード切換時まで録画されます。



緊急録画

緊急録画とは、緊急事態が発生したときに、外部に設置したスイッチなどの操作で録画モードを切り換えて、緊急事態を鮮明に録画するものです。

従って、どの録画方法よりも優先して動作し、16chすべてのカメラ映像を録画します。

例えば、足もとや監視ルームにスイッチを設置しておく、強盗事件などが発生したときにスイッチを押すことで、緊急録画設定メニューの設定内容に従って録画を行います。

緊急録画操作方法

1

緊急録画設定メニューを表示して、録画動作の設定を行います。(108ページ)

- 初期設定のまま使用する場合は、手順2から操作を始めてください。

2



押す

緊急事態が発生したときに、外部に設置したスイッチを押します。

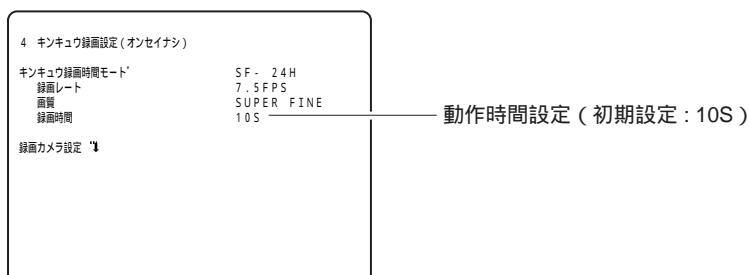
- 録画が開始されます。

3

録画動作は、緊急録画設定メニューの“録画時間”設定により次のようになります。

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 2S ~ 9S | : 2 ~ 9秒間録画を行う |
| 10S | : 10秒間録画を行う |
| 20S | : 20秒間録画を行う |
| 30S | : 30秒間録画を行う |
| 1M | : 1分間録画を行う |
| 1.5M | : 1分30秒間録画を行う |
| 2M | : 2分間録画を行う |
| 3M | : 3分間録画を行う |
| 6M | : 6分間録画を行う |
| MANUAL | : 外部に設置したスイッチを押している間だけ録画を行う |
| CONTINUE | : 録画停止ボタンを押すまで録画を行う |

緊急録画設定メニュー



再生のしかた

再生する

録画された映像（レコード）を再生する手順です。
再生画は、多画面モニターに表示されます。

再生操作方法

1

共通設定メニューを表示して、“再生動作”を設定します。
(☞ 91ページ)

- 初期設定（ALL 1）のまま使用の場合は、手順2から操作を始めてください。

2



再生を開始します。

- 選択されているグループ（G1, G2, G3, G4）の最新レコードを、最小分割数²で多画面表示して再生します。
- アラームサーチボタンがON（点灯）のときは、アラーム録画されたレコードが再生の対象となります。



グループ表示（G1, G2, G3, G4）

3



再生中に再生ボタンを押すと、一時停止状態になります。もう一度押すと、再生を開始します。

- 一時停止中は、画面上部に“||”と表示されます。



4



再生を停止します。

- 再生を停止すると、カメラの映像が表示されます。

1 録画されているレコードを自動的に切り換えて再生します。

2 4, 7, 9, 10, 13, 16画面の中から自動的に選択されます。例えば、グループ1に4台のカメラを割り当てているときは、4画面で表示され、5台のカメラを割り当てているときは7画面で表示されます。すべてのグループ選択時は、本機に接続されているカメラの数で分割数が決まります。

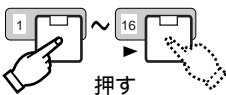
メモ

- 再生中、一時停止中に操作できる機能は次のとおりです。
 - ・再生画を1画面で表示する（☞ 39ページ）
 - ・再生画を多画面で表示する（☞ 40ページ）
 - ・順再生、逆再生（☞ 40ページ）
 - ・順コマ送り、逆コマ送り（☞ 40ページ）
 - ・アラームサーチスキップ機能（☞ 41ページ）
 - ・レコードサーチスキップ機能（☞ 41ページ）
 - ・コピー機能（☞ 41ページ）
- 録画の途中で本機の時刻を変更した場合（自動時刻合わせ含む）、変更時間帯の録画データ（レコード）が正しく再生されないことがあります。このようなときは、録画リストから再生したいレコードを選択し、再生してください。（☞ 検索機能を利用して再生する、42ページ）

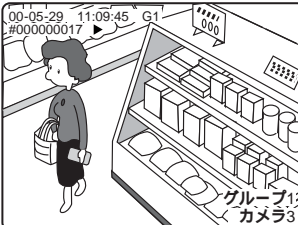
再生画を1画面で表示する


カメラの再生画を1画面で表示する機能です。

再生画を1画面で表示しているときは、電子ズーム機能を使用することができます。
電子ズーム機能は、手順2以降の操作を行ってください。

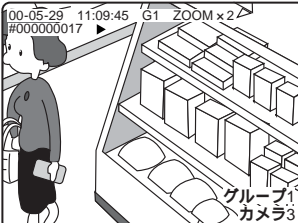
1  1画面で表示する再生画（カメラ）を選択します。

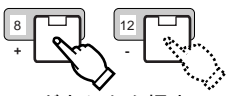
- 押したボタンに対応しているカメラの再生画が1画面で表示されます。

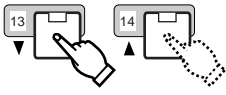


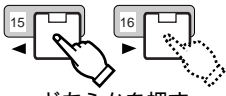
2  電子ズーム機能を使用します。

- 画面中央部が2倍に拡大表示されます。




3  どちらかを押す

 どちらかを押す

 どちらかを押す


電子ズーム中は、次の操作ができます。

- + ボタン、- ボタンを押すと、1段階ずつ拡大・縮小表示ができます。(2倍 ⇄ 4倍 ⇄ 8倍)
- ▼, ▲, ◀, ▶ ボタンを押すと、表示範囲を移動することができます。

4  電子ズーム機能を解除して、元の状態に戻します。

再生画を多画面で表示する

再生しているグループに割り当てられているカメラの映像を、画面分割数を切り換えて多画面で表示する機能です。

1 

画面の分割数を選択します。

- 押すごとに、画面の分割数が切り換わります。
- 映像の無い画面は、黒画で表示されます。

グループの最小分割数

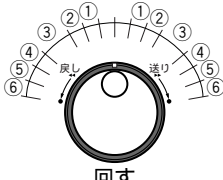
4画面表示
↓
7画面表示
↓
9画面表示
↓
10画面表示
↓
13画面表示
↓
16画面表示

順再生、逆再生

再生中または一時停止中にシャトルリングまたはジョグダイヤルを操作して、順方向または逆方向の再生を行う機能です。

共通設定のジョグ/シャトル動作の設定内容により次のようになります。

- SET1 : シャトルリングを操作して順再生、逆再生を行います
- SET2 : ジョグダイヤルを操作して順再生、逆再生を行います

1 

シャトルリングまたはジョグダイヤルの回す方向により、次のように再生を行います。中央のクリック位置（自然停止位置）に戻すと、通常の再生に戻ります。

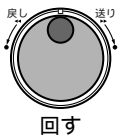
右方向に回す：順方向の再生
左方向に回す：逆方向の再生

また、シャトルリングまたはジョグダイヤルの回す角度により、再生の速度を変えることができます。

- ① : 1/2倍速
- ② : 1倍速
- ③ : 2倍速
- ④ : 5倍速
- ⑤ : 50倍速
- ⑥ : 100倍速

順コマ送り、逆コマ送り

一時停止中にジョグダイヤルを操作して、順方向または逆方向の再生をコマ送りで行う機能です。

1 

回す速度に応じて、コマ送り再生します。1回のクリックで1コマ分の再生になります。

右方向に回す：順方向のコマ送り再生
左方向に回す：逆方向のコマ送り再生

アラームサーチスキップ機能

アラームサーチボタンが“ON(点灯)”のとき、再生中にジョグダイヤルまたはシャトルリングを操作して、アラーム発生により録画されたレコードの先頭にスキップする機能です。

共通設定のジョグ/シャトル動作の設定内容により次のようになります。

SET1 : ジョグダイヤルを操作してアラームサーチスキップ機能の操作を行います

SET2 : シャトルリングを操作してアラームサーチスキップ機能の操作を行います

1



ジョグダイヤルまたはシャトルリングを回すたびに、アラーム発生により録画されたレコードの先頭にスキップして、そのレコードを再生します。

右方向に回す : 次のレコードの先頭にスキップ

左方向に回す : 前のレコードの先頭にスキップ

レコードサーチスキップ機能

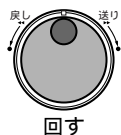
アラームサーチボタンが“OFF(消灯)”のとき、再生中にジョグダイヤルまたはシャトルリングを操作して、録画されたレコードの先頭にスキップする機能です。

共通設定のジョグ/シャトル動作の設定内容により次のようになります。

SET1 : ジョグダイヤルを操作してレコードサーチスキップ機能の操作を行います

SET2 : シャトルリングを操作してレコードサーチスキップ機能の操作を行います

1



ジョグダイヤルまたはシャトルリングを回すたびに、録画されたレコードの先頭にスキップして、そのレコードを再生します。

右方向に回す : 次のレコードの先頭にスキップ

左方向に回す : 前のレコードの先頭にスキップ

コピー機能

再生一時停止中のレコードをDVD-RAMディスクまたはCD-Rディスクにコピーする機能です。

セットアップメニューの“コピー”設定で選択されているディスクにコピーします。

DVD : DVD-RAMドライブ

CD-R : CD-Rドライブ

1



DVD-RAMディスクまたはCD-Rディスクに一時停止中のレコードをコピーします。

DVD増設ユニット、DVD-RAMドライブ、CD-Rドライブを本機に接続する必要があります。

検索機能を利用して再生する

録画したレコードをリスト（全レコードリスト、アラーム録画・緊急録画リスト）またはサムネール（代表小画面）で表示して、再生したいレコードを検索します。

メモ

録画レコードが256件以上あり、アラーム録画・緊急録画リストをサムネール表示する場合、256件以降に含まれるアラーム録画・緊急録画レコードは、サムネール表示が黒画になります。このようなときは、検索機能にて表示する録画レコード数を255件以下になるようにしてください。

1

共通設定メニューを表示して、“再生動作”を設定します。
([91ページ](#))

- 初期設定（ALL）のまま使用する場合は、手順2から操作を始めてください。

2



アラームサーチを“OFF（消灯）”にします。

- リスト一覧表示は、アラームサーチボタンのON/OFF状態により、表示される内容が異なります。

ONの場合：アラーム録画・緊急録画リストを一覧で表示

OFFの場合：すべてのレコードリストを一覧で表示

3



選択されているグループの録画リストを表示します。

- 押すたびに、リスト表示とサムネール表示を切り換えます。
- サムネール表示は、設定メニューにより8画と16画を切り換えられます。([91ページ](#))
初期設定は8画です。
- グループ選択ボタンを押してグループを切り換えると、表示されている録画リストも切り換わります。
- アラームサーチボタンを押すと（点灯）アラーム録画・緊急録画リストに切り換わります。再度押すと（消灯）すべてのレコードリストに戻ります。

4




検索の条件を入力する状態にします。

- この状態で続けて画面表示ボタンを押すと、検索条件（日付・時刻・グループとアラーム番号）を切り換えることができます。

つづく


5

①



どちらかを押す

②



どちらかを押す

日付・時刻・グループ検索の場合は、日付、時刻、グループのどれかに検索条件を入力します。(日付と時刻など、複数の検索条件も入力できます。)

アラーム番号検索の場合は、検索したいアラーム番号(ALM1～ALM16, EMR)を選択します。

ALM1～16 : アラーム番号1～16のレコード


EMR : 緊急録画レコード

① カーソルを入力したい検索条件に合わせます。

② 検索条件を入力します。

SEARCH: 00-05-29
[日付]
0:01
[時刻]
G1
[グループ]
SEARCH: ALM1

6




再生一時停止
押す

検索を開始します。

- 検索条件に近いレコードから録画リストが表示されます。

7

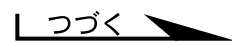


戻し 送り
回す

再生するレコード番号を選択します。

- 回すたびに、選択が切り換わります。
- シャトルリングを回すと、リスト表示のページが切り換わります。(ページ送り機能)

NO	GROUP
000010009	G2
000010008	G1



8



再生を開始します。

- 録画リスト表示が消え、再生画が表示されます。
- リスト表示した状態（手順3）で検索を行わず再生する場合は、シーケンスボタンの状態により再生動作が次のようになります。

点灯：手順7で選択したレコードから番号順に再生する

消灯：手順7で選択したレコードと同じグループのレコードのみを番号順に再生する

レコードリスト、サムネール表示

- レコードリスト表示
(日付・時刻・グループ検索)

DATE	NO	GROUP	TIME	REC-MODE	ALL GROUP
00-05-29	000010009	G2	23:59:59	T/L	
	000010008	G1	22:15:40	M/S	ALM-TRM12
	000010007	G3	21:00:07	O/S	ALM-VMD3
	000010006		17:33:05	T/L	
	000000005		07:23:11	T/L	EMR
	000000004	G4	06:59:44	M/S	ALM-PC4
	000000003		03:15:28	T/L	MAN
	000000002	G3	00:01:28	T/L	ALM-TRM1
		(TOTAL)			2343RECORD)

SEARCH: 00-05-29 0:01 G1
 アラーム#検索: [画面表示]
 選択: ◀▶ ヘンコウ: +- ジ ッ コウ: [セット] モド ル: ■ ティ ス

検索条件入力欄（日付、時刻、グループ）

- レコードリスト表示
(アラーム番号検索)

DATE	NO	GROUP	TIME	REC-MODE	ALL GROUP [2]
00-05-29	000010009	G2	23:59:59	T/L	
	000010008	G1	22:15:40	M/S	ALM-TRM2
	000010007	G3	21:00:07	O/S	ALM-VMD2
	000010006		17:33:05	T/L	ALM-TRM2
	000000005		07:23:11	T/L	ALM-TRM2
	000000004	G4	06:59:44	M/S	ALM-PC2
	000000003		03:15:28	T/L	ALM-VMD2
	000000002	G3	00:01:28	T/L	ALM-VMD2
		(TOTAL)			2343RECORD)

SEARCH: ALM1 [画面表示]
 TIME&DATE検索: [画面表示]
 選択: ◀▶ ヘンコウ: +- ジ ッ コウ: [セット] モド ル: ■ ティ ス

検索条件入力欄（アラーム番号）

- サムネール表示（16画）

000010009	000010008	000010007	000010006
000000013	000000012	000000011	000000010
SEARCH: 00-05-29 0:01 G1			
000000009	000000008	000000007	000000006
000000005	000000004	000000003	000000002

検索条件入力欄（日付、時刻、グループ）

再生操作

バックアップ（コピー）した録画データを再生する

バックアップ機能により、DVD-RAMディスクまたはCD-Rディスクにコピーした録画データを再生します。

メモ

自動コピー（アラーム）または自動コピー（キンキュウ）設定が“ON”の場合、DVD-RAMディスクのリスト表示および再生ができませんので、“OFF”にしてください。（ 78, 80, 81ページ）

録画されているレコードを自動的に切り換えて再生します。

1

共通設定メニューを表示して、“再生動作”を設定します。（ 91ページ）

- 初期設定（ALL）のまま使用する場合は、手順2から操作を始めてください。

2

DVD増設ユニット（別売品）またはCD-Rドライブに再生するディスクを装着します。

3



選択されているグループの録画リストを表示します。

- 押すたびに、リスト表示とサムネール表示を切り換えます。
- サムネール表示は、共通設定メニューにより8画と16画を切り換えられます。初期設定は8画です。

DATE	00-05-29	ALL	GROUP	TIME	REC-MODE
NO			GROUP	TIME	REC-MODE
000010009			G2	23:59:59	T/L
000010008			G1	22:15:40	M/S ALM-TRM12
000010007			G3	21:00:07	O/S ALM-VMD3
000010006				17:33:05	T/L
000000005				07:23:11	T/L EMR
000000004			G4	06:59:44	M/S ALM-PC4
000000003				03:15:28	T/L MAN
000000002			G3	00:01:28	T/L ALM-TRM1
			(TOTAL)	2343	RECORD)

再生: ▶ モデル: ■ デイシ 選択: ショック DVD/CD: [ス] -A]
検索: [画面表示] コピー: [セット] [コピー]

4



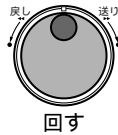
ディスクに記録されている録画データのリストを表示します。

5



検索の条件を入力する状態にします。

6



再生するレコード番号を選択します。

- 回すたびに、選択が切り換わります。
 - 検索機能を利用して、再生するレコードを選択することもできます。
- 43ページの手順5, 6を行ってください。

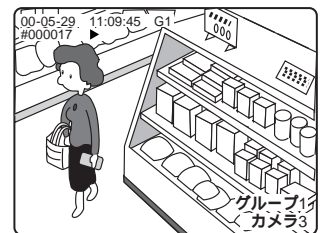
NO	GROUP
010009	---
010008	---

7



再生を開始します。

- 録画リスト表示が消え、再生画が表示されます。



レコードリスト、サムネール表示

DATE	00-05-29	ALL	GROUP	TIME	REC-MODE
NO			GROUP	TIME	REC-MODE
010009			---	23:59:59	T/L
010008			---	22:15:40	M/S ALM-TRM12
010007			---	21:00:07	O/S ALM-VMD3
010006			---	17:33:05	T/L
0000005			---	07:23:11	T/L EMR
0000004			---	06:59:44	M/S ALM-PC4
0000003			---	03:15:28	T/L MAN
0000002			---	00:01:28	T/L ALM-TRM1
			(TOTAL)	2343	RECORD)

SEARCH: 00-05-29 0:01 G1)
選択: ◀▶ ヘンコウ: +- ショック: [セット] モデル: ■ デイシ

検索条件入力欄
(日付、時刻、グループ)

010009	010008	010007	010006
000013	000012	000011	000010
000009	000008	000007	000006
000005	000004	000003	000002

検索条件入力欄
(日付、時刻、グループ)

カメラ映像と一緒に再生画を見る

カメラ映像を多画面で表示しているときに、その中の1画面を選択したカメラの再生画に切り換えます。(1画面表示中は、再生画を混在して表示できません。)

カメラ2(2ボタン)の再生画を見る場合を例に説明します。

1



再生したいカメラを選択する状態にします。

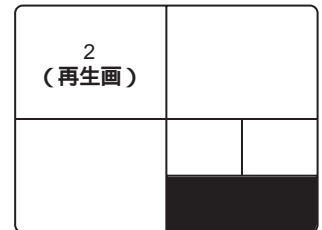
- カメラ映像を表示しているときの操作です。

2



再生を開始します。

- カメラ2の映像を録画した最新レコードが、分割画面の左上に再生されます。



3



再生を終了します。

- 再生前に表示されていたカメラの映像が分割画面の左上に表示されます。

スイッチャー操作を始める前に

スポットモニターと多画面モニターについて

本機には、モニターを接続するための端子が2種類あります。それぞれの端子に接続したモニターは、表示できる映像が異なるため、次のように呼んでいます。

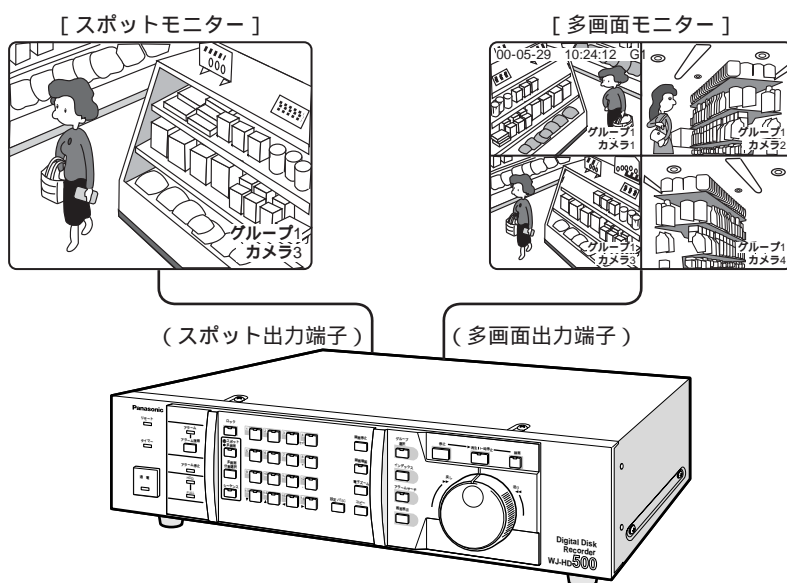
スポットモニター：スポット出力端子に接続したモニターを“スポットモニター”と呼び、カメラ映像を1画面で表示します。

多画面モニター：多画面出力端子に接続したモニターを“多画面モニター”と呼び、カメラ映像を1画面または多画面（4、7、9、10、13、16分割）で表示します。また、再生画も表示することができます。

ネットワークインターフェイスボード（別売品）を装着している場合、ネットワーク経由で本機にアクセスを行うと青画に切り換わり、“Controlled (Network)”と表示されます。

メモ

- 青画表示中でもカメラボタン1～16を押すと、選択した映像が表示されます。ただし、多画面表示はできません。
- ネットワーク経由のアクセスが終了してから約1分経過すると、ライブ画表示に戻ります。



スポット表示とシーケンス表示について

カメラ映像を表示する方法には、スポット表示とシーケンス表示の2種類があります。それぞれの表示方法は次のとおりです。

スポット表示：カメラの映像を1画面または多画面で表示します。

表示した映像は、映像切替操作を行うまで表示されます。

シーケンス表示：カメラの映像を1画面または多画面で自動的に切り換えて表示します。

切り換える間隔はメニューで設定します。(113, 115ページ)

スポット表示でカメラ映像を見る

1画面スポット表示

カメラの映像を1画面で表示します。

操作手順

1



モニターを選びます。

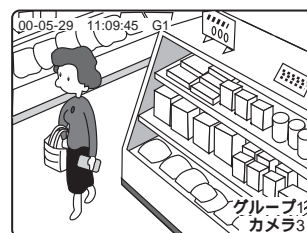
点灯：スポットモニター
消灯：多画面モニター

2

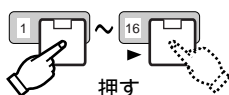


カメラ映像を選びます。

● 押したボタンに対応するカメラ映像が、1画面で表示されます。

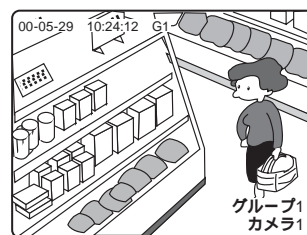


3



カメラ映像を切り換えるときは、他のカメラボタン（1～16）を押します。

● 押したボタンに対応するカメラ映像が、1画面で表示されます。



メモ

画面に表示されている映像に対応するカメラボタン（1～16）が点灯します。

スポット表示でカメラ映像を見る

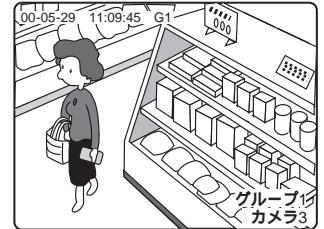
電子ズーム機能

多画面モニターに1画面スポット表示している場合、電子ズーム機能を使用することができます。

1

カメラ映像を多画面モニターに1画面スポット表示します。

- 1画面スポット表示の操作（前ページ）を行ってください。

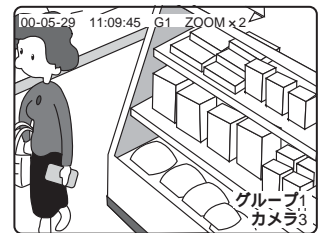


2



電子ズーム機能を使用します。

- 画面中央部が2倍に拡大表示されます。

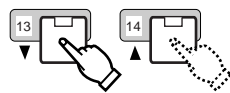


3



電子ズーム中は、次の操作ができます。

- + ボタン, - ボタンを押すと、1段階ずつ拡大・縮小表示ができます。(2倍 ⇄ 4倍 ⇄ 8倍)
- ▼, ▲, ◀, ▶ ボタンを押すと、表示範囲を移動することができます。



4



電子ズーム機能を解除して、元の状態に戻します。

スポット表示でカメラ映像を見る

多画面スポット表示

カメラの映像を多画面（4, 7, 9, 10, 13, 16画面）に分割して表示します。
多画面スポット表示ができるのは、多画面モニターのみです。

操作手順

1



グループを選択します。

- 押すたびにグループの選択状態が切り換わり、分割画面で表示されます。

グループ1 (G1)
↓
グループ2 (G2)
↓
グループ3 (G3)
↓
グループ4 (G4)
↓
すべてのグループ

2



表示したい分割数を選びます。

- 押すたびに、画面の分割数が切り換わります。
(☞ 次ページ)



多画面モニター

グループ表示
選択されているグループが表示されます。

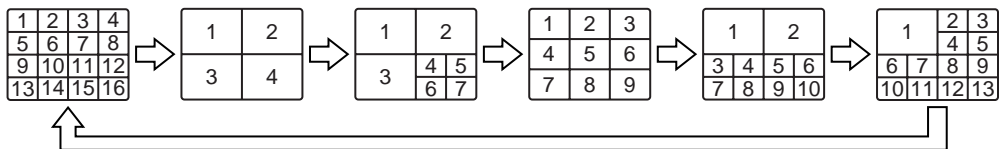
- G1 : グループ1
- G2 : グループ2
- G3 : グループ3
- G4 : グループ4
- 未表示 : すべてのグループ

00-05-29	11:09:45	G1		

分割画面の切り換わる順番について

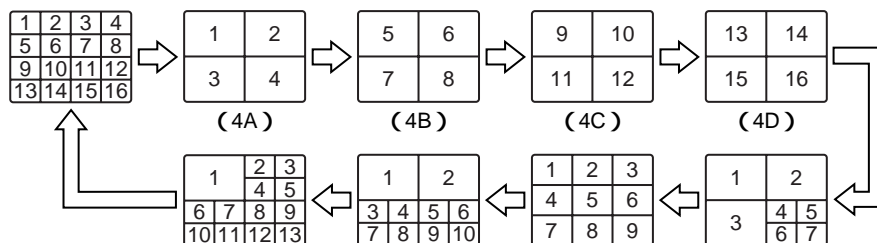
《すべてのグループを選択している場合》

- ① シーケンス設定メニューの“4画送り”設定が“OFF”のとき



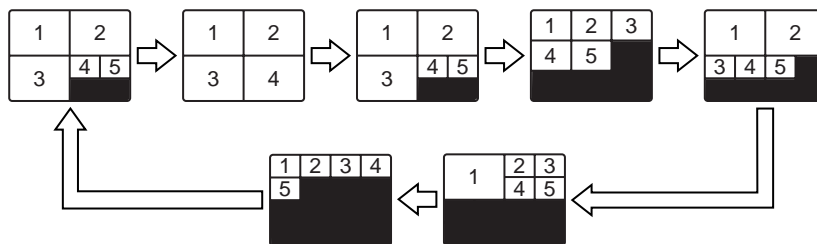
- ② シーケンス設定メニューの“4画送り”設定が“ON”のとき

- 4A, 4B, 4C, 4D画面内の数字は、“4画送り設定メニューで設定されたチャンネル(CH)番号を表しています。



《グループの選択が“G1, G2, G3, G4”の場合》

- 4画送り表示の設定は無視されます。
- 下記例は、グループに5台のカメラが割り付けられている場合です。



メモ

- 画面に表示されている映像に対応するカメラボタン(1~16)が点灯します。
- 映像入力の無い画面は、黒画で表示されます。

シーケンス表示でカメラ映像を見る

1画面シーケンス表示

設定内容に従い、カメラの映像（1画面表示）を自動的に切り換えて表示します。

操作手順

1

シーケンスの設定を行います。(112~117ページ)

- 初期設定のまま使用する場合は、手順2から操作を始めてください。

2



モニターを選びます。

- 点灯：スポットモニター
- 消灯：多画面モニター

メモ

多画面モニターを選んだときは、すべてのグループを選択してください。(グループ選択ボタン：消灯)

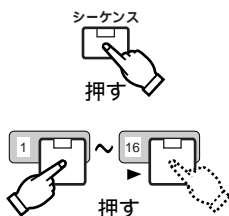
3



1画面シーケンス表示を開始します。

- 設定されたステップ(順番)、間隔でカメラの映像が切り換わります。
- 画面に表示されている映像に対応するカメラボタン(1~16)が点灯します。

4



シーケンス表示中は、次の操作ができます。

- シーケンスボタンを押すと、シーケンスを一時停止します。もう一度押すと、シーケンス表示を再開します。
- カメラボタン(1~16)を押すと、シーケンス表示を終了し、1画面スポット表示に切り換わります。

スポット ライブシーケンス設定メニュー

カメラ設定

1~16：映像入力端子1~16
に接続されたカメラ
- -：設定なし

カメラボタン1~16は、映像
入力端子1~16に対応してい
ます。

5-1-3 スポット ライブ シーケンス設定									
ステップ	CAM	ブ	リセット	間隔	ステップ	CAM	ブ	リセット	間隔
1	1	--	2S	9	9	--	2S		
2	2	--	2S	10	10	--	2S		
3	3	--	2S	11	11	--	2S		
4	4	--	2S	12	12	--	2S		
5	5	--	2S	13	13	--	2S		
6	6	--	2S	14	14	--	2S		
7	7	--	2S	15	15	--	2S		
8	8	--	2S	16	16	--	2S		

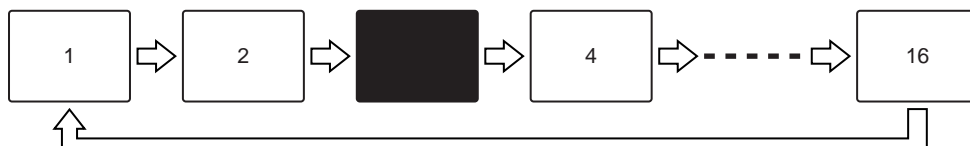
映像の切換間隔
0S~30S：0秒から30秒の
範囲で選択
(1秒間隔)

シーケンス表示でカメラ映像を見る

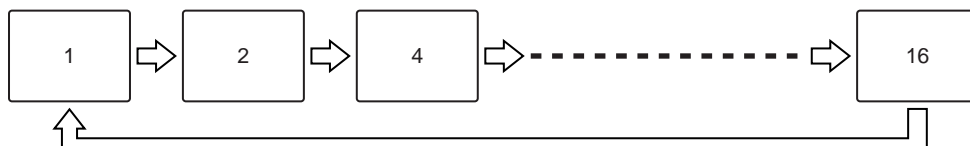
1画面シーケンス表示動作とオートスキップ機能

- カメラが設定されていないステップは、自動的にスキップ（飛びこす）されます。
- カメラが設定されていても、映像入力の無いステップは黒画が表示されます。
- オートスキップ機能が“ON”の場合、映像入力の無いステップは、自動的にスキップされます。オートスキップ機能のON/OFF設定は、114ページをご覧ください。

《オートスキップ機能が“OFF”で、ステップの3番目に映像入力が無い場合》



《オートスキップ機能が“ON”で、ステップの3番目に映像入力が無い場合》

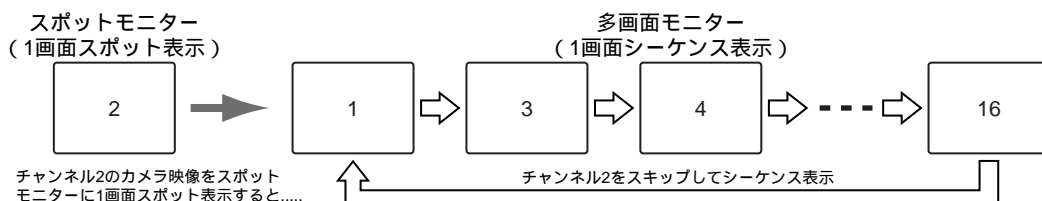


シークレットビュー機能について

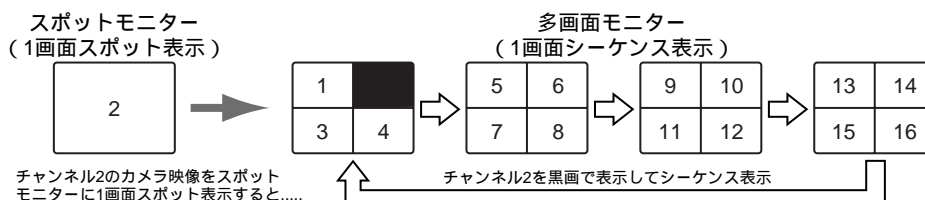
シークレットビュー機能とは、スポットモニターに1画面スポット表示したカメラ映像を、多画面モニターのシーケンス表示から外す（スキップする）機能です。シークレットビュー機能のON/OFF設定は、112ページをご覧ください。

《チャンネル2のカメラ映像を、スポットモニターに1画面スポット表示した場合》

① 多画面モニターが1画面シーケンス表示のとき



② 多画面モニターが多画面シーケンス表示のとき



シーケンス表示でカメラ映像を見る

4画面シーケンス表示

設定内容に従い、カメラの映像を4画面で自動的に切り換えて表示します。1画面を混在してシーケンス表示することもできます。

4画面シーケンス表示ができるのは、多画面モニターのみです。

操作手順

1

4画面シーケンスの設定を行います。(115ページ)

- 初期設定のまま使用の場合は、手順2から操作を始めてください。

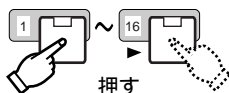
2



4画面シーケンス表示を開始します。

- 設定されたステップ (順番)、間隔でカメラの映像が切り換わります。
- 画面に表示されている映像に対応するカメラボタン (1 ~ 16) が点灯します。

3



シーケンス表示中は、次の操作ができます。

- シーケンスボタンを押すと、シーケンスを一時停止します。もう一度押すと、シーケンス表示を再開します。
- カメラボタン (1 ~ 16) を押すと、シーケンス表示を終了し、1画面スポット表示に切り換わります。

多画面 ライブシーケンス設定メニュー

カメラ設定

4A ~ 4D : 4画送り設定のエリア番号 (4画)
1 ~ 16 : 映像入力端子1 ~ 16に接続されたカメラ
- - : 設定なし

カメラボタン1 ~ 16は、映像入力端子1 ~ 16に対応しています。

5-1-1 多画面 ライブ シーケンス設定							
ステップ	CAM	プリセット	間隔	ステップ	CAM	プリセット	間隔
1	4A	--	2S	9	--	--	0S
2	4B	--	2S	10	--	--	0S
3	4C	--	2S	11	--	--	0S
4	4D	--	2S	12	--	--	0S
5	--	--	0S	13	--	--	0S
6	--	--	0S	14	--	--	0S
7	--	--	0S	15	--	--	0S
8	--	--	0S	16	--	--	0S

映像の切換間隔
0S ~ 30S : 0秒から30秒の範囲で選択 (1秒間隔)

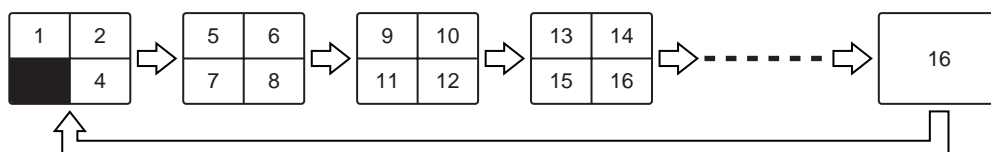
シーケンス表示でカメラ映像を見る

4画面シーケンス表示動作とオートスキップ機能

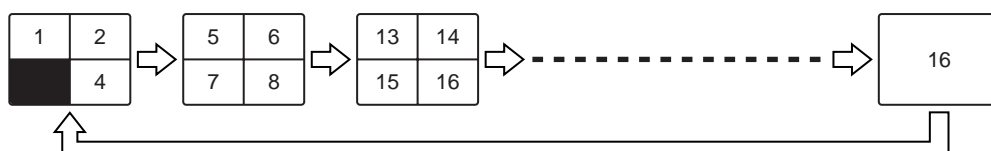
- カメラが設定されていないステップは、自動的にスキップ（飛びこす）されます。
- カメラが設定されていても、映像入力の無いステップは黒画が表示されます。
- オートスキップ機能が“ON”の場合、映像入力の無いステップは、自動的にスキップされます。ただし、4画面表示を行うステップの場合、1画面でも映像入力があればスキップされません。

オートスキップ機能のON/OFF設定は、[114ページ](#)をご覧ください。

《オートスキップ機能が“OFF”で、チャンネル3に映像入力がない場合》



《オートスキップ機能が“ON”で、チャンネル3と9, 10, 11, 12に映像入力がない場合》



シーケンス表示でカメラ映像を見る

グループ1画面シーケンス表示

グループ1～4に割り当てられているカメラの映像を、1画面シーケンス表示します。
グループ1画面シーケンス表示ができるのは、多画面モニターのみです。

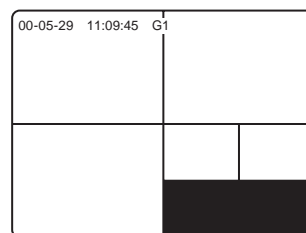
操作手順

1

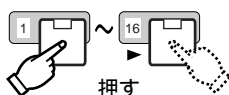


グループ1～4を選択します。

- 押すたびにグループの選択状態が切り換わり、分割画面で表示されます。

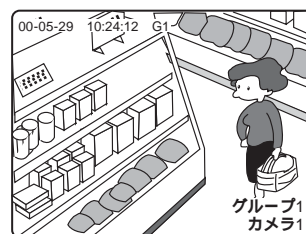


2



表示されている映像のひとつを1画面で表示します。

- 点灯しているカメラボタン（1～16）のひとつを押すと、1画面で表示されます。



3



グループ1画面シーケンス表示を開始します。

- シーケンス設定メニューで設定された間隔でカメラの映像が切り換わります。
- 画面に表示されている映像に対応するカメラボタン（1～16）が点灯します。

4



シーケンス表示中は、次の操作ができます。

- シーケンスボタンを押すと、シーケンスを一時停止します。もう一度押すと、シーケンス表示を再開します。
- グループに割り当てられている映像のカメラボタン（1～16）を押すと、シーケンス表示を終了し、1画面スポット表示に切り換わります。
- グループに割り当てられていない映像のカメラボタン（1～16）を押しても、その操作は無視されます。



シーケンス設定メニュー

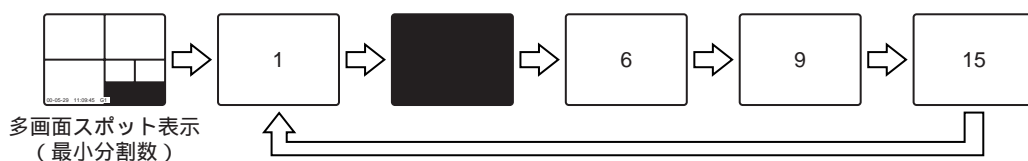
5-1 シーケンス設定			
多画面	ライブ	シーケンス設定	1
		4画送り	OFF
		4画送り設定	1
		シーケンス タイミング	INT
		グループ シーケンス設定	QUAD
		シーケンス間隔	2S
		オートスキップ	ON
スポット	ライブ	シーケンス設定	1
		シーケンス タイミング	INT
		オートスキップ	ON

映像の切換間隔（初期設定：2S）
1S～30S：1秒から30秒の範囲で選択（1秒間隔）

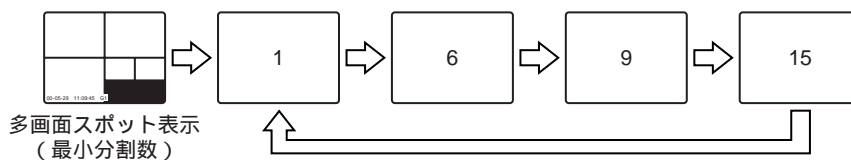
グループ1画面シーケンス表示動作とオートスキップ機能

- 右イラストは、グループに5台のカメラ（チャンネル1, 2, 6, 9, 15）が割り当てられている場合の動作例です。
- 映像入力の無いステップは黒画が表示されます。
- オートスキップ機能が“ON”の場合、映像入力の無いステップは、自動的にスキップされます。オートスキップ機能のON/OFF設定は、[114ページ](#)をご覧ください。

《オートスキップ機能が“OFF”で、チャンネル2に映像入力がない場合》



《オートスキップ機能が“ON”で、チャンネル2に映像入力がない場合》



シーケンス表示でカメラ映像を見る

グループ多画面シーケンス表示

グループ1～4に割り当てられているカメラの映像を、多画面（4画面または最小分割数）シーケンス表示します。

グループ多画面シーケンス表示ができるのは、多画面モニターのみです。

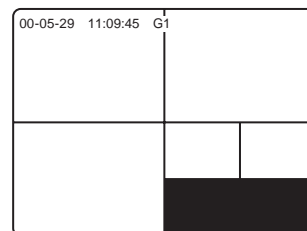
操作手順

1



グループ1～4を選択します。

- 押すたびにグループの選択状態が切り換わり、分割画面で表示されます。



2



グループ多画面シーケンス表示を開始します。

- 設定された間隔で、グループ1, 2, 3, 4の順番に映像が切り換わります。
- 画面に表示されている映像に対応するカメラボタン（1～16）が点灯します。

3



シーケンス表示中は、次の操作ができます。



- シーケンスボタンを押すと、シーケンスを一時停止します。もう一度押すと、シーケンス表示を再開します。
- グループに割り当てられている映像のカメラボタン（1～16）を押すと、シーケンス表示を終了し、1画面スポット表示に切り換わります。
- グループに割り当てられていない映像のカメラボタン（1～16）を押しても、その操作は無視されます。

シーケンス設定メニュー

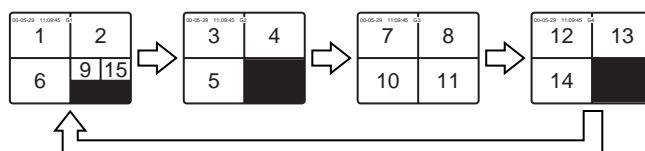
5-1 シーケンス設定		
多画面	ライブシーケンス設定	1
	4画面送り	OFF
	シーケンス タイミング	1
	グループシーケンス設定	INT
	シーケンス間隔	QUAD
	オートスキップ	2S
		ON
スポット	ライブシーケンス設定	1
	シーケンス タイミング	INT
	オートスキップ	ON

映像の切替間隔（初期設定：2S）
1S～30S：1秒から30秒の範囲で選択（1秒間隔）

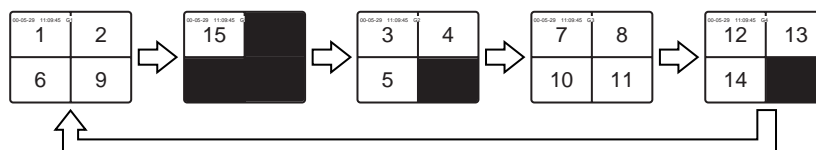
グループ多画面シーケンス表示動作

- 右イラストは、グループに次のカメラが割り当てられている場合の動作例です。
 グループ1：チャンネル1, 2, 6, 9, 15
 グループ2：チャンネル3, 4, 5
 グループ3：チャンネル7, 8, 10, 11
 グループ4：チャンネル12, 13, 14
- 選択したグループに割り当てられているカメラの数が、画面の分割数より少ない場合、映像の無い画面は黒画で表示されます。
- グループにカメラが割り当てられていても、映像入力の無い場合は黒画が表示されます。

《グループシーケンス設定が“MULTI-GROUP”の場合》



《グループシーケンス設定が“QUAD”の場合》



操作者認証機能（キーロック）

操作者認証機能（キーロック）とは

本機を操作する人を限定するための機能です。パスワードを設定することにより、パスワードを知っている限られた人だけが操作できるようになります。

パスワードには次の2種類があり、操作できる範囲が異なります。

- ALL : すべての操作が可能です。システム管理者向けのパスワードです。
- OPERATION : 機能設定（メニュー画面を表示して行う操作）以外の操作が可能です。運用者向けのパスワードです。


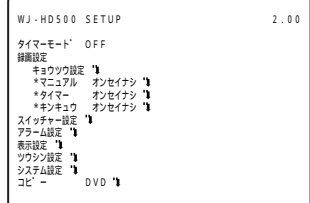
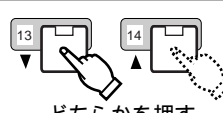
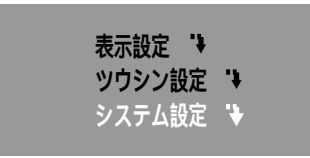

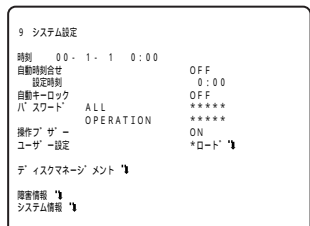


メモ

- 再生中、メニュー画面表示中、録画リスト（リスト表示/サムネール表示）表示中はキーロックできません。
- 設定したパスワードは忘れないように注意してください。
- 忘れてしまった場合は、“パスワードの確認方法（[157ページ](#)）”をご覧ください。また、パスワードの確認方法は、システム管理者が切り取って保管することをおすすめします。

操作者認証機能を設定する

パスワード（ALL, OPERATION）を設定し、キーロックをかける

パスワードを設定してキーロックをかけ、操作できない状態にします。

1  設定/ESC 約2秒間押す	セットアップメニューを表示します。	
2  どちらかを押す	カーソルを“システム設定”に合わせます。	
3  セット 押す	システム設定メニューを表示します。	
4  どちらかを押す	カーソルを“ALL”に合わせます。	

操作者認証機能（キーロック）

5



ALLパスワードを入力する状態にします。

- 現在のパスワードが表示されます。

1 2 3 4 5

6



ALLパスワードの1桁目を入力します。

- パスワードは、5桁（00000～99999）の数字で設定します。

7



カーソルを2桁目に移動します。

- 手順6, 7をくり返し、パスワードを入力します。
- 入力を間違えたときは、◀, ▶カーソルボタンで間違えた桁にカーソルを合わせ、+, - ボタンで再入力します。

8



ALLパスワードを確定します。

- カーソルは“ALL”に戻ります。

自動キーロック	OFF
パスワード	ALL *****
	OPERATION *****

9



カーソルを“OPERATION”に合わせます。

自動キーロック	OFF
パスワード	ALL *****
	OPERATION *****

10



OPERATIONパスワードを入力する状態にします。

- 現在のパスワードが表示されます。

1 2 3 4 5

11

OPERATIONパスワードを入力します。

- 手順6, 7と同様の操作でパスワードを入力します。

12



OPERATIONパスワードを確定します。

- カーソルは“OPERATION”に戻ります。

自動キーロック	OFF
パスワード	ALL *****
	OPERATION *****

13

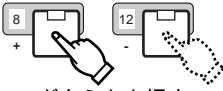


カーソルを“自動キーロック”の設定項目に合わせます。

自動キーロック	OFF
パスワード	ALL *****
	OPERATION *****

つづく


操作者認証機能（キーロック）

14  どちらかを押す

自動キーロックの“ON/OFF”を設定します。


ON：約5分間操作しないと、自動でキーロックがかかります
OFF：ロックボタンを押したときにキーロックがかかります

自動キーロック	ON
パスワード	ALL *****
OPERATION	*****

15  設定/ESC
約2秒間押す

メニューを消します。

- パスワードの設定が完了します。

16  ロック
約2秒間押す

操作ボタンをキーロックします。（ロックボタン：点灯）

- ブザー（ピー）が鳴り、画面に“KEY LOCK DONE!”と2秒間表示されます。
- キーロック中は、パスワードが入力されるまで操作できません。（キーロックの解除方法、下記参照）
- キーロック中にロックされているキーを押すと、ブザー（ピー）が鳴り、画面に“NOW KEY LOCKED!”と2秒間エラー表示されます。

システム設定メニュー

9 システム設定	
時刻	00-1-1 0:00
自動時刻合せ	OFF
設定時刻	0:00
自動キーロック	OFF
パスワード	ALL *****
OPERATION	*****
操作ブザー	ON
ユーザー設定	*ロード ↓
デイスクマネージメント ↓	
障害情報 ↓	
システム情報 ↓	

パスワードロック（初期設定：OFF）
ON：キーロックがかかります
OFF：キーロックされません


ALLパスワード、OPERATIONパスワード（初期設定：12345）
5桁（00000～99999）の数字でパスワードを設定します

便利な機能

操作者認証機能設定時の操作方法（キーロックの解除）

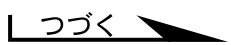
キーロックを解除して、本機を操作できる状態にします。

操作手順

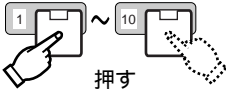
1  ロック
押す

パスワード入力画面を表示します。

PASSWORD) -----



操作者認証機能（キーロック）

2  ALLまたはOPERATIONパスワードを入力します。

- カメラ10ボタンは、“0”の入力に使用します。
- パスワードを入力すると、パスワードの照合を自動的に行います。
- パスワード入力を途中でやめるときは、設定/ESCボタンを押します。

PASSWORD *****

3 パスワードが正しく入力されると、キーロックが解除されます。（ロックボタン：消灯）

- 正しいパスワードが入力されたときは、ブザー（ピーピー）が鳴り、画面に“KEY UNLOCKED!”と2秒間表示されます。その後、カメラ映像などの通常画面に戻ります。
- ALLパスワード入力時は、すべての操作が行えます。
- OPERATIONパスワード入力時は、機能設定（メニュー画面を表示して行う操作）以外の操作が行えます。

4 パスワードを間違えて入力すると、ブザー（ピッピッ）が鳴り、“PASSWORD ERROR!”と2秒間表示されてパスワード入力画面に戻ります。


再度パスワードを入力してください。

PASSWORD) -----

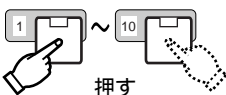
メモ

- パスワード入力画面表示中に、30秒間無入力状態が続くと、カメラ映像などの通常画面に戻ります。
- 自動キーロックON設定時は、キーロック解除の状態でも5分間何も操作をしないと、自動的にキーロックされます。

手順2でOPERATIONパスワード入力後に、ALLパスワードを入力したいときはロックボタンを押してキーロックをかけた後に、次の操作を行ってください。

1  パスワード入力画面を表示します。

PASSWORD) -----

2  ALLパスワードを入力します。

PASSWORD *****


ボタン操作時のブザー機能

ボタンを押したときに、ブザー（ピッ）を鳴らすことができます。
初期設定では、ブザーが鳴るように設定されています。

メモ

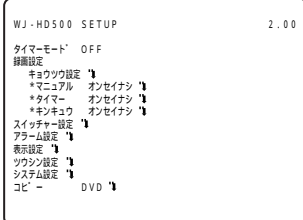
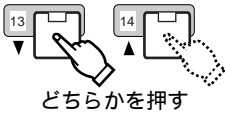
操作ブザーを“OFF”に設定した場合でも、ボタンを2秒以上押す操作（セットアップメニューを表示する操作など）のときはブザー（ピッ）が鳴ります。

操作手順

- 

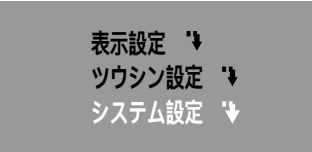

設定 / ESC
約2秒間押す

セットアップメニューを表示します。


- 

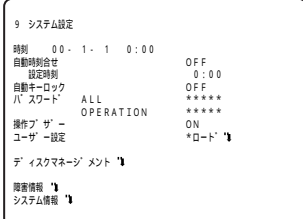
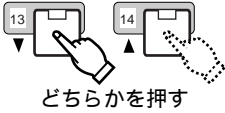
13 14
どちらかを押す

カーソルを“システム設定”に合わせます。


- 

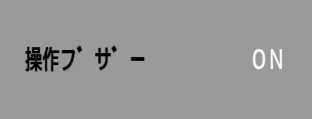
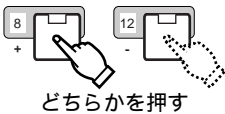
4
セット
押す

システム設定メニューを表示します。


- 

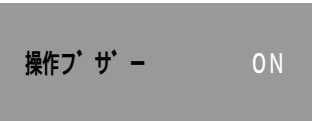

13 14
どちらかを押す

カーソルを“操作ブザー”の設定項目に合わせます。


- 

8 12
どちらかを押す

操作ブザーを“ON”に設定します。


- 

設定 / ESC
約2秒間押す

メニューを消します。
● ボタンを押すたびに、ブザー（ピッ）が鳴ります。

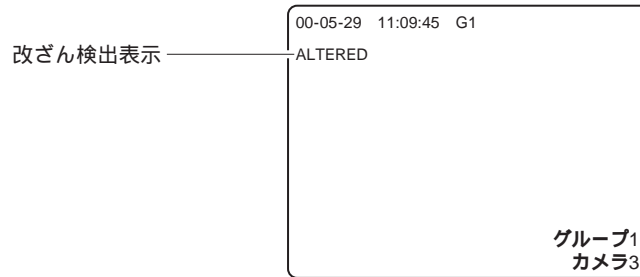
システム設定メニュー

9 システム設定	
時刻	00 - 1 - 1 0:00
自動時刻合せ	OFF
設定時刻	0:00
自動キーロック	OFF
バースト	ALL *****
	OPERATION *****
操作ブザー	ON
ユーザー設定	*ロード
ディスクマネージメント	
障害情報	
システム情報	

操作ブザー（初期設定：ON）
ON：ボタンを押すたびにブザーが鳴ります
OFF：ボタンを押してもブザーは鳴りません

画像データ改ざん検出機能

何らかの理由で録画データが改ざんされた場合、再生時に改ざんされたことを検出し、障害アラームを発生します。(画面左上に“ALTERED”と表示)



メモ

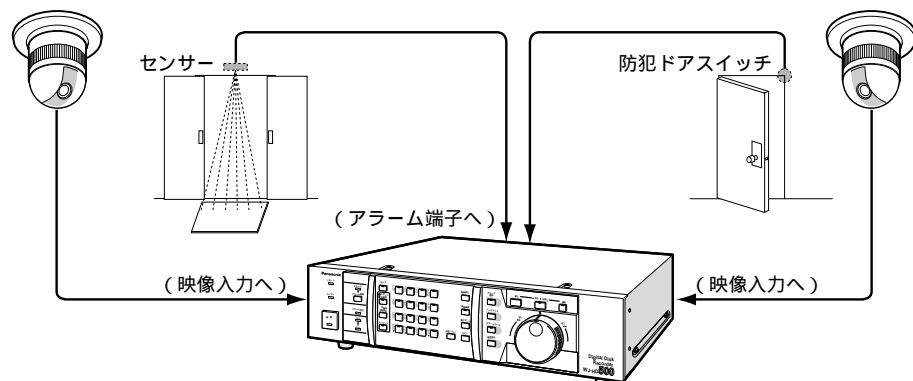
- 画像データの改ざんとは
録画されている画像データの一部を消去したり、他の画像を貼り込むなどして、録画時の画像を加工してしまうことをいいます。

アラーム機能

アラーム機能について

アラーム機能とは、本機に接続したセンサーが反応したり、機器に異常が発生したときなどに警報動作を行うことです。

アラーム表示灯の点滅、画面への表示、ブザーを鳴らす、外部に設置したランプを点灯するなどの動作でアラームの発生を知らせます。また、アラームと連動した録画を行います。アラーム動作の設定については、118ページをご覧ください。



本機には、次のアラーム機能が搭載されています。

- 端子アラーム (67ページ)
- 映像ロスアラーム (68ページ)
- 障害検出アラーム (69ページ)
- 動き検出アラーム (70ページ)

アラーム発生時の操作について

アラームが発生したときの本機の操作は、「アラーム連動モニタ動作 多画面モニタ」の設定内容 (SPOT/OFF、119ページ) により、次のようになります。

SPOT : アラーム復帰操作をしないと他の操作はできません

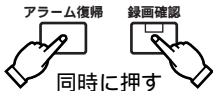
OFF : アラーム復帰操作をしなくても他の操作ができます

アラーム停止機能

アラーム停止機能とは、設定したアラーム発生時の画面切換動作を行わないようにすることです。(アラーム録画は行います。またアラームログは残ります。)

ある期間 (機能設定をしている間など) だけ、アラーム動作を停止したいときに使用します。設定操作は次のとおりです。


操作手順

- 

アラーム復帰 録画確認
同時に押す

1

アラーム停止状態にします。

 - アラーム停止表示灯が点灯し、アラーム停止機能が設定されたことを知らせます。
- 

アラーム復帰
押す

2

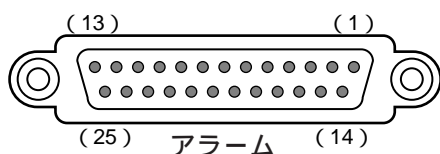
アラーム停止状態を解除します。

 - アラーム停止表示灯が消灯します。

端子アラーム

アラーム端子の“アラーム入力1～16”に接続したセンサーなどが反応したときに発生するアラームです。

初期設定では、アラーム入力1～16は映像入力端子1～16と対応しています。



1番ピン：アラーム入力1	19番ピン：アラーム入力9
2番ピン：アラーム入力2	20番ピン：アラーム入力10
3番ピン：アラーム入力3	21番ピン：アラーム入力11
4番ピン：アラーム入力4	22番ピン：アラーム入力12
5番ピン：アラーム入力5	23番ピン：アラーム入力13
6番ピン：アラーム入力6	24番ピン：アラーム入力14
7番ピン：アラーム入力7	25番ピン：アラーム入力15
8番ピン：アラーム入力8	26番ピン：アラーム入力16

アラーム発生時の録画動作

録画モードの設定に従って録画を行います。(☞ 35, 36ページ)

アラーム発生時の多画面モニター、スポットモニターへのカメラ映像表示

アラーム設定メニューの“アラーム連動モニタ動作 多画面モニタ”および“アラーム連動モニタ動作 スポットモニタ”設定(☞ 119ページ)を“SPOT”に設定したときの動作です。

発生したアラームに対応するカメラ映像を1画面スポット表示します。
表示設定メニューの“アラーム表示”設定が“ON”のとき、カメラタイトル表示は“ALARM”に切り換わります。



アラーム状態からの復帰方法

1



通常の運用状態に戻すときは、アラーム復帰ボタンを押します。

- アラーム表示灯が消灯します。
- アラーム端子の“アラーム復帰入力”に信号が入力されたときは、点滅が点灯に変わります。もう一度押すと消灯します。

メール通知機能について

別売のネットワークインターフェースボード装着時は、アラーム発生時に、設定されたメールアドレスに対して自動的にメールを発信し、アラームの発生を知らせることができます。

設定方法は、ネットワークインターフェースボードの取扱説明書をご覧ください。

映像ロスアラーム（ビデオロス）

カメラの故障やケーブルの断線などにより、映像信号が途切れたときに発生するアラームです。（[ビデオロス設定](#)、118ページ）

映像ロスアラーム発生時の録画動作

録画開始時に映像信号が途切れたカメラを録画の対象から外します。

映像ロスアラーム発生時のカメラ映像表示

- 多画面モニターとスポットモニターに、黒画を1画面表示します。
表示設定メニューの“アラーム表示”設定が“ON”のとき、カメラタイトル表示は“CH * * LOSS”に切り換わります。（* *には、カメラ番号が表示されます。）



- 多画面モニターに再生画を表示していたときは、強制的に再生を停止し、カメラ映像（黒画）に切り換えます。

アラーム状態からの復帰方法

1



通常の運用状態に戻すときは、アラーム復帰ボタンを押します。

- アラーム表示灯が消灯します。
- アラーム端子の“アラーム復帰入力”に信号が入力されたときは、点滅が点灯に変わります。もう一度押すと消灯します。

メール通知機能について

別売のネットワークインターフェースボード装着時は、アラーム発生時に、設定されたメールアドレスに対して自動的にメールを発信し、アラームの発生を知らせることができます。

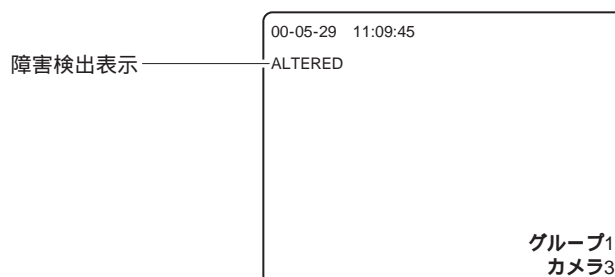
設定方法は、ネットワークインターフェースボードの取扱説明書をご覧ください。

障害検出アラーム

ディスク異常などの障害を検出したときに発生するアラームです。

障害検出情報の表示

障害を検出した際は、画面左下に情報を表示します。



- ALTERED : 画像データ改ざん検出時の警告表示です。(65ページ)
- ERROR x-x : ハードディスクのアクセス異常です。複数発生したときは、最新の情報が表示されます。x-xには、DISK情報メニュー画面などで表示される機器ごとのハードディスク番号が表示されます。(“6-1”、“6-2”は本機のハードディスクを表します。) 同一ディスクのアクセス異常が、ある時間内に連続で発生すると、そのハードディスクは自動的にリンクハズシが行われます。(150ページ)
- THERMAL x : 温度異常検出時の警告表示です。xにはユニット番号が表示されます。
 0 : 本機
 1~6 : 制御入力/出力端子の増設ユニット1~6異常入力に接続した増設ユニット
 D : DVD増設ユニット
- PWR LOSS : 停電を検知したときの表示です。(UPS使用時)
- WARNING x-x : ハードディスクがまもなく故障する可能性があることを表します。x-xには、DISK情報メニュー画面などで表示される機器ごとのハードディスク番号が表示されます。

アラーム状態からの復帰方法

電源を切り、発生した障害を取り除いてください。
 温度異常検出時は、空気吸い込み口 (9ページ) や放熱ファンにほこりがつまっていないか確認してください。確認後も“THERMAL x”表示が消えないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

点検・修理、放熱ファンの交換は、お買い上げの販売店にご相談ください。

メール通知機能について

別売のネットワークインターフェースボード装着時は、アラーム発生時に、設定されたメールアドレスに対して自動的にメールを発信し、アラームの発生を知らせることができます。

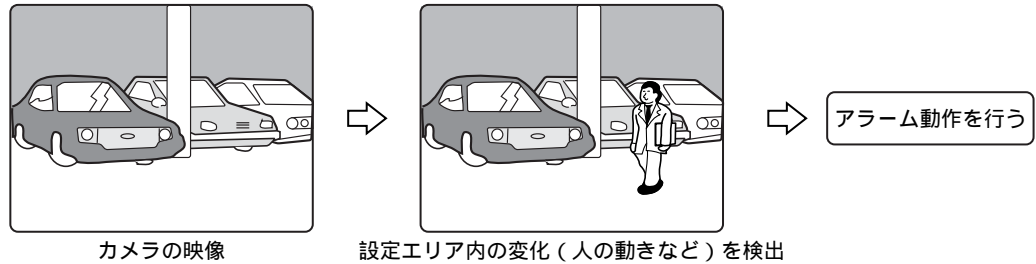
設定方法は、ネットワークインターフェースボードの取扱説明書をご覧ください。

動き検出アラーム

カメラ映像の中で、人の動きなどを検出したときに発生するアラームです。
この機能は、別売のモーションディテクターボードを取り付けているときに使用可能です。

アラーム発生時の動作は、端子アラームと同じです。[67ページ](#)をご覧ください。

●動き検出アラームの動作イメージ



メモ

動き検出アラーム設定の際は、動作テストを行い、検出レベル・検出エリアを設定してください。設定状況により、次のような現象が発生する可能性があります。

- 検出エリアが小さい場合、検出レベルの設定（特にLOWのとき）により正常に動作しないことがあります。
- 短い間隔で頻繁に動きを検出し続ける環境下では、検出した動きに対する録画動作を優先させるためキー操作の反応が鈍くなります。

動き検出アラームを設定する

- 1** 設定/ESC
約2秒間押す

セットアップメニューを表示します。
- 2** どちらかを押す

カーソルを“アラーム設定”に合わせます。
- 3** セット
押す

アラーム設定メニューを表示します。
- 4**

アラーム機能の設定を行います。([118ページ](#))

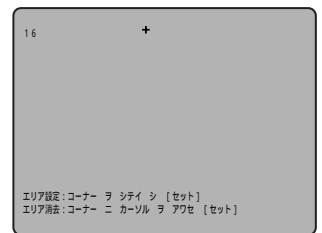
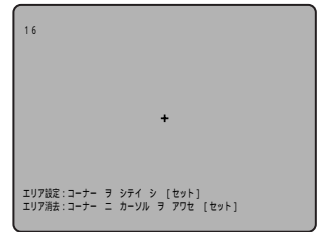
 - 初期設定のまま使用する場合は、手順5の操作を行ってください。

- 5**  カーソルを“動き検出”の設定項目に合わせます。
どちらかを押す
- 6**  動き検出を“ON”に設定します。
どちらかを押す
- 7**  カーソルを“動き検出エリア設定”に合わせます。
どちらかを押す
- 8**  動き検出エリア設定メニューを表示します。
押す
- 9**  カーソルをカメラ1の検出レベル設定項目に合わせます。
どちらかを押す
- 10**  検出レベルを設定します。
どちらかを押す
- 11**  エリア設定画面を表示します。
押す
- 12**  十字カーソルを設定するエリアの始点に合わせます。
どちらかを押す
- 13**  設定するエリアの始点を決定します。
押す

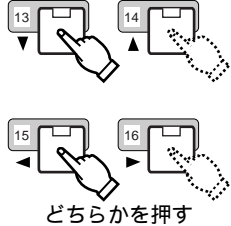


6-2 動き検出エリア設定

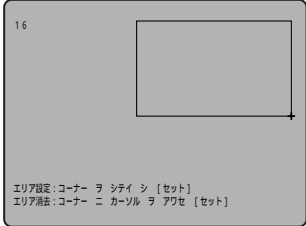
CAM	検出レベル	CAM	検出レベル
1	*OFF	9	*OFF
2	*OFF	10	*OFF
3	*OFF	11	*OFF
4	*OFF	12	*OFF
5	*OFF	13	*OFF
6	*OFF	14	*OFF
7	*OFF	15	*OFF
8	*OFF	16	*OFF




アラーム機能

14 

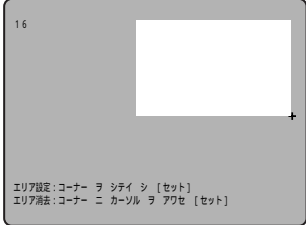
十字カーソルを設定するエリアの終点に合わせてます。



15 

設定するエリアの終点を決定します。


- 設定したエリアは、通常の明るさで表示されます。




16

続けてエリアを設定するときは、手順12～15の操作を行います。(最大4地点まで)


- 4地点すべてを設定すると、画面に“SET FULL”と表示されます。

17 

設定したエリアを削除するときは削除するエリアの4角いずれかにカーソルを合わせ、セットボタンを押します。

18 


動き検出エリア設定メニューに戻ります。



CAM	検出レベル	CAM	検出レベル
1	*OFF	9	*OFF
2	*OFF	10	*OFF
3	*OFF	11	*OFF
4	*OFF	12	*OFF
5	*OFF	13	*OFF
6	*OFF	14	*OFF
7	*OFF	15	*OFF
8	*OFF	16	*OFF

19

手順9～18の操作をくり返し、カメラ1～16のすべてを設定します。

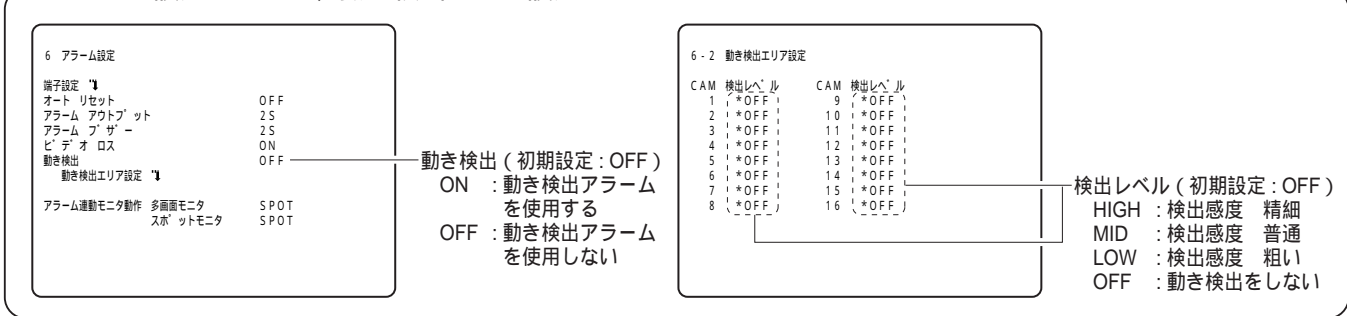
20 

メニューを消します。

- 動き検出アラームの設定が完了します。
- 設定したエリア内で、人の動きなどを検出するとアラーム動作を行います。アラーム表示設定が“ON”の場合、カメラタイトル表示は“VMD”に切り換わります。

便利な機能

アラーム設定メニュー、動き検出エリア設定メニュー



6 アラーム設定

- 端子設定 **1** OFF
- オートリセット 2S
- アラームアウトプット 2S
- アラームブザー ON
- ビデオロス OFF
- 動き検出
- 動き検出エリア設定 **1**
- アラーム連動モニタ動作 多画面モニタ SPOT
- スロットモニタ SPOT

動き検出 (初期設定: OFF)
ON : 動き検出アラームを使用する
OFF : 動き検出アラームを使用しない

6-2 動き検出エリア設定

CAM	検出レベル	CAM	検出レベル
1	*OFF	9	*OFF
2	*OFF	10	*OFF
3	*OFF	11	*OFF
4	*OFF	12	*OFF
5	*OFF	13	*OFF
6	*OFF	14	*OFF
7	*OFF	15	*OFF
8	*OFF	16	*OFF

検出レベル (初期設定: OFF)
HIGH : 検出感度 精細
MID : 検出感度 普通
LOW : 検出感度 粗い
OFF : 動き検出をしない

自動時刻合わせ機能


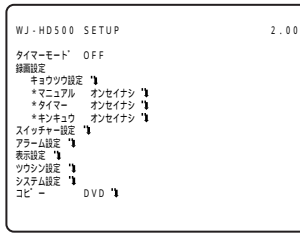






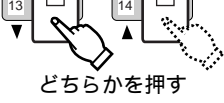
外部スイッチなどを利用して、本機の時刻を設定した時刻に合わせることができます。また、本機の時刻に他の機器の時刻を合わせることもできます。

ここでは、本機の時刻を合わせる方法について説明します。

メモ


- 他の機器の時刻を本機の時刻に合わせる場合の設定は、130ページをご覧ください。
- 自動時刻合わせ機能の接続については、142ページをご覧ください。

本機の時刻を設定する


<p>1</p>  <p>設定/ESC 約2秒間押す</p>	<p>セットアップメニューを表示します。</p>	
<p>2</p>  <p>どちらかを押す</p>	<p>カーソルを“システム設定”に合わせます。</p>	
<p>3</p>  <p>セット 押す</p>	<p>システム設定メニューを表示します。</p>	
<p>4</p>  <p>どちらかを押す</p>	<p>カーソルを“自動時刻合わせ”の設定項目に合わせます。</p>	
<p>5</p>  <p>どちらかを押す</p>	<p>自動時刻合わせを“SLAVE”に設定します。</p>	
<p>6</p>  <p>どちらかを押す</p>	<p>カーソルを“設定時刻”に合わせます。</p>	




自動時刻合わせ機能

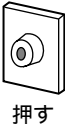
7  設定時刻を設定する状態にします。

設定時刻 0 : 00

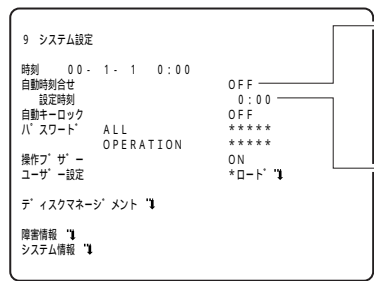
8  “時”を設定します。
(初期設定 : 0)
0 ~ 23 : 0 ~ 23時

12 : 00

9  メニュー画面を消します。
● 設定が完了します。

10  本機の時刻を手順7 ~ 10で設定した時刻に合わせます。
● 設定時刻の時報に合わせて操作すると、正確な時刻に合わせられます。
ただし、本機の時刻が設定時刻に対して±15分以内のときのみ時刻を合わせることができますので、ご注意ください。

システム設定メニュー



- 自動時刻合わせ (初期設定 : OFF)
- OFF : 自動時刻合わせ機能を使用しない
 - SLAVE : 外部スイッチなどを使用して、本機の時刻を設定時刻に合わせる
 - MASTER : 本機の時刻に他の機器の時刻を合わせる
- 設定時刻 (24時間単位)
- ・ SLAVEの場合、外部スイッチなどを押したときにこの時刻に合わせます。
 - ・ MASTERの場合、この時刻になると信号を出力し、他の機器の時刻を本機の時刻に合わせます。

便利な機能

バックアップ機能

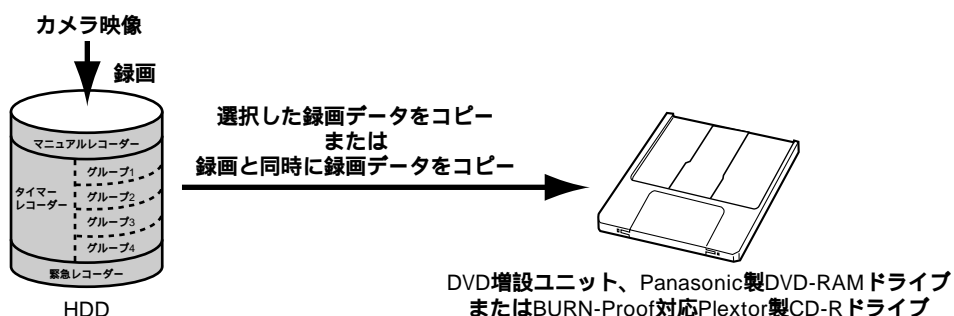
DVD-RAMディスクへのコピー（バックアップ）のみ対応しています

録画データをDVD-RAMディスクまたはCD-Rディスクにコピー（バックアップ）します。コピーには、次の方法があります。

- レコードを選択してコピー（バックアップ）する（☞ 下記）
- 録画と同時にコピー（バックアップ）する（☞ 77, 79, 81ページ）

また、再生一時停止中のレコードをDVD-RAMディスクまたはCD-Rディスクにコピーすることもできます。この操作については41ページで説明していますので、そちらをご覧ください。

- バックアップ機能の動作イメージ



メモ

- バックアップ機能は、本機にDVD増設ユニット（別売品） Panasonic製DVD-RAMドライブまたはBURN-Proof対応Plextor製CD-Rドライブを接続している場合のみ使用できます。
- 大切な録画データは、ハードディスクの故障や突然の事故発生に備えて、バックアップをとることをおすすめします。
- 使用するDVD-RAMディスクはフォーマットを行ってください。（☞ 20ページ）

レコードを選択してコピー（バックアップ）する

- 1

設定/ESC
約2秒間押す

セットアップメニューを表示します。
- 2

どちらかを押す

カーソルを“コピー”の設定項目に合わせます。
- 3

どちらかを押す

コピー（バックアップ）するディスクを選択します。
DVD : DVD-RAMディスク
CD-R : CD-Rディスク
- 4

設定/ESC
約2秒間押す

メニューを消します。
●コピー（バックアップ）するディスクの設定が完了します。

5



アラームサーチを“OFF (消灯)”にします。

- 押すたびに、ON/OFFが切り換わります。
- アラームサーチが“ON (点灯)”の場合、アラームログだけが表示されます。

6



録画リストを表示します。

- 選択されているグループの録画リストが表示されます。
- 押すたびに、リスト表示とサムネール表示を切り換えます。

DATE	00-05-29	ALL	GROUP	TIME	REC-MODE
NO	GROUP				
000010009	G2	23:59:59	T/L		
000010008	G1	22:15:40	M/S ALM-TRM12		
000010007	G3	21:00:07	O/S ALM-VMD3		
000010006		17:33:05	T/L		
000000005		07:23:11	T/L EMR		
000000004	G4	06:59:44	M/S ALM-PC4		
000000003		03:15:28	T/L MAN		
000000002	G3	00:01:28	T/L ALM-TRM1		
	(TOTAL)		2343RECORD)		

再生: ▶ モド: ■ タイプ: 選択: ショク DVD/CD: [X-4]
 検索: [画面表示] コピー: [セット] [コピー]

7



コピーする録画データが録画されているグループを選択します。

- 押すたびに、グループの選択が切り換わり、録画リストの内容が変わります。

8



コピーするレコード番号を選択します。

- ジョグダイヤルを回すたびに、選択が切り換わります。
- ある範囲で複数のレコードを選択する場合は、次の操作を行ってください。(選択可能範囲: 40レコード)
 - ① ジョグダイヤルを回し、レコード番号を選択します。
 - ② セットボタンを押します。
 - ③ ジョグダイヤルを回して選択範囲を設定します。

NO	GROUP
010009	---
010008	---

9



選択したレコードをDVD-RAMディスクまたはCD-Rディスクにコピーします。

- 画面下部に“コピーチュウ”と表示されます。
- コピーが終了すると、画面下部に“コピーカンリョウ!”と表示されます。

10



メニューを消します。

- CD-Rディスクへのコピー時は、手順11の操作を行ってください。

録画リスト

● 録画リスト (コピー中の状態)

DATE	00-05-29	ALL	GROUP	TIME	REC-MODE
NO	GROUP				
000010009	G2	23:59:59	T/L		
000010008	G1	22:15:40	M/S ALM-TRM12		
000010007	G3	21:00:07	O/S ALM-VMD3		
000010006		17:33:05	T/L		
000000005		07:23:11	T/L EMR		
000000004	G4	06:59:44	M/S ALM-PC4		
000000003		03:15:28	T/L MAN		
000000002	G3	00:01:28	T/L ALM-TRM1		
	(TOTAL)		2343RECORD)		

コピーチュウ 00-05-29 000003
 チョウシ: タイプ

レコード番号

コピー中表示
日付とコピー中の
レコード番号を
表示します。

● 録画リスト (コピー完了状態)

DATE	00-05-29	ALL	GROUP	TIME	REC-MODE
NO	GROUP				
000010009	G2	23:59:59	T/L		
000010008	G1	22:15:40	M/S ALM-TRM12		
000010007	G3	21:00:07	O/S ALM-VMD3		
000010006		17:33:05	T/L		
000000005		07:23:11	T/L EMR		
000000004	G4	06:59:44	M/S ALM-PC4		
000000003		03:15:28	T/L MAN		
000000002	G3	00:01:28	T/L ALM-TRM1		
	(TOTAL)		2343RECORD)		

コピーカンリョウ! / コピー25%

コピー完了表示
DVD-RAMディ
スクの残容量を
表示します。

11



CD-Rディスクへのコピー完了操作を行います。

- コピーボタンを約2秒間押してください。完了動作を開始します。
- 完了動作が終了すると“CD UNLOCKED”と表示されます。(通常は約30秒程度で終了します。)

メモ

- コピー完了操作を行わないとCD-Rの再生はできません。
- 一度完了操作を行ったCD-Rディスクへは再度コピーすることはできません。
- ご使用になるCD-Rディスクは、使用するCD-Rドライブで推奨されているものをお使いください。

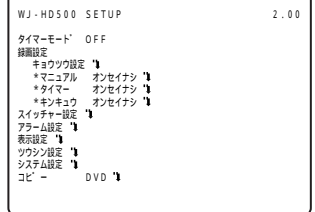
録画と同時にコピー（バックアップ）する（マニュアル・外部タイマー録画の場合）

マニュアル録画、外部タイマー録画を行うときに、選択したカメラの録画データを自動でDVD-RAMディスクへコピー（バックアップ）します。
(CD-Rディスクへはコピーできません)

1



セットアップメニューを表示します。



2



カーソルを“コピー”の設定項目に合わせます。

コピー - DVD ↓

3



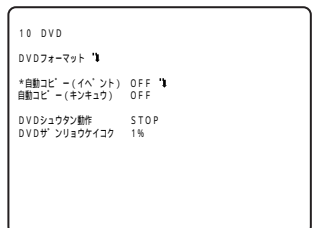
コピーを“DVD ↓”に設定します。

コピー - DVD ↓

4



DVD設定メニューを表示します。



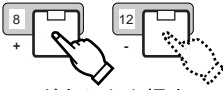
5




カーソルを“*自動コピー (イベント) OFF ↓”に合わせます。

*自動コピー (イベント) OFF ↓
自動コピー (キンキョウ) OFF

バックアップ機能

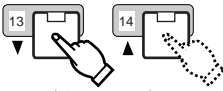
6  自動コピー（イベント）を“ON”に設定します。
どちらかを押す

*自動コピー（イベント） ON ↓
自動コピー（キキョウ） OFF

7  自動コピー（イベント）設定メニューを表示します。
セット 押す

10-2 自動コピー（イベント）

CAM	自動コピー	CAM	自動コピー
1	OFF	9	OFF
2	OFF	10	OFF
3	OFF	11	OFF
4	OFF	12	OFF
5	OFF	13	OFF
6	OFF	14	OFF
7	OFF	15	OFF
8	OFF	16	OFF

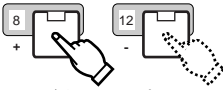
8  カーソルを“自動コピー”設定部に合わせます。
どちらかを押す

●カメラ（CAM 1～16）ごとに、自動コピーのON/OFF設定ができます。

CAM 自動コピー -

1 OFF

2 OFF


9  カメラごとに自動コピーのON/OFFを設定します。
どちらかを押す

●手順8, 9の操作をくり返し、すべてのカメラのON/OFFを設定します。

CAM 自動コピー -

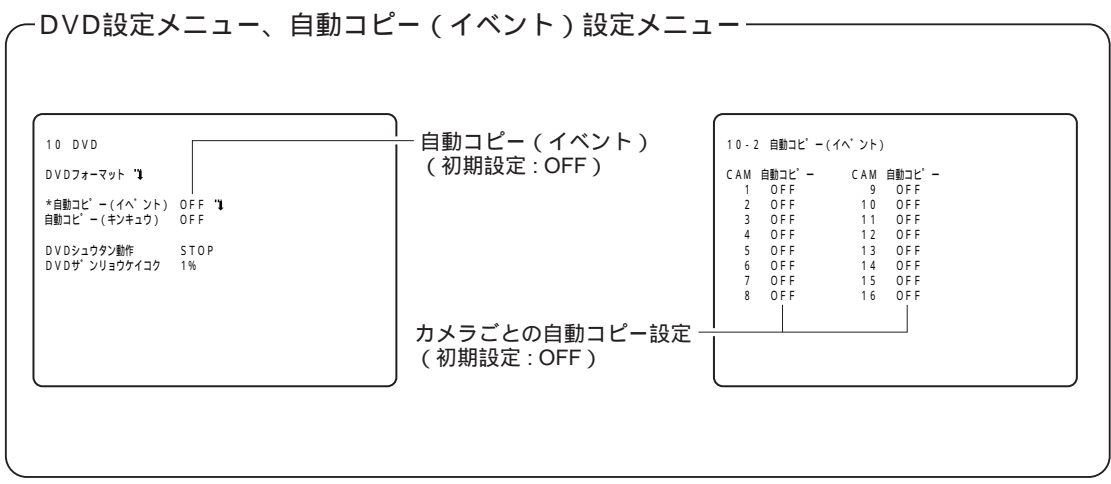
1 ON

2 OFF

10  メニューを消します。
約2秒間押す


●自動コピー（バックアップ）の設定が完了します。
●この状態でマニュアル録画、外部タイマー録画が行われると、自動コピー“ON”に設定したカメラの録画データが、録画と同時にDVD-RAMディスクへコピーされません。

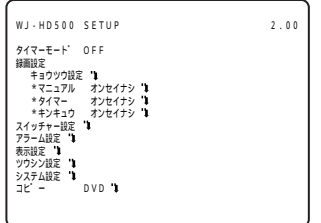
便利な機能




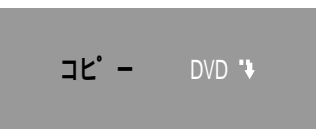
録画と同時にコピー（バックアップ）する（内部タイマー録画の場合）


内部タイマー録画を行うときに、選択したプログラムの録画データを自動でDVD-RAMディスクへコピー（バックアップ）します。日曜日のプログラムを例に説明します。（CD-Rディスクへは自動でコピーできません）

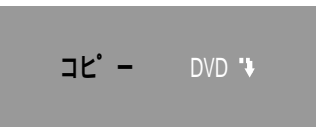
1  **セットアップメニューを表示します。**




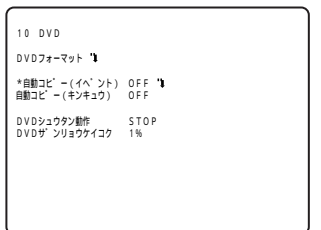
2  **カーソルを“コピー”の設定項目に合わせます。**




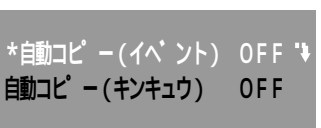
3  **コピーを“DVD”に設定します。**




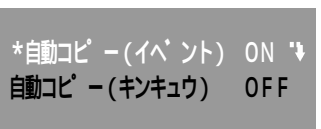
4  **DVD設定メニューを表示します。**





5  **カーソルを“*自動コピー（イベント）OFF”に合わせます。**

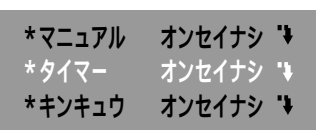



6  **自動コピー（イベント）を“ON”に設定します。**

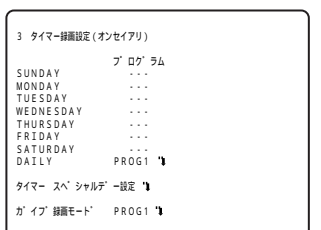


7  **セットアップメニューに戻ります。**

8  **カーソルを“*タイマー オンセイナシ”に合わせます。**



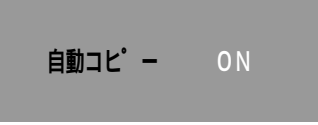
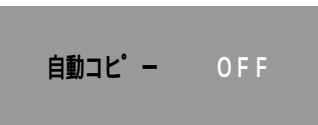
9  **タイマー録画設定メニューを表示します。**



便利な機能

バックアップ機能

- 10**  カーソルを“プログラム”設定部に合わせます。
どちらかを押す
- 11**  プログラム設定メニューを表示します。
セット
押す
- 12**  カーソルをプログラム1の“録画モード”設定部に合わせます。
どちらかを押す
- 13**  録画モード設定メニューを表示します。
セット
押す
- 14**  カーソルを“自動コピー”の設定部に合わせます。
どちらかを押す
- 15**  自動コピーを“ON”に設定します。
どちらかを押す
- 16**  プログラム設定メニューに戻ります。
設定/ESC
押す
- 17**  タイマー録画設定メニューに戻ります。
設定/ESC
押す
- 18**  メニューを消します。
設定/ESC
約2秒間押す



便利な機能

録画モード設定メニュー

● タイムラプス録画モード設定メニュー

3-1-1-1 PROG1-N01-G1 録画設定	
T/L(タイムラプス)スローコター	
タイマー録画時間モード	SF・24H
録画レート	7.5FPS
画質	SUPER FINE
トリガ動作	REC+ALM
イベント録画時間モード	SF・24H
録画レート(MAX)	7.5FPS
画質	SUPER FINE
録画時間	10S
ユウセン録画	OFF
録画レート(キホン)	1FPS
自動コピー	OFF

● マルチショット録画モード設定メニュー

3-1-1-1 PROG1-N01-G1 録画設定	
M/S(イベントレコーダ)マルチショット	
トリガ動作	REC+ALM
録画モード	
録画レート	15FPS
画質	SUPER FINE
ブレ録画マイ数	15
ポスト録画マイ数	60
ユウセン録画	OFF
自動コピー	OFF


● ワンショット録画モード設定メニュー

3-1-1-1 PROG1-N01-G1 録画設定	
O/S(イベントレコーダ)ワンショット	
トリガ動作	REC+ALM
録画モード	
録画レート	15FPS
画質	SUPER FINE
録画マイ数	16
自動コピー	OFF

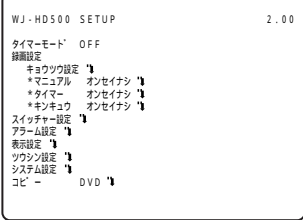
自動コピー(初期設定: OFF) ON: 録画データを自動でバックアップする
OFF: 録画データをバックアップしない


録画と同時にコピー（バックアップ）する（緊急録画の場合）

緊急録画を行うときに、録画データを自動でコピー（バックアップ）します。


1  **約2秒間押す**


セットアップメニューを表示します。



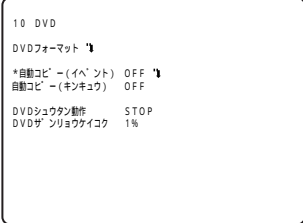
2  **どちらかを押す**


カーソルを“DVD ↕”に合わせます。



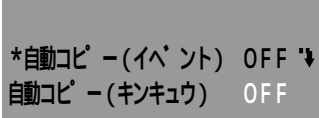
3  **押す**


DVD設定メニューを表示します。



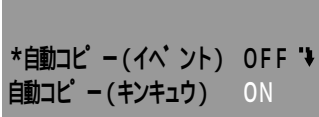
4  **どちらかを押す**


カーソルを“自動コピー（キンキュウ）”の設定部に合わせます。



5  **どちらかを押す**

自動コピー（キンキュウ）を“ON”に設定します。

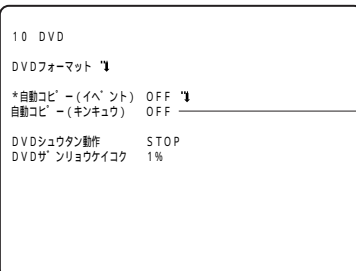


6  **約2秒間押す**

メニューを消します。

- 自動コピー（バックアップ）の設定が完了します。
- この状態でマニュアル録画、外部タイマー録画が行われると、自動コピー“ON”に設定したカメラの録画データが、録画と同時にDVD-RAMディスクへコピーされます。

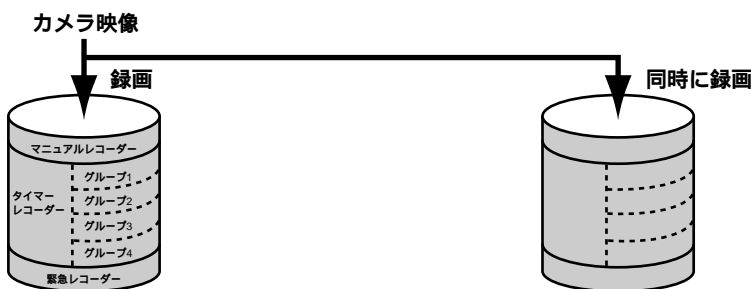
DVD設定メニュー



自動コピー（キンキュウ）
 （初期設定：OFF）
 ON：録画データを自動でコピー（バックアップ）する
 OFF：録画データをコピーしない

ミラーリング機能

- ミラーリング機能とは、カメラ映像を2台のハードディスクに同時録画する機能です。一方のハードディスクに故障などの障害が発生しても、もう片方のハードディスクには正常な録画データが残りますので、録画データの信頼性が確保できます。
- ミラーリング機能は、本機を初めて使用するときに設定することをおすすめします。一度でも使用した状態（録画された状態）でミラーリング機能を設定すると、録画されていたデータは消去されます。
- ミラーリング機能の設定は、電源投入時のみ行うことができます。設定操作は次のとおりです。
- ミラーリング機能の動作イメージ（本機単体で使用する場合）



本機に搭載されているHDD "1 (マスター)"

本機に搭載されているHDD "2 (スレーブ)"

ミラーリング機能の設定方法

1

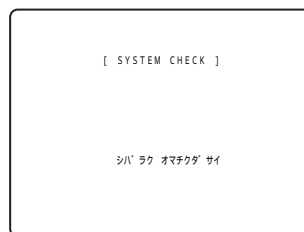
本機に接続した周辺機器の電源を入れます。

2



本機の電源を入れます。

- 起動画面が表示され、システム確認を行います。

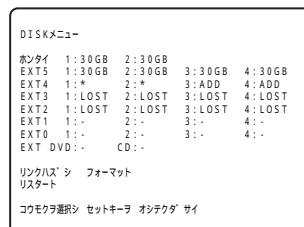
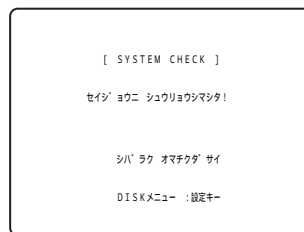


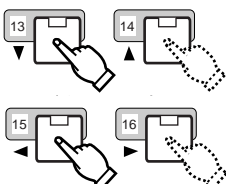
3



起動画面上に“セイジョウニ シュウリョウシマシタ!”と表示されてから、“5秒以内”に設定/ESCボタンを押します。


- DISKメニュー画面が表示されます。

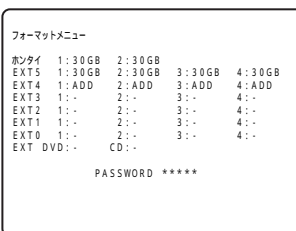


4  カーソルを“フォーマット”に合わせます。

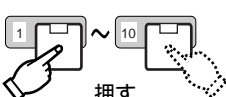
どちらかを押す

リンクハズシ フォーマット
リスタート

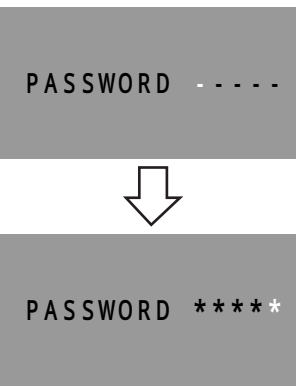
5  フォーマットメニュー画面を表示します。



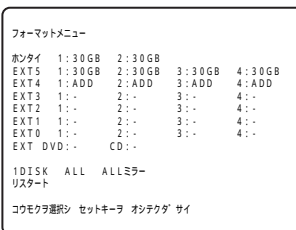
ALLパスワードの設定は、操作者認証機能の設定で行います。
(60ページ)

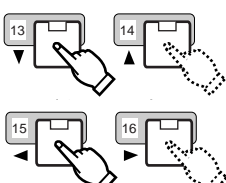
6  ALLパスワードを入力します。(初期設定:12345)

- カメラ10ボタンは、“0”の入力に使用します。
- パスワードを入力すると、パスワードの照合を自動的に行います。
- パスワード入力を途中でやめるときは、設定/ESCボタンを押します。



7 ALLパスワードと一致するとフォーマットメニュー画面の下部にメニュー項目が表示されます。

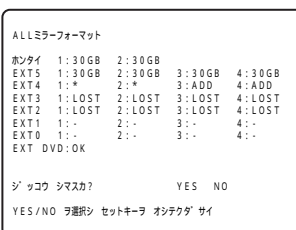


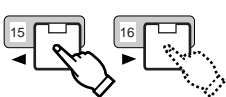
8  カーソルを“ALLミラー”に合わせます。

どちらかを押す

1DISK ALL ALLミラー
リスタート

9  ALLミラーフォーマット画面を表示します。



10  カーソルを“YES”に合わせます。

どちらかを押す

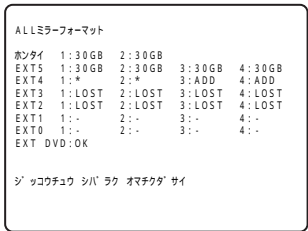
ジッコウシマスカ? YES NO

11



ミラーリング機能の設定を開始します。

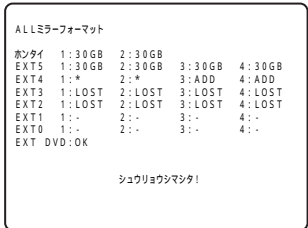
- 設定中は、画面下部に “ジッコウチュウ シバラク オマチクダサイ” と表示されます。



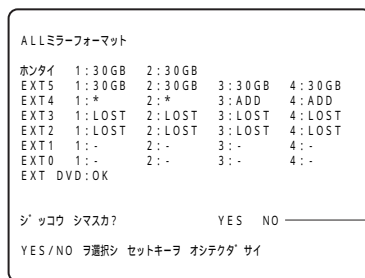
12

ミラーリング設定が終了すると、画面下部に “シュウリョウ シマシタ!” と表示されます。

- 約5秒後に通常画面（カメラ映像）が表示されます。



ALLミラーフォーマット画面



ミラーリング機能設定確認
YES：設定を実行します
NO：DISKメニュー画面に戻ります

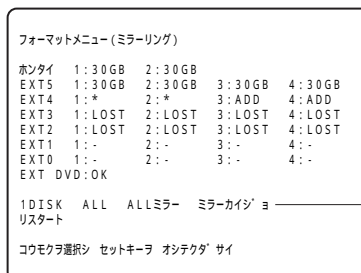
ミラーリング機能の解除方法

ミラーリング機能を解除するときは、ミラーリング機能の設定方法手順8（前ページ）で “ミラーカイジヨ” を選択してください。

その他の操作方法は、ミラーリング機能の設定方法と同じです。

メモ

ミラーリング機能が設定されている場合、フォーマットメニュー画面のメニュー項目に “ミラーカイジヨ” という項目が表示されます。



ミラーカイジヨ

録画データ消去機能

録画データ（映像）の消去には、次の方法があります。


自動消去：設定した保存日数を過ぎた録画データを自動的に消去します。（☞ 下記）

手動消去：設定した日にち以前の録画データを消去します。（☞ 87ページ）

メモ

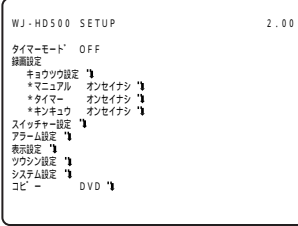
HDDシュウタン動作の設定（☞ 91ページ）が“STOP”の場合は、残容量が0%（DISK FULL）のハードディスクに記録されている録画データを消去しても録画を行うことはできません。（DISK FULLの状態は解除されません）


自動消去機能の設定方法

- 

1 設定/ESC
約2秒間押す

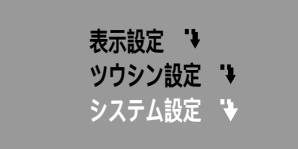
セットアップメニューを表示します。




```
WJ-HD500 SETUP 2.00
タイムモード OFF
録画設定
キヨウワウ設定
*マニュアル オンセナシ
*タイマー オンセナシ
*キョウワウ オンセナシ
スイッチャー設定
アラーム設定
表示設定
ツウシン設定
システム設定
コピー DVD
```
- 

2 どちらかを押す

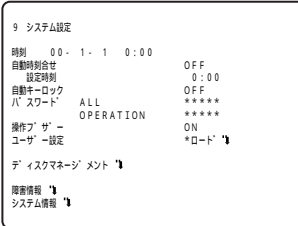
カーソルを“システム設定”に合わせます。




```
表示設定
ツウシン設定
システム設定
```
- 

3 押す

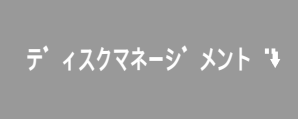
システム設定メニューを表示します。




```
9 システム設定
時刻 00-1-1 0:00
自動特別合せ OFF
設定時刻 0:00
自動キロック OFF
パスワード ALL *****
OPERATION *****
操作パスワード ON
ユーザー設定 *ロード
ディスクマネージメント
障害情報
システム情報
```
- 

4 どちらかを押す

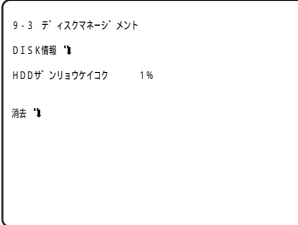
カーソルを“ディスクマネージメント”に合わせます。




```
ディスクマネージメント
```
- 

5 押す


ディスクマネージメントメニューを表示します。



```
9-3 ディスクマネージメント
DISK情報
HDDサンリョウケイコク 1%
消去
```
- 

6 どちらかを押す

カーソルを“消去”に合わせます。



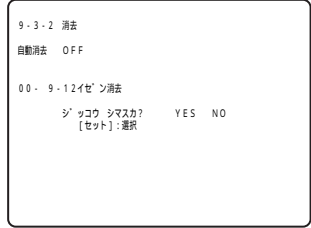
```
消去
```

録画データ消去機能

7



消去設定メニューを表示します。



8



カーソルを“自動消去”の設定項目に合わせます。



9



録画データを保存しておく日数を設定します。



10

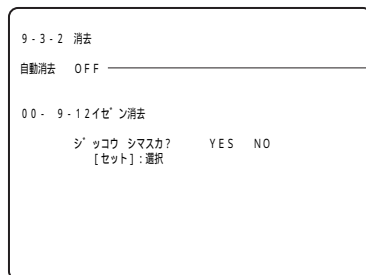


メニューを消します。

- 自動消去の設定が完了します。
- 録画データの保存期間が、手順9で設定した保存日数を過ぎると、自動的に消去されます。
- 録画データが消去されるタイミングは、対象日の“0:00”です。その時刻に本機の電源が入っていない場合は、電源を入れたときに録画データの状態を検索して、自動消去を実行します。

消去対象の録画データが再生中の場合、そのデータは消去されません。

消去設定メニュー



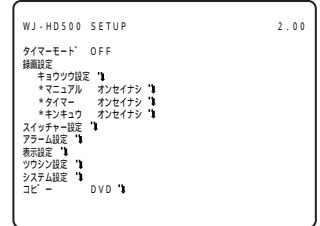
- 自動消去（初期設定：OFF）
- OFF : 自動消去しない
 - 1DAY ~ 10DAYS : 1 ~ 10日
 - 14DAYS : 14日
 - 30DAYS : 30日
 - 45DAYS : 45日
 - 60DAYS : 60日
 - 90DAYS : 90日
 - 120DAYS : 120日
 - 150DAYS : 150日
 - 180DAYS : 180日

手動消去の操作方法

1



セットアップメニューを表示
します。



2



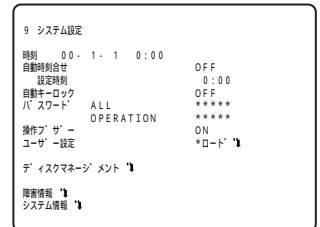
カーソルを“システム設定”
に合わせます。

表示設定
ツウシン設定
システム設定

3



システム設定メニューを表示
します。



4



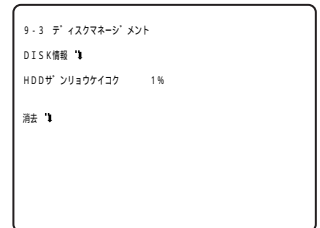
カーソルを“ディスクマネー
ジメント”に合わせます。

ディスクマネージメント

5



ディスクマネージメントメ
ニューを表示します。



6



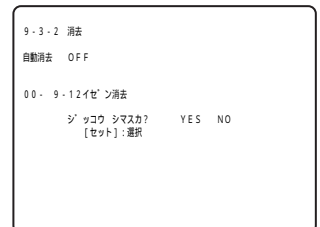
カーソルを“消去”に合わ
せます。

消去

7



消去設定メニューを表示し
ます。



8

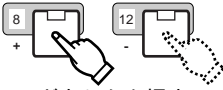







カーソルを“日付”の設定項目
に合わせます。

- ここで設定する日付以前の録
画データが、消去の対象とな
ります。

00-9-12イゼン消去

録画データ消去機能

- 9**  “年”を設定します。
 ● “年”は、西暦の下2桁で表示されます。
 どちらかを押す
-
- 10**  カーソルを“月”の設定項目に合わせます。
 ● 手順9, 10の操作をくり返し、日付を設定します。
 押す
- 00 - 9 - 12イセ'ン消去
-
- 11**  カーソルを“ジッコウシマスカ?”の設定項目に合わせます。
 どちらかを押す
- ジ' ッコウシマスカ? YES NO
[セット]:選択
-
- 12**  カーソルを“YES”に合わせます。
 どちらかを押す
- ジ' ッコウシマスカ? YES NO
[セット]:選択
-
- 13**  録画データを消去します。
 ● 設定した日付以前の録画データが消去されます。
 セット 押す
- 9 - 3 - 2 消去
 自動消去 OFF
 00 - 9 - 12イセ'ン消去
 1 ジ' ッコウ シマスカ? YES NO
 [セット]:選択
 消去チュウ ██████████
-
- 14**  メニューを消します。
 約2秒間押す

便利な機能

メニュー画面について

メニュー画面とは

本機の多彩な機能を設定するためのもので、設定項目ごとにメニュー画面が分かれています。メニュー画面の中で、一番最初に表示される画面を“セットアップメニュー”といい、すべての設定操作は、このメニュー画面を表示したところから始まります。

メモ

- メニュー画面表示中は再生操作を行えません。
- メニュー画面表示中は録画を行えますが、メニュー画面を消したときに録画を一旦停止して、新たな設定内容を検証します。設定内容が変更されていた場合は、録画を停止します。ただし、マニュアル録画の場合は録画を停止せず、新しい設定内容で録画を続けます。

メニュー画面の表示方法

カーソルとは、メニュー上で反転表示している部分です。この説明書では、白文字で表現しています。

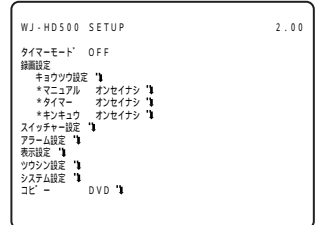
1



約2秒間押す

セットアップメニューを表示します。

- カーソルは“タイマーモード”の設定項目にあります。



2



どちらかを押す

カーソルを設定したい機能の項目に合わせます。

- ▼ カーソルボタンを押すと、カーソルが“キョウツウ設定” → “*マニュアル オンセイナシ” → と下方向に移動していきます。
- ▲ カーソルボタンを押すと、カーソルが“システム設定” → “ツウシン設定” → と上方向に移動していきます。

3



押す

設定したい機能のメニュー画面を表示し、各機能の設定を行います。(90 ~ 135ページ)

- 設定項目の右側にある“▼”マークは、下の階層にメニュー画面があることを示しています。

4



約2秒間押す

メニュー画面を消します。

- 設定が完了し、通常の運用状態に戻ります。

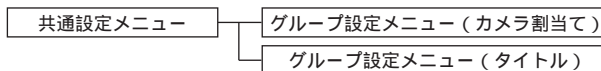
《メニュー画面表示中に操作するボタンとその働きについて》

- ▼ カーソルボタン : カーソルを下方向に移動します。
- ▲ カーソルボタン : カーソルを上方向に移動します。
- ◀ カーソルボタン : カーソルを左方向に移動します。
- ▶ カーソルボタン : カーソルを右方向に移動します。
- + ボタン、- ボタン : 選択項目の設定値を変更します。
- ジョグダイヤル : + ボタン、- ボタンと同じ働きをします。
- セットボタン : 下の階層に移動します。
- 再生ボタン : セットボタンと同じ働きをします。
- 設定/ESCボタン : 上の階層に移動します。
- 停止ボタン : 設定/ESCボタンと同じ働きをします。
- 設定/ESCボタン2秒押し : メニュー画面を消して、通常の運用状態に戻ります。
- 停止ボタン2秒押し : 設定/ESCボタン2秒押しと同じ働きをします。

共通機能の設定

録画機能に関する共通設定、グループへのカメラ割当てやグループタイトル設定、再生動作の設定です。

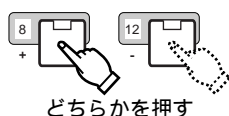
《共通機能のメニュー画面構成》



共通設定メニューの設定操作

設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。

1 動きの激しい被写体でも、ブレのない映像が録画できます。

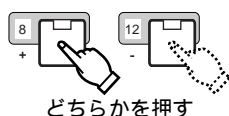


録画モードを設定します。
(初期設定：FIELD)

フィールド/フレーム FIELD

FIELD : 標準解像度 (720×240)
FRAME 3DIM ON : 高解像度 (720×480) 画ブレ補正付き¹
FRAME 3DIM OFF : 高解像度 (720×480)²

2 “FRAME 3DIM ON” より、高い録画レートが設定可能です。
(95, 99, 102, 104ページ)



カラーモードを設定します。
(初期設定：COLOR STD)

カラーモード COLOR STD

COLOR FINE³ : 高解像度カラー映像で録画
COLOR STD : カラー映像で録画
B/W⁴ : 白黒映像で録画

3 画像記録装置 WJ-DR200と互換性のあるモードです。



カメラGENLOCKを設定します。
(初期設定：OFF)

カメラGENLOCK OFF

- カメラの同期状態を確認の上、“ON (xxFPS) / OFF” を選択します。カメラの同期状態と異なる設定を行うと、正しく録画されない恐れがあります。

ON(xxFPS)⁵ : カメラにGEN LOCK同期をかけている場合
OFF : カメラにGEN LOCK同期をかけていない場合

4 白黒カメラ用のモードで、録画映像のデータ量が少なくなります。



グループ設定メニュー (カメラ割当て) を表示します。(92ページ)

カメラ割アテ ↓

- グループにカメラを割り当てます。

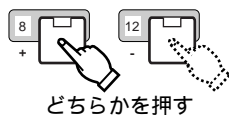


グループ設定メニュー (タイトル) を表示します。(93ページ)

タイトル ↓

- グループタイトルを設定します。

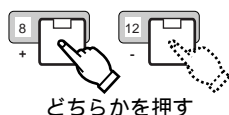
5 フィールド/フレームの設定がFIELDのときは“60”、FRAME 3DIM ONのときは“10”、FRAME 3DIM OFFのときは“30”と表示されます。



グループ・カメラタイトル表示録画のON/OFFを設定します。(初期設定：OFF)

タイトル記録 OFF

ON : タイトル表示を録画する
OFF : タイトル表示は録画しない



時刻表示録画のON/OFFを設定します。
(初期設定：OFF)

時刻記録 OFF

ON : 時刻表示を録画する
OFF : 時刻表示は録画しない



録画リストをサムネール（代表小画面）表示するときの画面分割数を設定します。（初期設定：8）

サムネール表示数 8

- 8 : 8画面で表示する
- 16 : 16画面で表示する



再生動作を設定します。（初期設定：ALL）

再生動作 ALL

- ONE : 選択したレコードを1回だけ再生する
- LOOP: 選択したレコードをくり返し再生する
- ALL : レコードを自動的に切り換えて再生する



ジョグ/シャトル動作を設定します。（初期設定：SET1）

ジョグ/シャトル動作 SET1

- SET1: ジョグダイヤル操作で順方向・逆方向のレコードスキップを行い、シャトルリング操作で再生速度の可変を行います。
- SET2: ジョグダイヤル操作で再生速度の可変を行い、シャトルリング操作で順方向・逆方向のレコードスキップを行います。



レコーダーの残容量がなくなったときの動作を設定します。（初期設定：CONTINUE）

HDDシュワタン動作 CONTINUE

- STOP : 録画を停止する
- CONTINUE : 古い録画データに上書きして録画を続ける
- ALM CONTINUE : アラーム発生時のみ、古い録画データに上書きして録画を続ける



セットアップメニューに戻ります。


- 録画/再生機能の設定が完了します。

共通設定メニュー（初期設定値）

1 キョウツウ設定	
画質設定（録画時間、録画レート）	エイキョウ
フィールド / フレーム	FIELD
カラーモード	COLOR STD
カメラGENLOCK	OFF
グループ設定	
カメラ動作	
タイトル	
タイトル記録	OFF
時刻記録	OFF
サムネール表示数	8
再生動作	ALL
ジョグ / シャトル動作	SET1
HDDシュワタン動作	CONTINUE

グループへのカメラ割当て設定


グループ1, 2, 3, 4へカメラを割り当てます。

1  カマールを設定したいカメラ (CAM) の“グループ”設定部に合わせます。

どちらかを押す

- CAM番号1～16とは、カメラボタン1～16のことです。


CAM	グループ
1	1
2	1

2  カメラにグループを割り当てます。

どちらかを押す

- 1 : グループ1
- 2 : グループ2
- 3 : グループ3
- 4 : グループ4

CAM	グループ
1	1
2	1

3  共通設定メニューに戻ります。

押す

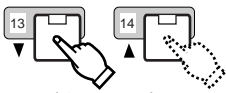
- グループへのカメラ割当てが完了します。

グループ設定メニュー カメラ割当て (初期設定値)

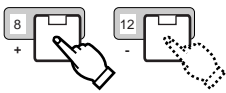
1-1 グループ設定 (カメラ割当て)

CAM	グループ	CAM	グループ
1	1	9	1
2	1	10	1
3	1	11	1
4	1	12	1
5	1	13	1
6	1	14	1
7	1	15	1
8	1	16	1


グループタイトルの設定

1  グループタイトルの設定部に
カーソルを合わせます。
どちらかを押す

グループ 1	G1.....
グループ 2	G2.....
グループ 3	G3.....


2  グループタイトルの1文字目を入力します。
どちらかを押す

- 英数字、カタカナ、記号、スペース(・)の順番で表示が切り換わります。
- グループタイトルは、最大8文字までです。

3  カーソルを2文字目に移動します。
押す

- 手順2, 3をくり返し、グループタイトルを入力します。
- 入力を間違えたときは、◀, ▶カーソルボタンで間違えた文字にカーソルを合わせ、+, -ボタンで再入力します。

4 手順1, 2, 3の操作をくり返し、他のグループタイトルを設定します。

5  共通設定メニューに戻ります。
押す

- グループタイトルの設定が完了します。

- ・英数字
0~9, A~Z, a~z
- ・カタカナ
ア~ン, °, ,
ア~オ, ヤ, ユ,
ヨ, ツ
- ・記号
= ? ' "
- # \$ % & ()
- * + , - . / :
- ;

グループ設定メニュー タイトル (初期設定値)

1-2 グループ 設定(タイトル)	
グループ 1	G1.....
グループ 2	G2.....
グループ 3	G3.....
グループ 4	G4.....

マニュアル録画・外部タイマー録画機能の設定

マニュアル録画、外部タイマー録画共通の動作設定です。

マニュアル録画設定メニューの設定操作

設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。

1 録画時間モードの“SF”、“FQ”、“NQ”、“EX”とは、画質を表しており、各録画時間ごとに4種類の画質が選べます。
SF-xxH：高精細
FQ-xxH：高画質
NQ-xxH：標準
EX-xxH：長時間用



録画時間モード¹を設定します。
(初期設定：SF- 24H)

- 録画時間は目安です。

マニュアル録画時間モード ¹	SF- 24H
録画レート	7.5FPS
画質	SUPER FINE

SF/FQ/NQ/EX-A 2H、SF/FQ/NQ/EX- 2H	: 2時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 12H、SF/FQ/NQ/EX-12H	: 12時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 18H、SF/FQ/NQ/EX-18H	: 18時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 24H、SF/FQ/NQ/EX-24H	: 24時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 48H、SF/FQ/NQ/EX-48H	: 48時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 72H、SF/FQ/NQ/EX-72H	: 72時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 96H、SF/FQ/NQ/EX-96H	: 96時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 120H、SF/FQ/NQ/EX-120H	: 120時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 180H、SF/FQ/NQ/EX-180H	: 180時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 240H、SF/FQ/NQ/EX-240H	: 240時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 360H、SF/FQ/NQ/EX-360H	: 360時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 480H、SF/FQ/NQ/EX-480H	: 480時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 720H、SF/FQ/NQ/EX-720H	: 720時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 960H、SF/FQ/NQ/EX-960H	: 960時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 1200H、SF/FQ/NQ/EX-1200H	: 1200時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 1440H、SF/FQ/NQ/EX-1440H	: 1440時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 2160H、SF/FQ/NQ/EX-2160H	: 2160時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 2880H、SF/FQ/NQ/EX-2880H	: 2880時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 3600H、SF/FQ/NQ/EX-3600H	: 3600時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 4320H、SF/FQ/NQ/EX-4320H	: 4320時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 6480H、SF/FQ/NQ/EX-6480H	: 6480時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 8640H、SF/FQ/NQ/EX-8640H	: 8640時間録画
SP-A、SP	: 録画時間を制限しない

- “A”付(SF-A 2Hなど)は、音声も録音することを表しています。²
- “SP”以外は、ハードディスクの総容量に対して、録画レート、画質を自動的に設定します。
- ハードディスクの残容量によっては、録画時間を設定できない場合もあります。

つづく

2 セットアップメニューで“オンセイアリ”を選択した場合のみ設定できます。

マニュアル録画・外部タイマー録画機能の設定

1 カメラの映像をレコーダーに録画する間隔です。数値が高いほど、動画に近い状態で録画されます。



録画時間モードが“SP”のとき、録画レート¹を設定します。

マニュアル録画時間モード ¹	SP
録画レート	7.5FPS
画質	SUPER FINE

- 60FPS : 1秒間に60枚の静止画を録画
- 30FPS : 1秒間に30枚の静止画を録画
- 15FPS : 1秒間に15枚の静止画を録画
- 10FPS : 1秒間に10枚の静止画を録画
- 7.5FPS : 1秒間に7.5枚の静止画を録画
- 6FPS : 1秒間に6枚の静止画を録画
- 5FPS : 1秒間に5枚の静止画を録画
- 3FPS : 1秒間に3枚の静止画を録画
- 2FPS : 1秒間に2枚の静止画を録画
- 1FPS : 1秒間に1枚の静止画を録画
- 0.5FPS : 2秒間で1枚の静止画を録画
- 0.4FPS : 2.5秒間で1枚の静止画を録画
- 0.3FPS : 約3.3秒間で1枚の静止画を録画
- 0.2FPS : 5秒間で1枚の静止画を録画
- 0.1FPS : 10秒間で1枚の静止画を録画

2 90ページ参照

●録画最大レートは、フィールド/フレームの設定²およびカメラGENLOCKの設定²により下表のようになります。

フィールド/フレーム設定	カメラGENLOCK設定	録画最大レート
FIELD	ON	60FPS
	OFF	30FPS
FRAME 3DIM ON	ON	10FPS
	OFF	10FPS
FRAME 3DIM OFF	ON	30FPS
	OFF	15FPS

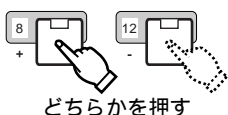
●“FPS”は、フィールド/フレーム設定がFIELD時“Fields/sec”、FRAME時“Frame/sec”を表しています。



録画時間モードが“SP”のとき、画質を設定します。(初期設定: SUPER FINE)

マニュアル録画時間モード ¹	SP
録画レート	7.5FPS
画質	SUPER FINE

- SUPER FINE : 高精細 (圧縮率 1/6)
- FINE : 高画質 (圧縮率 1/10)
- NORMAL : 標準 (圧縮率 1/16)
- EXTENDED : 長時間用 (圧縮率 1/25)



アラーム発生時の録画時間モードを設定します。(初期設定: SF-24H)

イベント録画時間モード ¹	SF-24H
録画レート(MAX)	7.5FPS
画質	SUPER FINE

●設定内容は、マニュアル録画時間モードと同じです。(前ページ)



マニュアル録画・外部タイマー録画機能の設定

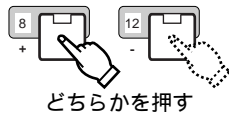


どちらかを押す

イベント録画時間モードが“ SP ”のとき、アラーム発生時の録画レートを設定します。

- 設定内容は、録画レートと同じです。
(前ページ)

イベント録画時間モード' SP
録画レート(MAX) 7.5FPS
画質 SUPER FINE

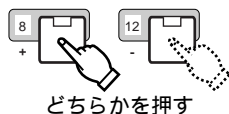


どちらかを押す

イベント録画時間モードが“ SP ”のとき、アラーム発生時の画質を設定します。
(初期設定：SUPER FINE)

- 設定内容は、画質と同じです。
(前ページ)

イベント録画時間モード' SP
録画レート(MAX) 7.5FPS
画質 SUPER FINE

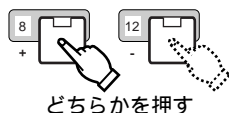


どちらかを押す

アラーム発生時の録画動作時間を設定します。(初期設定：10S)

- OFF : アラーム録画しない
- 2S ~ 9S : 2 ~ 9秒間録画を行う
- 10S : 10秒間録画を行う
- 20S : 20秒間録画を行う
- 30S : 30秒間録画を行う
- 1M : 1分間録画を行う
- 1.5M : 1分30秒間録画を行う
- 2M : 2分間録画を行う
- 3M : 3分間録画を行う
- 6M : 6分間録画を行う
- MANUAL : 制御端子へ信号が入力されている間だけ録画を行う
- CONTINUE : 録画停止ボタンを押すまで録画を行う

動作時間 10S



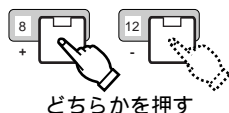
どちらかを押す

アラーム発生時の録画方法(ユウセン録画)を設定します。

(初期設定：OFF、 35ページ)

- OFF : 優先録画をしない
- ALM-PRI : アラームが発生したカメラの映像をくり返し割り込ませて録画する
- ALM-ONLY : アラームが発生したカメラの映像のみを録画する
- ALM-MULTI : 多数のアラームに適応して録画する

ユウセン録画 OFF



どちらかを押す

ユウセン録画の設定が“ ALM-MULTI ”のとき、録画レート(キホン)を設定します。

- 設定内容は、録画レートと同じです。
(前ページ)

録画レート(キホン) 1FPS

マニュアル録画・外部タイマー録画機能の設定



トリガ動作設定メニューを表示します。
(下記)

- マニュアル録画中にアラーム入力があったときのカメラ動作を個別に設定する機能です。

トリガ 動作設定 ↓



2-1 トリガ 動作設定			
CAM	ACTION	CAM	ACTION
1	REC+ALM	9	REC+ALM
2	REC	10	REC+ALM
3	OFF	11	REC+ALM
4	REC+ALM	12	REC+ALM
5	REC+ALM	13	REC+ALM
6	REC+ALM	14	REC+ALM
7	REC+ALM	15	REC+ALM
8	REC+ALM	16	REC+ALM



セットアップメニューに戻ります。

- マニュアル録画・外部タイマー録画機能の設定が完了します。

マニュアル録画設定メニュー（初期設定値）

マニュアル録画、外部タイマー録画の動作設定

アラーム発生時の録画動作設定

2 マニュアル録画設定 (オンセイナシ)	
マニュアル録画モード*	SF - 24H
録画レート	7.5FPS
画質	SUPER FINE
イベント録画モード*	SF - 24H
録画レート(MAX)	7.5FPS
画質	SUPER FINE
動作時間	10S
ユウセン録画	OFF
録画レート(キホン)	1FPS
トリガ 動作設定	1

トリガ動作の設定

1



どちらかを押す

カーソルを設定したいカメラ (CAM) の設定部 (ACTION) に合わせます。

CAM	ACTION
1	REC+ALM

2



どちらかを押す

トリガ動作を設定します。(初期設定: REC + ALM)

- REC + ALM : 録画とアラーム動作を行う
- REC : 録画を行う
- OFF : 録画もアラーム動作もしない

- 接続したカメラ (CAM1 ~ 16) のトリガ動作を設定してください。

3



マニュアル録画設定メニューに戻ります。

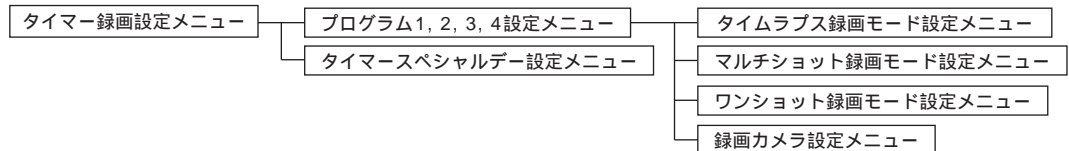
- トリガ動作の設定が完了します。

内部タイマー録画機能の設定

内部タイマー録画では、タイマー設定ごとに録画するカメラをグループで指定します。1つのタイマー設定に4グループまで指定でき、グループごとに録画モード(タイムラプス、マルチショット、ワンショット)を設定できます。

内部タイマー録画の設定は、30~33ページで説明していますので、ここでは各録画モードの動作設定(98~105ページ)とタイマースペシャルデー(106ページ)の設定方法を説明します。

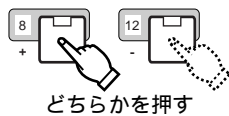
《タイマーレコーダー録画モード設定メニューの画面構成》



タイムラプス録画モード設定メニューの設定操作

設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。

1録画時間モードの“SF”、“FQ”、“NQ”、“EX”とは、画質を表しており、各録画時間ごとに4種類の画質が選べます。
SF-xxH: 高精細
FQ-xxH: 高画質
NQ-xxH: 標準
EX-xxH: 長時間用



録画時間モード¹を設定します。
(初期設定: SF- 24H)

- 録画時間は目安です。

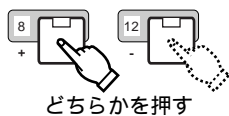
タイマー録画時間モード ¹	SF- 24H
録画レート	7.5FPS
画質	SUPER FINE

OFF	: 録画しない
SF/FQ/NQ/EX-A 2H、SF/FQ/NQ/EX- 2H	: 2時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 12H、SF/FQ/NQ/EX-12H	: 12時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 18H、SF/FQ/NQ/EX-18H	: 18時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 24H、SF/FQ/NQ/EX-24H	: 24時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 48H、SF/FQ/NQ/EX-48H	: 48時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 72H、SF/FQ/NQ/EX-72H	: 72時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 96H、SF/FQ/NQ/EX-96H	: 96時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 120H、SF/FQ/NQ/EX-120H	: 120時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 180H、SF/FQ/NQ/EX-180H	: 180時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 240H、SF/FQ/NQ/EX-240H	: 240時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 360H、SF/FQ/NQ/EX-360H	: 360時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 480H、SF/FQ/NQ/EX-480H	: 480時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 720H、SF/FQ/NQ/EX-720H	: 720時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 960H、SF/FQ/NQ/EX-960H	: 960時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 1200H、SF/FQ/NQ/EX-1200H	: 1200時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 1440H、SF/FQ/NQ/EX-1440H	: 1440時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 2160H、SF/FQ/NQ/EX-2160H	: 2160時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 2880H、SF/FQ/NQ/EX-2880H	: 2880時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 3600H、SF/FQ/NQ/EX-3600H	: 3600時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 4320H、SF/FQ/NQ/EX-4320H	: 4320時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 6480H、SF/FQ/NQ/EX-6480H	: 6480時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 8640H、SF/FQ/NQ/EX-8640H	: 8640時間録画
SP-A、SP	: 録画時間を制限しない

- “A”付(SF-A 2Hなど)は、音声も録音することを表しています。²
- “SP”以外は、ハードディスクの総容量に対して、録画レート、画質を自動的に設定します。
- ハードディスクの残容量によっては、録画時間を設定できない場合もあります。

2セットアップメニューで“オンセイアリ”を選択した場合のみ設定できます。

1 カメラの映像をレコーダーに録画する間隔です。数値が高いほど、動画に近い状態で録画されます。



録画時間モードが“SP”のとき、録画レート¹を設定します。

タイマー録画時間モード ¹	SP
録画レート	7.5FPS
画質	SUPER FINE

- 60FPS : 1秒間に60枚の静止画を録画
- 30FPS : 1秒間に30枚の静止画を録画
- 15FPS : 1秒間に15枚の静止画を録画
- 10FPS : 1秒間に10枚の静止画を録画
- 7.5FPS : 1秒間に7.5枚の静止画を録画
- 6FPS : 1秒間に6枚の静止画を録画
- 5FPS : 1秒間に5枚の静止画を録画
- 3FPS : 1秒間に3枚の静止画を録画
- 2FPS : 1秒間に2枚の静止画を録画
- 1FPS : 1秒間に1枚の静止画を録画
- 0.5FPS : 2秒間で1枚の静止画を録画
- 0.4FPS : 2.5秒間で1枚の静止画を録画
- 0.3FPS : 約3.3秒間で1枚の静止画を録画
- 0.2FPS : 5秒間で1枚の静止画を録画
- 0.1FPS : 10秒間で1枚の静止画を録画

- 録画最大レートは、フィールド/フレームの設定²およびカメラGENLOCKの設定²により下表のようになります。
- “FPS”は、フィールド/フレーム設定がFIELD時“Fields/sec”、FRAME時“Frame/sec”を表しています。

フィールド/フレーム設定	カメラGENLOCK設定	録画最大レート
FIELD	ON	60FPS
	OFF	30FPS
FRAME 3DIM ON	ON	10FPS
	OFF	10FPS
FRAME 3DIM OFF	ON	30FPS
	OFF	15FPS

2 90ページ参照



録画時間モードが“SP”のとき、画質を設定します。
(初期設定：SUPER FINE)

タイマー録画時間モード ¹	SP
録画レート	7.5FPS
画質	SUPER FINE

- SUPER FINE : 高精細 (圧縮率 1/6)
- FINE : 高画質 (圧縮率 1/10)
- NORMAL : 標準 (圧縮率 1/16)
- EXTENDED : 長時間用 (圧縮率 1/25)

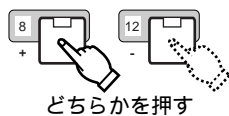


トリガ動作を設定します。
(初期設定：REC+ALM)

トリガ ¹ 動作	REC+ALM
---------------------	---------

- REC+ALM : 録画とアラーム動作を行う
- REC : 録画を行う
- OFF : 録画もアラーム動作もしない

内部タイマー録画機能の設定



どちらかを押す

アラーム発生時の録画時間モードを設定します。(初期設定：SF-24H)

- 設定内容は、録画時間モードと同じです。(☞ 98ページ)

イベント録画時間モード SF-24H
録画レート(MAX) 7.5FPS
画質 SUPER FINE



どちらかを押す

イベント録画時間モードが“SP”のとき、アラーム発生時の録画レートを設定します。

- 設定内容は、録画レートと同じです。(☞ 前ページ)

イベント録画時間モード SP
録画レート(MAX) 7.5FPS
画質 SUPER FINE

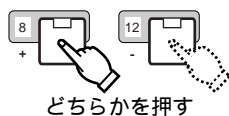


どちらかを押す

イベント録画時間モードが“SP”のとき、アラーム発生時の画質を設定します。(初期設定：SUPER FINE)

- 設定内容は、画質と同じです。(☞ 前ページ)

イベント録画時間モード SP
録画レート(MAX) 7.5FPS
画質 SUPER FINE

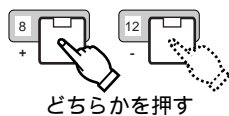


どちらかを押す

アラーム発生時の録画動作時間を設定します。(初期設定：10S)

- 2S～9S : 2～9秒間録画を行う
- 10S : 10秒間録画を行う
- 20S : 20秒間録画を行う
- 30S : 30秒間録画を行う
- 1M : 1分間録画を行う
- 1.5M : 1分30秒間録画を行う
- 2M : 2分間録画を行う
- 3M : 3分間録画を行う
- 6M : 6分間録画を行う
- MANUAL : 制御端子へ信号が入力されている間だけ録画を行う
- CONTINUE : 録画停止ボタンを押すまで録画を行う

録画時間 10S

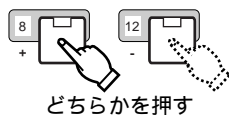


どちらかを押す

アラーム発生時の録画方法(ユウセン録画)を設定します。(初期設定：OFF、☞ 36ページ)

- OFF : 優先録画をしない
- ALM-PRI : アラームが発生したカメラの映像をくり返し割り込ませて録画する
- ALM-ONLY : アラームが発生したカメラの映像のみを録画する
- ALM-MULTI : 多数のアラームに適応して録画する

ユウセン録画 OFF

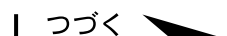


どちらかを押す

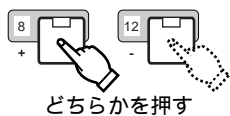
ユウセン録画の設定が“ALM-MULTI”のとき、録画レート(キホン)を設定します。

- 設定内容は、録画レートと同じです。(☞ 前ページ)

録画レート(キホン) 1FPS



内部タイマー録画機能の設定



自動コピー（バックアップ機能）を設定
 します。（初期設定：OFF）
 自動コピーは、トリガ動作の設定が
 “REC + ALM” のときのみ有効です。

自動コピー - OFF

- ON : 録画データを録画と同時に
 DVD-RAMディスクにコピー
 する (77ページ)
- OFF : 自動コピーをしない



プログラム 1, 2, 3, 4 設定メニューに戻ります。

- タイムラプス録画モードの設定が完了します。



タイマー録画設定メニューに戻ります。もう一度押すと、セット
 アップメニューに戻ります。

タイムラプス録画モード設定メニュー（初期設定値）

タイムラプス録画モードの動作設定

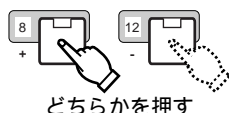
アラーム発生時の録画動作設定

3-1-1-1 PROG1-N01-G1 録画設定	
T/L (タイムラプスレコーダー)	
タイマー録画時間モード	SF - 24H
録画レート	7.5FPS
画質	SUPER FINE
トリガ動作	REC+ALM
イベント録画時間モード	SF - 24H
録画レート(MAX)	7.5FPS
画質	SUPER FINE
録画時間	10S
ユウセン録画	OFF
録画レート(キホン)	1FPS
自動コピー	OFF

内部タイマー録画機能の設定

マルチショット録画モード設定メニューの設定操作

設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。



どちらかを押す

トリガ動作を設定します。
(初期設定：REC+ALM)

REC+ALM : 録画とアラーム動作
 を行う
REC : 録画を行う

トリガ* 動作 REC+ALM



どちらかを押す

録画レート¹を設定します。
(初期設定：15FPS)

60FPS : 1秒間に60枚の静止画を録画
30FPS : 1秒間に30枚の静止画を録画
15FPS : 1秒間に15枚の静止画を録画
10FPS : 1秒間に10枚の静止画を録画
7.5FPS : 1秒間に7.5枚の静止画を録画
6FPS : 1秒間に6枚の静止画を録画
5FPS : 1秒間に5枚の静止画を録画
3FPS : 1秒間に3枚の静止画を録画
2FPS : 1秒間に2枚の静止画を録画
1FPS : 1秒間に1枚の静止画を録画
0.5FPS : 2秒間で1枚の静止画を録画
0.4FPS : 2.5秒間で1枚の静止画を録画
0.3FPS : 約3.3秒間で1枚の静止画を録画
0.2FPS : 5秒間で1枚の静止画を録画
0.1FPS : 10秒間で1枚の静止画を録画

録画モード*
録画レート 15FPS
画質 SUPER FINE

1 カメラの映像をレコーダーに録画する間隔です。数値が高いほど、動画に近い状態で録画されます。

● 録画最大レートは、フィールド/フレームの設定²およびカメラGENLOCKの設定²により下表のようになります。

フィールド/フレーム設定	カメラGENLOCK設定	録画最大レート
FIELD	ON	60FPS
	OFF	30FPS
FRAME 3DIM ON	ON	10FPS
	OFF	10FPS
FRAME 3DIM OFF	ON	30FPS
	OFF	15FPS

● “FPS” は、フィールド/フレーム設定がFIELD時 “Fields/sec”、FRAME時 “Frame/sec” を表しています。



どちらかを押す

画質を設定します。
(初期設定：SUPER FINE)

SUPER FINE : 高精細 (圧縮率1/6)
FINE : 高画質 (圧縮率1/10)
NORMAL : 標準 (圧縮率1/16)
EXTENDED : 長時間用 (圧縮率1/25)

録画モード*
録画レート 15FPS
画質 SUPER FINE

つづく

内部タイマー録画機能の設定



アラーム発生時のプレ録画枚数を設定します。(初期設定：15)

0 : 0枚
4 ~ 19 : 4 ~ 19枚
20 ~ 最大枚数: 20枚 ~ 最大枚数 (10枚単位)

プレ録画枚数 15
ポスト録画枚数 60

●最大枚数は、画質やフィールド/フレーム設定により決まります。



アラーム発生時のポスト録画枚数を設定します。(初期設定：60)

●設定内容はプレ録画枚数と同じですが、最大枚数は200枚です。

プレ録画枚数 15
ポスト録画枚数 60



アラーム発生時の録画方法 (ユウセン録画) を設定します。(初期設定：OFF)

OFF : 優先録画をしない
(36ページ)

ALM-ONLY : アラームが発生したカメラの映像のみを録画する
(36ページ)

ユウセン録画 OFF



自動コピー (バックアップ機能) を設定します。(初期設定：OFF)

自動コピーは、トリガ動作の設定が“REC + ALM”のときのみ有効です。

ON : 録画データを録画と同時にDVD-RAMディスクにコピーする (77ページ)

OFF : 自動コピーをしない

自動コピー OFF



プログラム1, 2, 3, 4設定メニューに戻ります。

- マルチショット録画モードの設定が完了します。
- 続けて押すとタイマー録画設定メニューに戻り、もう一度押すとセットアップメニューに戻ります。

マルチショット録画モード設定メニュー (初期設定値)

3-1-1-1 PROG1-N01-G1 録画設定

M/S (イベントレコーダ) マルチショット)

トリガ動作 REC+ALM

録画モード
録画レート 15FPS
画質 SUPER FINE
プレ録画マイ数 15

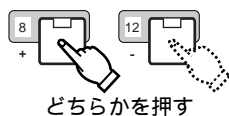
ポスト録画マイ数 60
ユウセン録画 OFF

自動コピー OFF

内部タイマー録画機能の設定

ワンショット録画モード設定メニューの設定操作

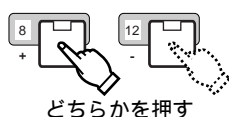
設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。



トリガ動作を設定します。
(初期設定：REC + ALM)

REC + ALM : 録画とアラーム動作を行う
REC : 録画を行う

トリガ動作 REC+ALM



録画レート¹を設定します。
(初期設定：15FPS)

60FPS : 1秒間に60枚の静止画を録画
30FPS : 1秒間に30枚の静止画を録画
15FPS : 1秒間に15枚の静止画を録画
10FPS : 1秒間に10枚の静止画を録画
7.5FPS : 1秒間に7.5枚の静止画を録画
6FPS : 1秒間に6枚の静止画を録画
5FPS : 1秒間に5枚の静止画を録画
3FPS : 1秒間に3枚の静止画を録画
2FPS : 1秒間に2枚の静止画を録画
1FPS : 1秒間に1枚の静止画を録画

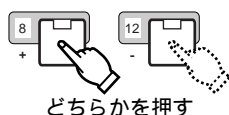
録画モード¹
録画レート 15FPS
画質 SUPER FINE

1 カメラの映像をレコーダーに録画する間隔です。数値が高いほど、動画に近い状態で録画されます。

- 録画最大レートは、フィールド/フレームの設定²およびカメラ GENLOCKの設定²により下表のようになります。

フィールド/フレーム設定	カメラGENLOCK設定	録画最大レート
FIELD	ON	60FPS
	OFF	30FPS
FRAME 3DIM ON	ON	10FPS
	OFF	10FPS
FRAME 3DIM OFF	ON	30FPS
	OFF	15FPS

- “FPS” は、フィールド/フレーム設定がFIELD時 “Fields/sec”、FRAME時 “Frame/sec” を表しています。



画質を設定します。
(初期設定：SUPER FINE)

SUPER FINE : 高精細 (圧縮率1/6)
FINE : 高画質 (圧縮率1/10)
NORMAL : 標準 (圧縮率1/16)
EXTENDED : 長時間用 (圧縮率1/25)

録画モード¹
録画レート 15FPS
画質 SUPER FINE



録画枚数を設定します。
(初期設定：16)

4 ~ 20 : 4 ~ 20枚の静止画を録画
30 : 30枚の静止画を録画
40 : 40枚の静止画を録画
50 : 50枚の静止画を録画
60 : 60枚の静止画を録画

録画枚数 16

内部タイマー録画機能の設定



自動コピー（バックアップ機能）を設定
します。（初期設定：OFF）
自動コピーは、トリガ動作の設定が
“REC + ALM” のときのみ有効です。

自動コピー - OFF

ON : 録画データを録画と同時にDVD-RAMディスクにコピーする
OFF : 自動コピーをしない



プログラム1, 2, 3, 4設定メニューに戻ります。

- ワンショット録画モードの設定が完了します。
- 続けて押すとタイマー録画設定メニューに戻り、もう一度押すとセットアップメニューに戻ります。

ワンショット録画モード設定メニュー（初期設定値）

3-1-1-1 PROG1-NO1-G1 録画設定	
0/5(イベントレコーダ - ワンショット)	
トリガ 動作	REC+ALM
録画モード	
録画レート	15FPS
画質	SUPER FINE
録画マイ数	16
自動コピー	OFF

録画カメラ設定メニューの設定操作

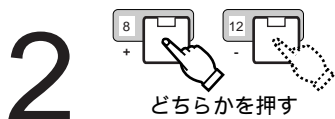
メニューを表示した状態からの操作説明です。



カーソルを設定したいカメラ
(CAM) の“グループ”設定部
に合わせます。

CAM グループ	
1	1
2	1

- CAM番号1～16とは、カメラボタン1～16のことです。



プログラムの録画時間で録画するカメラを設定します。
(初期設定：所属グループ番号1～4)

1～4：録画する OFF：録画しない



プログラム1, 2, 3, 4設定メニューに戻ります。

- 録画カメラの設定が完了します。
- 続けて押すとタイマー録画設定メニューに戻り、もう一度押すとセットアップメニューに戻ります。

録画カメラ設定メニュー（初期設定値）

3-1-1-5 PROG1-NO.1 録画カメラ設定			
CAM	グループ	CAM	グループ
1	1	9	1
2	1	10	1
3	1	11	1
4	1	12	1
5	1	13	1
6	1	14	1
7	1	15	1
8	1	16	1

内部タイマー録画機能の設定

タイマースペシャルデー設定メニューの設定操作

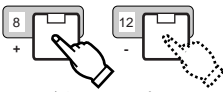
タイマースペシャルデーとは、内部タイマー録画において、カレンダーとは違う曜日の録画動作をする“日”を設定することです。(最大30件)

例えば、火曜日が祝日の場合、その日を日曜日の設定で内部タイマー録画することができます。

メモ

内部タイマー録画は、次の優先順位で実行されます。

- ①タイマースペシャルデー設定 ②曜日ごとの設定 ③DAILY設定

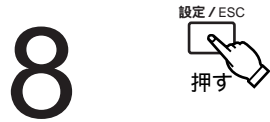
1		<p>タイマースペシャルデー設定メニューを表示すると、カーソルが日付 (DATE) の設定部にあります。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>DATE</th> <th>ACT</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>- - - -</td> <td>- - -</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>- - - -</td> <td>- - -</td> </tr> </tbody> </table>		DATE	ACT	1	- - - -	- - -	2	- - - -	- - -
	DATE	ACT										
1	- - - -	- - -										
2	- - - -	- - -										
2	 <p>どちらかを押す</p>	<p>“月”を設定します。</p> <p>1~12 : 1月~12月</p> <ul style="list-style-type: none"> “月”を設定すると“日”の設定部に“1”と表示されます。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>DATE</th> <th>ACT</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1- 1</td> <td>- - -</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>- - - -</td> <td>- - -</td> </tr> </tbody> </table>		DATE	ACT	1	1- 1	- - -	2	- - - -	- - -
	DATE	ACT										
1	1- 1	- - -										
2	- - - -	- - -										
3	 <p>押す</p>	<p>カーソルを“日”の設定部に合わせます</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>DATE</th> <th>ACT</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1- 1</td> <td>- - -</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>- - - -</td> <td>- - -</td> </tr> </tbody> </table>		DATE	ACT	1	1- 1	- - -	2	- - - -	- - -
	DATE	ACT										
1	1- 1	- - -										
2	- - - -	- - -										
4	 <p>どちらかを押す</p>	<p>“日”を設定します。</p> <p>1~31 : 1日~31日</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>DATE</th> <th>ACT</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1-10</td> <td>- - -</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>- - - -</td> <td>- - -</td> </tr> </tbody> </table>		DATE	ACT	1	1-10	- - -	2	- - - -	- - -
	DATE	ACT										
1	1-10	- - -										
2	- - - -	- - -										
5	 <p>押す</p>	<p>カーソルを“曜日”の設定部 (ACT) に合わせます</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>DATE</th> <th>ACT</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1-10</td> <td>- - -</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>- - - -</td> <td>- - -</td> </tr> </tbody> </table>		DATE	ACT	1	1-10	- - -	2	- - - -	- - -
	DATE	ACT										
1	1-10	- - -										
2	- - - -	- - -										
6	 <p>どちらかを押す</p>	<p>使用する録画動作の“曜日”を設定します。</p> <p>SUN : 日曜日 MON : 月曜日 TUE : 火曜日 WED : 水曜日 THU : 木曜日 FRI : 金曜日 SAT : 土曜日</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>DATE</th> <th>ACT</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1-10</td> <td>SUN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>- - - -</td> <td>- - -</td> </tr> </tbody> </table>		DATE	ACT	1	1-10	SUN	2	- - - -	- - -
	DATE	ACT										
1	1-10	SUN										
2	- - - -	- - -										



続けて設定するときは、カーソルを次の日付 (DATE) 設定部に合わせます。

	DATE	ACT
1	1-10	SUN
2	- - - -	- - -

- 手順2～6の操作をくり返し、同様に設定してください。



タイマー録画設定メニューに戻ります。

- タイマースペシャルデーの設定が完了します。



セットアップメニューに戻ります。

タイマースペシャルデー設定メニュー (初期設定値)

3-5 タイマー スペシャルデー設定

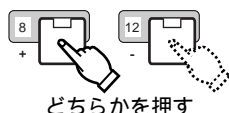
	DATE	ACT	DATE	ACT	DATE	ACT
1	11	21
2	12	22
3	13	23
4	14	24
5	15	25
6	16	26
7	17	27
8	18	28
9	19	29
10	20	30

緊急録画機能の設定

緊急録画設定メニューの設定操作

設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。

1録画時間モードの“SF”、“FQ”、“NQ”、“EX”とは、画質を表しており、各録画時間ごとに4種類の画質が選べます。
SF-xxH：高精細
FQ-xxH：高画質
NQ-xxH：標準
EX-xxH：長時間用



どちらかを押す

録画時間モード¹を設定します。
(初期設定：SF- 24H)

- 録画時間は目安です。

キョクウ録画時間モード ²	SF- 24H
録画レート	7.5FPS
画質	SUPER FINE

SF/FQ/NQ/EX-A 2H、SF/FQ/NQ/EX- 2H	: 2時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 12H、SF/FQ/NQ/EX-12H	: 12時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 18H、SF/FQ/NQ/EX-18H	: 18時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 24H、SF/FQ/NQ/EX-24H	: 24時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 48H、SF/FQ/NQ/EX-48H	: 48時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 72H、SF/FQ/NQ/EX-72H	: 72時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 96H、SF/FQ/NQ/EX-96H	: 96時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 120H、SF/FQ/NQ/EX-120H	: 120時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 180H、SF/FQ/NQ/EX-180H	: 180時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 240H、SF/FQ/NQ/EX-240H	: 240時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 360H、SF/FQ/NQ/EX-360H	: 360時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 480H、SF/FQ/NQ/EX-480H	: 480時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 720H、SF/FQ/NQ/EX-720H	: 720時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 960H、SF/FQ/NQ/EX-960H	: 960時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 1200H、SF/FQ/NQ/EX-1200H	: 1200時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 1440H、SF/FQ/NQ/EX-1440H	: 1440時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 2160H、SF/FQ/NQ/EX-2160H	: 2160時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 2880H、SF/FQ/NQ/EX-2880H	: 2880時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 3600H、SF/FQ/NQ/EX-3600H	: 3600時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 4320H、SF/FQ/NQ/EX-4320H	: 4320時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 6480H、SF/FQ/NQ/EX-6480H	: 6480時間録画
SF/FQ/NQ/EX-A 8640H、SF/FQ/NQ/EX-8640H	: 8640時間録画
SP-A、SP	: 録画時間を制限しない

2セットアップメニューで“オンセイアリ”を選択した場合のみ設定できます。

- “A”付 (SF-A 2Hなど) は、音声も録音することを表しています。²
- “SP” 以外は、ハードディスクの総容量に対して、録画レート、画質を自動的に設定します。
- ハードディスクの残容量によっては、録画時間を設定できない場合もあります。

つづく

1 カメラの映像をレコーダーに録画する間隔です。数値が高いほど、動画に近い状態で録画されます。



録画時間モードが“SP”のとき、録画レート³を設定します。

キンキョウ録画時間モード ¹	SP
録画レート	7.5FPS
画質	SUPER FINE

- 60FPS : 1秒間に60枚の静止画を録画
- 30FPS : 1秒間に30枚の静止画を録画
- 15FPS : 1秒間に15枚の静止画を録画
- 10FPS : 1秒間に10枚の静止画を録画
- 7.5FPS : 1秒間に7.5枚の静止画を録画
- 6FPS : 1秒間に6枚の静止画を録画
- 5FPS : 1秒間に5枚の静止画を録画
- 3FPS : 1秒間に3枚の静止画を録画
- 2FPS : 1秒間に2枚の静止画を録画
- 1FPS : 1秒間に1枚の静止画を録画
- 0.5FPS : 2秒間で1枚の静止画を録画
- 0.4FPS : 2.5秒間で1枚の静止画を録画
- 0.3FPS : 約3.3秒間で1枚の静止画を録画
- 0.2FPS : 5秒間で1枚の静止画を録画
- 0.1FPS : 10秒間で1枚の静止画を録画

2 90ページ参照

- 録画最大レートは、フィールド/フレームの設定⁴およびカメラGENLOCKの設定⁴により下表のようになります。

フィールド/フレーム設定	カメラGENLOCK設定	録画最大レート
FIELD	ON	60FPS
	OFF	30FPS
FRAME 3DIM ON	ON	10FPS
	OFF	10FPS
FRAME 3DIM OFF	ON	30FPS
	OFF	15FPS

- “FPS” は、フィールド/フレーム設定がFIELD時 “Fields/sec”、FRAME時 “Frame/sec” を表しています。



録画時間モードが“SP”のとき、画質を設定します。(初期設定: SUPER FINE)

キンキョウ録画時間モード ¹	SP
録画レート	7.5FPS
画質	SUPER FINE

- SUPER FINE : 高精細 (圧縮率1/6)
- FINE : 高画質 (圧縮率1/10)
- NORMAL : 標準 (圧縮率1/16)
- EXTENDED : 長時間用 (圧縮率1/25)



緊急録画機能の設定



アラーム発生時の録画動作時間を設定します。(初期設定：10S)

- 2S ~ 9S : 2 ~ 9秒間録画を行う
- 10S : 10秒間録画を行う
- 20S : 20秒間録画を行う
- 30S : 30秒間録画を行う
- 1M : 1分間録画を行う
- 1.5M : 1分30秒間録画を行う
- 2M : 2分間録画を行う
- 3M : 3分間録画を行う
- 6M : 6分間録画を行う
- MANUAL : 制御端子へ信号が入力されている間だけ録画を行う
- CONTINUE: 録画停止ボタンを押すまで録画を行う

録画時間 10S



録画カメラ設定メニュー（キンキュウ）を表示します。(111ページ)

- 緊急録画時に録画するカメラを割り当てます。

録画カメラ設定 ↓



セットアップメニューに戻ります。


- 緊急録画機能の設定が完了します。

緊急録画設定メニュー（初期設定値）

4 キンキュウ録画設定 (オンセイナシ)	
キンキュウ録画時間モード	SF・24H
録画レート	7.5FPS
画質	SUPER FINE
録画時間	10S
録画カメラ設定 ↓	

録画カメラの設定操作

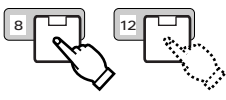
緊急録画時に録画するカメラを設定します。

1  カーソルを設定したいカメラ (CAM) の“録画”設定部に合わせます。

どちらかを押す

●CAM番号1～16とは、カメラボタン1～16のことです。

CAM	録画
1	ON
2	ON

2  録画するカメラを設定します。
(初期設定：ON)

どちらかを押す

ON : 録画する
OFF : 録画しない

3  緊急録画設定メニューに戻ります。

設定/ESC
押す

●録画カメラの設定が完了します。

録画カメラ設定メニュー (初期設定値)

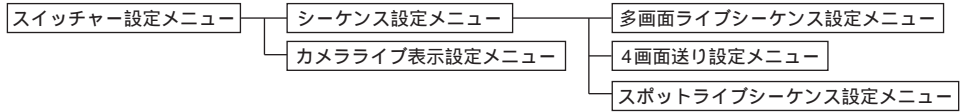
4-1 録画カメラ設定 (キynchウ)

CAM	録画	CAM	録画
1	ON	9	ON
2	ON	10	ON
3	ON	11	ON
4	ON	12	ON
5	ON	13	ON
6	ON	14	ON
7	ON	15	ON
8	ON	16	ON

スイッチャー機能の設定

カメラ映像の表示方法（1画面表示、多画面表示、シーケンス表示）を設定します。

《スイッチャー機能のメニュー画面構成》



スイッチャー設定メニューの設定操作

設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。



シーケンス設定メニューを表示します。
(次ページ)

シーケンス設定 ↓



どちらかを押す

多画面モニターの初期動作を設定します。(初期設定：QUAD-4A)

初期動作 多画面モニタ QUAD-4A
スポットモニタ 1

- 1～16 : カメラ1～16をスポット表示
- SPOT SEQ : カメラ1～16を1画面シーケンス表示
- QUAD-4A～4D : 4画面（4A～4D）をスポット表示
- QUAD SEQ : 4画面シーケンス表示
- 7SCREEN : 7画面スポット表示
- 9SCREEN : 9画面スポット表示
- 10SCREEN : 10画面スポット表示
- 13SCREEN : 13画面スポット表示
- 16SCREEN : 16画面スポット表示

4画面送り設定
(116ページ)
で設定された
4分割画面で
す。

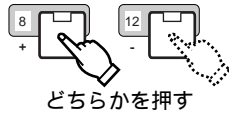


どちらかを押す

スポットモニターの初期動作を設定します。(初期設定：1)

初期動作 多画面モニタ QUAD-4A
スポットモニタ 1

- 1～16 : カメラ1～16をスポット表示
- SPOT SEQ : カメラ1～16を1画面シーケンス表示



どちらかを押す

シークレットビュー機能のON/OFFを設定します。(初期設定：OFF)

シークレットビュー OFF

ON：使用する OFF：使用しない



セット

カメラライブ表示設定メニューを表示します。(117ページ)

カメラライブ表示設定 ↓



設定/ESC

セットアップメニューに戻ります。

- スイッチャー機能の設定が完了します。

スイッチャー設定メニュー（初期設定値）

5 スイッチャー設定
シーケンス設定 ↓
初期動作 多画面モニタ QUAD-4A
 スポットモニタ 1
シークレットビュー OFF
カメラライブ表示設定 ↓

シーケンス設定メニューの設定操作

設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。



多画面ライブシーケンス設定メニューを表示します。(115ページ)

多画面 ライブ シーケンス設定 ↓



どちらかを押す

多画面モニターへの4画送り表示を設定します。(初期設定 : OFF)

ON : 4画送りする (51ページ)
OFF : 4画送りしない

4画送り OFF



4画送り設定メニューを表示します。(116ページ)

4画送り設定 ↓



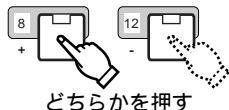
どちらかを押す

多画面モニターへのシーケンス表示における映像の切換方法を設定します。(初期設定 : INT)

INT : 内部タイマー で映像を切り換える
EXT : アラーム端子にある “シーケンス切換入力” への信号入力 で映像を切り換える

シーケンス タイミング INT

各シーケンス設定メニューで設定した切換間隔の時間です。



どちらかを押す

グループ多画面シーケンス表示の動作モードを設定します。(初期設定 : QUAD)

MULTI GROUP : 最小分割数でシーケンス表示する
QUAD : 4画面でシーケンス表示する

グループシーケンス設定 QUAD

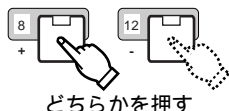


どちらかを押す

グループシーケンス表示 (1画面、多画面) の表示間隔を設定します。(初期設定 : 2S)

1S ~ 30S : 1秒 ~ 30秒

シーケンス間隔 2S



どちらかを押す

多画面モニターのオートスキップ機能 (53, 55, 57ページ) を設定します。(初期設定 : ON)

ON : オートスキップON
OFF : オートスキップOFF

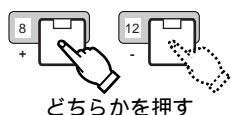
オートスキップ ON

スイッチャー機能の設定



スポットライブシーケンス設定メニューを表示します。(次ページ)

スポット ライブ シーケンス設定

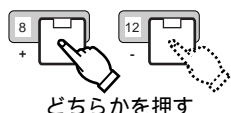


スポットモニターへのシーケンス表示における映像の切換方法を設定します。(初期設定：INT)

シーケンス タイミング INT

INT：内部タイマーで映像を切り換える

EXT：アラーム端子にある“シーケンス切換入力”への信号入力で映像を切り換える



スポットモニターのオートスキップ機能(53ページ)を設定します。(初期設定：ON)

オートスキップ ON

ON：オートスキップON
OFF：オートスキップOFF



スイッチャー設定メニューに戻ります。

- シーケンス設定メニューの設定が完了します。

シーケンス設定メニュー（初期設定値）

```

5-1 シーケンス設定
多画面   ライブ シーケンス設定  OFF
          4画送り
          4画送り設定 
          シーケンス タイミング INT
          グループ シーケンス設定 QUAD
          シーケンス間隔 2S
          オートスキップ ON
スポット ライブ シーケンス設定  INT
          シーケンス タイミング INT
          オートスキップ ON
    
```

多画面・スポットライブシーケンス設定メニューの設定操作

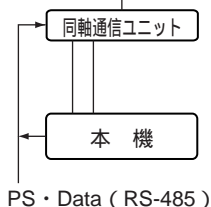
シーケンス表示の順番、切換間隔を設定します。

“多画面ライブシーケンス設定メニュー”と“スポットライブシーケンス設定メニュー”の設定操作をあわせて説明します。

1 パナソニックセキュリティデータシステムの略称。PS・Dataに対応した機器間は、RS-485通信により制御が可能になります。

2 コンビネーションカメラで設定するプリセットポジション（カメラの向き）の番号です。PS・Data使用時、プリセット番号が設定されているステップは、カメラの向きをそのプリセットポジションに移動して表示します。

コンビネーションカメラ



1



どちらかを押す

カーソルを設定するステップの“カメラ (CAM)”設定部に合わせます。

- ここでは、ステップ“1”のカメラ設定部に合わせてみます。

ステップ	CAM	プリセット	間隔
1	4A	--	2S

2



どちらかを押す

1番目のステップで表示するカメラ映像を設定します。

- 多画面ライブシーケンス設定メニューの場合（4画面と1画面の混在表示ができます。）
 1～16：カメラボタン1～16のカメラ映像（1画面）
 4A～4D：4A～4D画面の映像（4画面）
 --：なし（このステップをスキップします）
- スポットライブシーケンス設定メニューの場合
 1～16：カメラボタン1～16のカメラ映像（1画面）
 --：なし（このステップをスキップします）

3



押す

カーソルを“プリセット”の設定項目に合わせます。（PS・Data¹使用時）

- 手順2で“1～16”に設定したときのみ、プリセットの設定が可能です。

ステップ	CAM	プリセット	間隔
1	4A	--	2S

4



どちらかを押す

プリセット番号²を設定します。（PS・Data¹使用時）

- 1～64：プリセット番号1～64のプリセットポジションにカメラの向きを合わせる
- ：プリセットなし

5

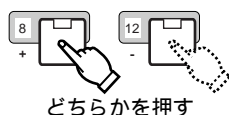


押す

カーソルを“間隔”の設定項目に合わせます。

ステップ	CAM	プリセット	間隔
1	4A	--	2S

6



どちらかを押す

シーケンス表示の映像切換間隔を設定します。

- 0S～30S：0秒～30秒

7



どちらかを押す

カーソルを次のステップのカメラ設定部に合わせます。

- 手順2～7の操作をくり返し、すべてのステップを設定してください。

1	4A	--	2S
2	4B	--	2S
3	4A	--	2S

8



スイッチャー設定メニューに戻ります。

- 多画面ライブシーケンス設定メニューおよびスポットライブシーケンス設定メニューの設定が完了します。

多画面・スポットライブシーケンス設定メニュー（初期設定値）

● 多画面ライブシーケンス設定メニュー

5-1-1 多画面 ライブ シーケンス設定									
ステップ	CAM	ブ	リセット	間隔	ステップ	CAM	ブ	リセット	間隔
1	4A	--	25	9	--	--	--	05	
2	4B	--	25	10	--	--	--	05	
3	4C	--	25	11	--	--	--	05	
4	4D	--	25	12	--	--	--	05	
5	--	--	05	13	--	--	--	05	
6	--	--	05	14	--	--	--	05	
7	--	--	05	15	--	--	--	05	
8	--	--	05	16	--	--	--	05	

● スポットライブシーケンス設定メニュー

5-1-3 スポット ライブ シーケンス設定									
ステップ	CAM	ブ	リセット	間隔	ステップ	CAM	ブ	リセット	間隔
1	1	--	25	9	9	--	--	25	
2	2	--	25	10	10	--	--	25	
3	3	--	25	11	11	--	--	25	
4	4	--	25	12	12	--	--	25	
5	5	--	25	13	13	--	--	25	
6	6	--	25	14	14	--	--	25	
7	7	--	25	15	15	--	--	25	
8	8	--	25	16	16	--	--	25	

4画面送り設定メニューの設定操作

多画面モニターへ表示する4分割画面にカメラを割り当てます。

1



どちらかを押す

カーソルをカメラ（CAM）番号に合わせます。

エリア	CAM
4A-1	1
4A-2	2

2



どちらかを押す

4分割画面にカメラを割り当てます。

1～16：カメラボタンの1～16に割り当てられたカメラ

エリア	CAM
4A-1	1
4A-2	2

3

手順1, 2の操作をくり返し、すべてのチャンネル番号を設定します。

- エリアの“4A”“4B”“4C”“4D”とは、4分割画面の名称です。エリアの数字は、4分割画面の位置を表しています。例えば、“4B-2”であれば、4B画面の右上を指します。

4



スイッチャー設定メニューに戻ります。

- 設定した4分割画面は、多画面スポット表示（50ページ）と4画面シーケンス表示（54ページ）で使用することができます。

4画面送り設定メニュー（初期設定値）

5-1-2 多画面モニター 4画面送り設定			
エリア	CAM	エリア	CAM
4A-1	1	4C-1	9
4A-2	2	4C-2	10
4A-3	3	4C-3	11
4A-4	4	4C-4	12
4B-1	5	4D-1	13
4B-2	6	4D-2	14
4B-3	7	4D-3	15
4B-4	8	4D-4	16


4A画面	4A-1	4A-2
	4A-3	4A-4
4B画面	4B-1	4B-2
	4B-3	4B-4
4C画面	4C-1	4C-2
	4C-3	4C-4
4D画面	4D-1	4D-2
	4D-3	4D-4

カメラライブ表示設定メニューの設定操作

表示するカメラ映像（ライブ画）を設定します。

OFF設定時はカメラ映像が表示されませんが、ネットワークへのライブ画伝送は本設定に関わらず行われます。

- 1




どちらかを押す

カーソルを設定したいカメラ（CAM2～16）の“表示”設定部に合わせます。

 - カメラ1（CAM1）はONに固定されています。

- 2




どちらかを押す

表示するカメラを設定します。（初期設定：ON）

ON：カメラ映像を表示する
OFF：カメラ映像を表示しない

- 3



押す

スイッチャー設定メニューに戻ります。

 - 設定が完了します。

CAM	表示
1	ON
2	ON

カメラライブ表示設定メニュー（初期設定値）

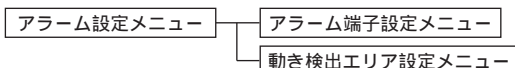
5-2 カメラ ライブ 表示設定

CAM	表示	CAM	表示
1	ON	9	ON
2	ON	10	ON
3	ON	11	ON
4	ON	12	ON
5	ON	13	ON
6	ON	14	ON
7	ON	15	ON
8	ON	16	ON

アラーム機能の設定

アラーム発生時の動作を設定します。また、別売のモーションディテクターボード装着時は、動き検出アラームの設定も行います。
動き検出アラームの設定操作については、70ページをご覧ください。

《アラーム機能のメニュー画面構成》



アラーム設定メニューの設定操作

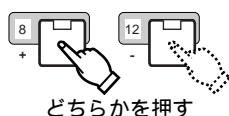
設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。

アラーム発生時、アラーム発生前の状態に自動的に復帰する時間の設定です。



アラーム端子設定メニューを表示します。(120ページ)

アラーム端子設定 ▼



オートリセット を設定します。
(初期設定 : OFF)

OFF : 自動復帰しない
1S ~ 30S : 1 ~ 30秒後に自動復帰する
40S : 40秒後に自動復帰する
50S : 50秒後に自動復帰する
1M ~ 5M : 1 ~ 5分後に自動復帰する

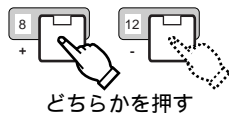
オート リセット OFF



アラーム出力端子から信号を出力する時間を設定します。(初期設定 : 2S)

OFF : 信号を出力しない
1S ~ 30S : 1 ~ 30秒間信号を出力する
40S : 40秒間信号を出力する
50S : 50秒間信号を出力する
1M ~ 5M : 1 ~ 5分間信号を出力する
EXT : アラーム復帰ボタンが押されるまで、信号を出力する

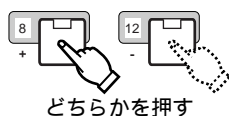
アラーム アウトプット 2S



アラームブザーを設定します。
(初期設定 : 2S)

OFF : ブザーを鳴らさない
1S ~ 30S : 1 ~ 30秒間ブザーを鳴らす
40S : 40秒間ブザーを鳴らす
50S : 50秒間ブザーを鳴らす
1M ~ 5M : 1 ~ 5分間ブザーを鳴らす
EXT : アラーム状態から復帰するまで、ブザーを鳴らす

アラーム ブザー 2S



映像ロスアラーム機能を設定します。
(初期設定 : ON)

ON : 映像ロスアラーム機能を使用する (68ページ)
OFF : 使用しない

ビデオロス ON

アラーム機能の設定



多画面モニターのアラーム連動動作を設定します。(初期設定：SPOT)

SPOT : アラーム設定に連動した動作をする (67ページ)
 OFF : アラームと連動しない

アラーム連動モニタ動作	多画面モニタ	SPOT
	スポットモニタ	SPOT



スポットモニターのアラーム連動動作を設定します。(初期設定：SPOT)

SPOT : アラーム設定に連動した動作をする (67ページ)
 OFF : アラームと連動しない

アラーム連動モニタ動作	多画面モニタ	SPOT
	スポットモニタ	SPOT



セットアップメニューに戻ります。

- アラーム機能の設定が完了します。

アラーム設定メニュー (初期設定値)

6 アラーム設定		
端子設定	▼	
オート リセット		OFF
アラーム アウトプット		2S
アラーム プリザイア		2S
ビデオ ロス		ON
動き検出		OFF
動き検出エリア設定	▼	
アラーム連動モニタ動作	多画面モニタ	SPOT
	スポットモニタ	SPOT

アラーム機能の設定

アラーム端子設定メニューの設定操作（端子アラーム、動き検出アラーム）

アラーム端子にある“アラーム入力1～16”へのカメラ割当て、およびアラーム信号が入力されたときの動作を設定します。

- 1**  **どちらかを押す**

カーソルを設定したいアラームCHの“CAM”設定部に合わせます。

 - アラーム1～16CHとは、アラーム端子にある“アラーム入力1～16”のことです。

アラーム CAM		
1CH		1
- 2**  **どちらかを押す**

カメラをアラームCHに割り当てます。（初期設定：1～16）

1～16：映像入力端子1～16に割り当てられたカメラ

アラーム CAM		
1CH		1
- 3**  **どちらかを押す**

カーソルを“インプット”の設定項目に合わせます。

インプット		
		N.O
- 4**  **どちらかを押す**

“アラーム入力1～16”への信号入力方法を設定します。（初期設定：N.O）

N.O：ショート時に信号が入力されます（Normally Open）

N.C：オープン時に信号が入力されます（Normally Close）
- 5**

手順1～4の操作をくり返し、すべてのアラームCHを設定します。
- 6**  **押す**

アラーム設定メニューに戻ります。

 - アラーム端子設定メニューの設定が完了します。

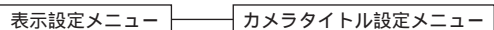
アラーム端子設定メニュー（初期設定値）

6-1 端子設定					
端子	CAM	インプット	端子	CAM	インプット
1CH	1	N.O	9CH	9	N.O
2CH	2	N.O	10CH	10	N.O
3CH	3	N.O	11CH	11	N.O
4CH	4	N.O	12CH	12	N.O
5CH	5	N.O	13CH	13	N.O
6CH	6	N.O	14CH	14	N.O
7CH	7	N.O	15CH	15	N.O
8CH	8	N.O	16CH	16	N.O

表示機能の設定

カメラタイトルなどの画面への表示設定や、表示位置を設定します。
設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。

《表示機能のメニュー画面構成》

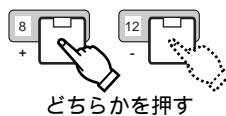
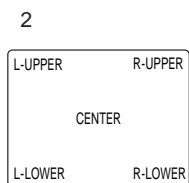
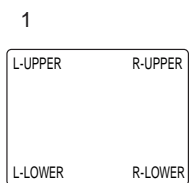


表示設定メニューの設定操作

<p>セット 押す</p>	<p>カメラタイトル設定メニューを表示します。(123ページ)</p>	<p>カメラ タイトル設定 ↓</p>
<p>どちらかを押す</p>	<p>多画面モニターへの時刻表示を設定します。(初期設定：ON)</p> <p>ON : 表示する OFF : 表示しない</p>	<p>時刻表示 ON</p>
<p>どちらかを押す</p>	<p>多画面モニターへのグループタイトル、カメラタイトル表示を設定します。(初期設定：ON)</p> <p>ON : 表示する OFF : 表示しない</p>	<p>タイトル表示 ON</p>
<p>どちらかを押す</p>	<p>多画面モニターへのステータス(動作状態など)表示を設定します。(初期設定：ON)</p> <p>ON : 表示する OFF : 表示しない</p>	<p>ステータス表示 ON</p>
<p>どちらかを押す</p>	<p>多画面表示時の分割線を設定します。(初期設定：WHITE)</p> <p>WHITE : 白の分割線を表示 GRAY : 灰色の分割線を表示 BLACK : 黒の分割線を表示 OFF : 分割線を表示しない</p>	<p>分割線表示 WHITE</p>
<p>どちらかを押す</p>	<p>スポットモニターへのグループタイトル、カメラタイトル表示を設定します。(初期設定：ON)</p> <p>ON : 表示する OFF : 表示しない</p>	<p>タイトル表示 ON</p>
<p>どちらかを押す</p>	<p>アラーム発生時の画面表示を設定します。(初期設定：ON)</p> <p>ON : カメラタイトル表示位置に “ALARM” “VMD” “CH * *LOSS” と表示する OFF : 表示しない</p>	<p>アラーム表示 ON</p>

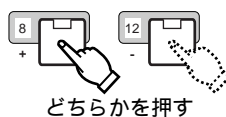
- ・ALARMは端子アラーム発生時
- ・VMDは動き検出アラーム発生時
- ・CH * *LOSSは映像ロスアラーム発生時

表示機能の設定



時刻、各種状態表示の表示位置¹
 (L-UPPER, L-LOWER, R-UPPER, R-LOWER) を設定します。
 (初期設定: L-UPPER)

時刻/ステータス表示イチ L-UPPER



グループタイトル、カメラタイトルの
 表示位置² (L-UPPER, L-LOWER, R-UPPER, R-LOWER, CENTER) を設
 定します。(初期設定: R-LOWER)

タイトル表示イチ R-LOWER




スイッチャー設定メニューに戻ります。
 ●表示機能の設定が完了します。

表示設定メニュー (初期設定値)

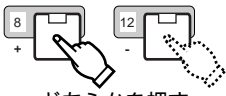
7 表示設定	
カメラ タイトル設定	▼
多画面モニタ	
特別表示	ON
タイトル表示	ON
ステータス表示	ON
分割線表示	WHITE
スポットモニタ	
タイトル表示	ON
アラーム表示	ON
時刻/ステータス表示イチ	L-UPPER
タイトル表示イチ	R-LOWER

カメラタイトル設定メニューの設定操作

カメラタイトルを設定します。


1  カーソルを“タイトル”の設定部に合わせます。
どちらかを押す

CAM	タイトル
1	1.....

2  カメラタイトルの1文字目を入力します。
どちらかを押す


- 英数字、カタカナ、記号、スペース(・)の順番で表示が切り換わります。
- [英数字]
0~9, A~Z, a~z
- [カタカナ]
ア~ン, ゝ, ゞ, ア~オ, ツ,
ヤ, ュ, ヨ
- [記号]
= ? ' " # \$ % & ()
* + , - . / ; ;

CAM	タイトル
1	カ.....

3  カーソルを2文字目に移動します。
押す

- 手順2, 3の操作をくり返し、カメラタイトルを入力します。
- カメラタイトルは、最大8文字までです。
- 入力を間違えたときは、◀, ▶カーソルボタンで間違えた文字にカーソルを合わせ、+,-ボタンで再入力します。

CAM	タイトル
1	カメラ1....

4  表示設定メニューに戻ります。
押す

- カメラタイトルの設定が完了します。

カメラタイトル設定メニュー（初期設定値）

7-1 カメラ タイトル設定

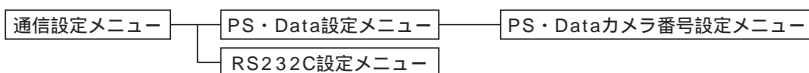
CAM	タイトル	CAM	タイトル
1	1.....	9	9.....
2	2.....	10	10.....
3	3.....	11	11.....
4	4.....	12	12.....
5	5.....	13	13.....
6	6.....	14	14.....
7	7.....	15	15.....
8	8.....	16	16.....

通信機能の設定

パナソニック
セキュリティ
データシステム
の略称。
PS・Dataに
対応した機器間
は、RS-485通
信により制御が
可能になりま
す。

PS・Dataを使用する場合や、シリアル端子（RS-232C）およびネットワークインターフェイスボード（別売品）を使用する場合の通信設定を行います。
IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。

《通信機能のメニュー画面構成》

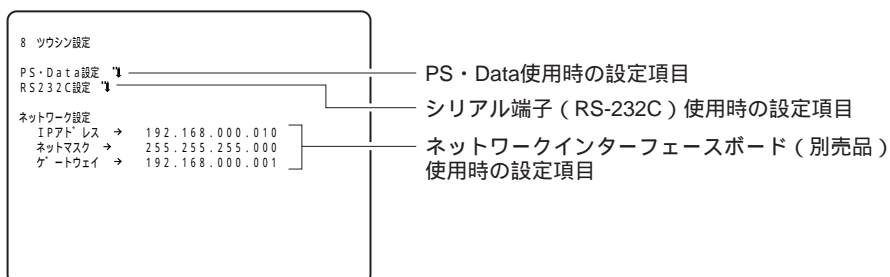


通信設定メニューの設定操作

設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。




	PS・Data設定メニューを表示します。 (👉 126ページ)	PS・Data設定 ↓
	RS232C設定メニューを表示します。 (👉 128ページ)	RS232C設定 ↓
	IPアドレスを設定する状態にします。 (👉 次ページ)	IPアドレ ス ネットマスク ゲートウェイ
	サブネットマスクを設定する状態に します。(👉 次ページ)	IPアドレ ス ネットマスク ゲートウェイ
	ゲートウェイアドレスを設定する状態 にします。(👉 次ページ)	IPアドレ ス ネットマスク ゲートウェイ
	セットアップメニューに戻ります。 ●通信機能の設定が完了します。	

通信設定メニュー（初期設定値）



IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定

ネットワークインターフェースボード（別売品）使用時の設定です。

1		<p>1桁目の数値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 押すたびに表示が切り換わります。 	<p>0 0 0 . 0 0 0 . 0 0 0 . 0 0 0</p>
2		<p>カーソルを2桁目に合わせます。</p>	<p>1 0 0 . 0 0 0 . 0 0 0 . 0 0 0</p>
3	<p>手順1, 2の操作をくり返し、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定します。</p>		
4		<p>“IPアドレス” “ネットマスク” “ゲートウェイ” にカーソルを戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定が完了します。 	<p>IPアド レス ネットマスク ゲ ートウェイ</p>

通信機能の設定

PS・Data設定メニューの設定操作

ボーレート¹、パリティチェック³、ストップビット⁴、データ再送時間⁵、フロー制御機能の設定は、接続する機器の設定と合わせてください。

設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。

1 1秒間に送るデータ量のことで、例えば9 600 bpsの場合は、1秒間に9 600 ビットのデータを送ります。

2 データを構成するビット数のことです。

3 伝送誤りをチェックするために付加するビットです。

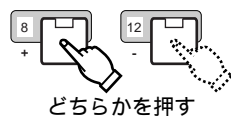
4 データの終わりを表すビットです。1ビットまたは2ビットの選択ができます。

5 送信したデータの受信確認(ACK)が無かったときに、再度データを送るまでの時間です。



本機のユニットアドレス(001~099)を設定します。(初期設定:001)

UNIT ADDRESS 001



ボーレート¹(データ通信速度)を設定します。(初期設定:9600)

BAUD RATE 9600

2400 : 2 400 bps
4800 : 4 800 bps
9600 : 9 600 bps
19200 : 19 200 bps
38400 : 38 400 bps

データビット数²は“8”に固定されます。設定できません。

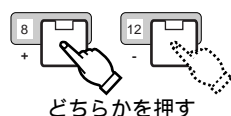
DATA BIT 7



パリティチェック³を設定します。(初期設定:NONE)

PARITY CHECK ODD

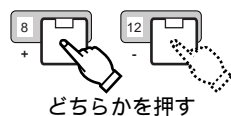
NONE: パリティチェックなし
EVEN: 奇数
ODD: 偶数



ストップビット⁴を設定します。(初期設定:1)

STOP BIT 1

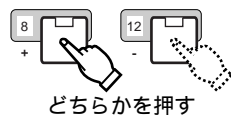
1: 1ビット 2: 2ビット



データの再送時間⁵を設定します。(初期設定:OFF)

WAIT TIME OFF

OFF : データの再送をしない
100 : 100 ms
200 : 200 ms
400 : 400 ms
1000 : 1 000 ms



アラーム発生時のシステムコントローラーへの通知方法を設定します。(初期設定:0S)

ALARM DATA 0S

OFF : システムコントローラーが本機に接続されていない場合に設定します。
0S : アラームを検出するたびに、システムコントローラーに通知します。
1S : アラームを検出すると、アラーム情報を1秒間蓄えた後、システムコントローラーに通知します。
5S : アラームを検出すると、アラーム情報を5秒間蓄えた後、システムコントローラーに通知します。



カメラ番号設定メニューを表示します。
(下記)

カメラ バ ンゴ 設定 ↓



通信設定メニューに戻ります。

● PS・Dataの設定が完了します。

PS・Data設定メニュー（初期設定値）

```

8-1 PS-Data設定
UNIT ADDRESS 001
BAUD RATE 9600
DATA BIT 8
PARITY CHECK NONE
STOP BIT 1
WAIT TIME OFF
ALARM DATA 05
カメラ バ ンゴ 設定 ↓
    
```

PS・Dataカメラ番号設定メニューの設定操作

PS・Dataを使用して制御するカメラのカメラ番号（001～128）を設定します。
PS・Dataカメラ番号設定メニューのCAM-PORT番号1～16は、映像入力端子1～16に対応しています。



カーソルを設定したいカメラ番号設定部に合わせます。

CAM-PORT	CAM NO.
1	001
2	002



カメラ番号を設定します。

001～128：001～128番
- - - ：割当てなし

CAM-PORT	CAM NO.
1	001
2	002

3

手順1, 2の操作をくり返し、すべてのカメラにカメラ番号を設定します。

● 同じカメラ番号を設定すると、先に設定した番号の設定値が“- - -”に変わります。



PS・Data設定メニューに戻ります。

● PS・Dataカメラ番号設定メニューの設定が完了します。

PS・Dataカメラ番号設定メニュー（初期設定値）

```

8-1-1 カメラ バ ンゴ 設定
CAM-PORT CAM NO. CAM-PORT CAM NO.
1 001 9 009
2 002 10 010
3 003 11 011
4 004 12 012
5 005 13 013
6 006 14 014
7 007 15 015
8 008 16 016
    
```

通信機能の設定

RS232C設定メニューの設定操作

ボーレート¹、データビット数²、パリティチェック³、ストップビット⁴、データ再送時間⁵、フロー制御機能の設定は、接続する機器の設定と合わせてください。

設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。

1 1秒間に送るデータ量のことで
す。
例えば9
600bpsの場合
は、1秒間に9
600ビットの
データを送りま
す。

2 データを構成する
ビット数のこと
です。

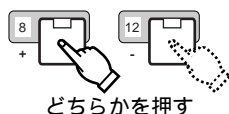
3 伝送誤りをチェ
ックするために
付加するビット
です。

4 データの終わりを
表すビットで
す。
1ビットまたは
2ビットの選択
ができます。



本機のユニットアドレス(001~099)
を設定します。(初期設定:001)

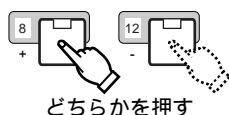
UNIT ADDRESS 001



ボーレート¹(データ通信速度)を設定
します。(初期設定:9600)

2400 : 2 400 bps
4800 : 4 800 bps
9600 : 9 600 bps
19200 : 19 200 bps
38400 : 38 400 bps

BAUD RATE 9600



データビット数²を設定します。
(初期設定:7)

7 : 7ビット
8 : 8ビット

DATA BIT 7



パリティチェック³を設定します。(初
期設定:ODD)

NONE : パリティチェックなし
EVEN : 奇数
ODD : 偶数

PARITY CHECK ODD



ストップビット⁴を設定します。
(初期設定:1)

1 : 1ビット
2 : 2ビット

STOP BIT 1

つづく

送信したデータの受信確認 (ACK) が無かったときに、再度データを送るまでの時間です。



データの再送時間を設定します。
(初期設定: OFF)

- OFF : データの再送をしない
- 100 : 100 ms
- 200 : 200 ms
- 1000 : 1 000 ms

WAIT TIME OFF



アラームデータを設定します。
(初期設定: OFF)

- ON : アラーム発生時、ALM、ALD
コマンドを自動的に送出する
- OFF : アラーム発生時、ALM、ALD
コマンドを自動送出しない

ALARM DATA OFF



通信設定メニューに戻ります。

- RS232C設定メニューの設定が完了します。

RS232C設定メニュー (初期設定値)

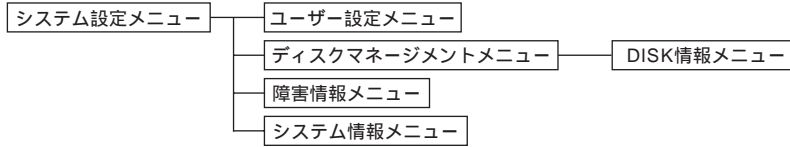
```

8-2 RS232C設定
UNIT ADDRESS 001
BAUD RATE 9600
DATA BIT 7
PARITY CHECK ODD
STOP BIT 1
WAIT TIME OFF
ALARM DATA OFF
    
```

システム設定

日付・時刻の設定、パスワード設定、ブザー機能の設定、ハードディスクの残容量警告設定、ユーザー設定の保存・復旧や、障害情報・システム情報を表示します。

《システム設定のメニュー画面構成》



システム設定メニューの設定操作

設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。



日付・時刻を設定する状態にします。

- 設定操作は22ページで説明していますので、そちらをご覧ください。

時刻 00. 1. 1 00:00



自動時刻合わせ機能を設定します。
(初期設定：OFF)

MASTER : 本機の時刻に他の機器の時刻を合わせる¹

SLAVE : 外部スイッチなどにより、本機の時刻を設定した時刻に合わせる²

OFF : 自動時刻合わせ機能を使用しない

自動時刻合せ OFF



自動時刻合わせを実行する時刻を設定する状態にします。(132ページ)

設定時刻 0 : 00

ALL、OPERATIONパスワードと自動キーロックのON/OFFを設定します。

- 操作者認証機能の設定(60ページ)で詳しく説明していますので、そちらをご覧ください。

自動キーロック OFF
パスワード ALL *****
OPERATION *****



操作ブザーのON/OFFを設定します。
(初期設定：ON)

ON : ボタン操作時、ブザーを鳴らす(64ページ)

OFF : ブザーを鳴らさない

操作ブザー ON



ユーザー設定のセーブ/ロードを選択します。(初期設定：ロード)

セーブ : 現在の設定内容をユーザー設定として保存する

ロード : 設定内容を保存されたユーザー設定に戻す

ユーザー設定 ロード ↓



ユーザー設定メニューを表示します。
(133ページ)

ユーザー設定 ロード ↓

1“ MASTER ”を選択すると、本機の時計が設定した時刻になったときに、制御入力/出力端子にある“時刻合わせ出力”から信号が出力されます。(142ページ)

2“ SLAVE ”を選択した場合、制御入力/出力端子にある“時刻合わせ入力”とアースを短絡することで、設定した時刻に本機の時刻が合わせられます。(142ページ)



ディスク管理メニューを表示します。(134ページ)

ディスク管理 ↓



障害情報メニューを表示します。

- 最新の障害情報100件が表示されます。表示される内容については、下記をご覧ください。
- +ボタンと-ボタンを約2秒間同時に押すと、障害情報を消去することができます。

障害情報 ↓



システム情報メニューを表示します。

- 表示される内容については、下記をご覧ください。

システム情報 ↓



セットアップメニューに戻ります。

- システム設定メニューの設定が完了します。

メモ

●システム設定メニュー（初期設定値）

9 システム設定	
時刻	00-1-1 0:00
自動時刻合せ	OFF
設定時刻	0:00
自動キーロック	OFF
パスワード	ALL OPERATION *****
操作プザー	ON
ユーザー設定	*ロード ↓
ディスク管理 ↓	
障害情報 ↓	
システム情報 ↓	

●障害情報メニューの表示内容

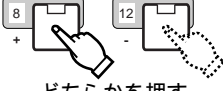
障害発生日	9-4 障害情報	障害発生時間	障害内容
管理番号（最大100件） 古い情報から消去されていきます。	NO DATE TIME CAUSE		
	100 99-9-12 23:59:59 THERMAL 6		POWER LOSS : 停電検出
	099 99-9-12 22:15:40 POWER RECOVER		POWER RECOVER : 停電復旧
	098 99-9-12 21:00:07 POWER LOSS		THERMAL x : 温度異常 (xはユニット番号)
	097 99-9-12 17:33:05 ALTERED		ERROR x-x : ドライブ異常 (x-xはSCSI ID)
	096 99-9-12 07:23:11 ALTERED		WARNING x-x : HDD SMART警告 (x-xはSCSI ID)
	095 99-9-12 06:59:44 WARNING 1-5		ALTERED : 改ざん検出
	094 99-9-12 03:15:28 HDD EMPTY		HDD EMPTY : HDD残容量警告
	093 99-9-12 00:01:28 WARNING 1-5		DVD EMPTY : DVD-RAM残容量警告
	092 99-9-12 03:15:28 HDD EMPTY		
	091 99-9-12 00:01:28 POWER LOSS		
	カーソル位置:		(TOTAL 100)


●システム情報メニューの表示内容

9-5 システム情報		
ハードウェアバージョン	MAIN 1.00	本機のハードウェアバージョン
	VMD 1.00	モーションディテクターボード（別売品）のハードウェアバージョン
ソフトウェアバージョン	MAIN 1.00	本機のソフトウェアバージョン
	N/W 1.00	ネットワークインターフェースボード（別売品）のソフトウェアバージョン

自動時刻合わせ機能の時刻設定（システム設定メニュー）

自動時刻合わせ機能を実行する時刻を設定します。

1  “時”を設定します。
(初期設定：0)
0～23：0～23時
どちらかを押す

2  カーソルを“設定時刻”に戻します。

- 時刻の設定が完了します。
- 自動時刻合わせが“MASTER”の場合、本機の時計が設定した時刻になったとき、制御入力/出力端子の“時刻合わせ出力”から信号を出力して他の機器の時刻を本機の時刻と合わせます。
- 自動時刻合わせが“SLAVE”の場合、外部スイッチなどで制御入力/出力端子の“時刻合わせ入力”とアースを短絡すると、設定した時刻に本機の時刻が合わされます。

12:00


システム設定メニュー（初期設定値）

9 システム設定	
時刻	00-1-1 0:00
自動時刻合せ	OFF
設定時刻	0:00
自動キーロック	OFF
パスワード	*****
パスワード	*****
操作パスワード	ON
ユーザー設定	*ロード ↓
ディスクマネージメント ↓	
障害情報 ↓	
システム情報 ↓	

ユーザー設定のセーブ（保存）とロード（復旧）

機能設定の内容を保存したり、保存した内容に機能設定内容を戻したりします。

1




カーソルを“YES ↓”に合わせます。

- セーブまたはロードをやめるときは、“NO ↓”に合わせてください。

YES NO

2



セーブまたはロードを実行します。

- セーブが終わると、“セーブ カンリョウ!”と表示され、システム設定メニューに戻ります。
- ロードが終わると、“ロード カンリョウ!”と表示されます。

ユーザー設定メニュー

●ユーザー設定メニュー（セーブ）

9-2 ユーザー設定 セーブ
 ユーザー設定 セーブ
 YES NO

●ユーザー設定メニュー（ロード）

9-1 ユーザー設定 ロード
 ユーザー設定 ロード
 YES NO

[セット]: ジョックウ

ディスクマネージメントメニューの設定操作

設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。



DISK情報メニューを表示します。

- 表示される内容については、下記をご覧ください。

DISK情報 ↓



どちらかを押す

ハードディスクの残容量警告表示を設定します。(初期設定：1%)

- OFF : 残容量警告しない
- 1～10% : ハードディスクの残容量1～10%で警告表示する

HDDザンリョウケイコク 1%



消去設定メニューします。

- 録画データ消去機能の設定を行います。詳細は、85ページで説明していますので、そちらをご覧ください。

消去 ↓

設定 / ESC

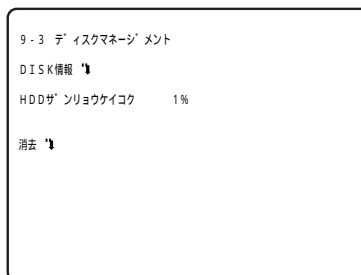


システム設定メニューに戻ります。

- ディスクマネージメントメニューの設定が完了します。

画面への警告表示 (69ページ) と制御入力/出力端子からの信号出力を行います。また、レコーダーの残容量警告表示では、FULL表示灯も点灯します。

ディスクマネージメントメニュー (初期設定値)



DISK情報メニューの表示内容

録画中に故障したハードディスクは、動作時間の表示部に“ERR”と表示され、録画対象から自動的に外されます。

9-3-1 DISK情報	HDD TOTAL: 520GB				ハードディスクの総容量
	動作時間	動作時間	動作時間	動作時間	
本機ハードディスクの動作時間	ホンタイ 1:30000	2:30000			
増設ユニットハードディスクの動作時間	EXT5 1:30000	2:30000	3:30000	4:30000	
	EXT4 1:*	2:*	3:*	4:*	
	EXT3 1:-	2:-	3:-	4:-	
	EXT2 1:-	2:-	3:-	4:-	
	EXT1 1:-	2:-	3:-	4:-	
	EXT0 1:-	2:-	3:-	4:-	
DVD増設ユニットの接続状況	EXT DVD:OK	CD:-			
	FORMAT:HD500	30GB			
	DATE :00-07-24 12:25		00-08-24 16:25		上記から選択したディスクの総容量、残容量、録画データの開始日・終了日、ディスクの状態を表示
	STATUS:OK				

OK : 接続している
- : 接続していない

DVD設定

別売のDVD増設ユニットまたはPanasonic製DVD-RAMドライブを使用する場合の設定です。

《DVD設定のメニュー画面構成》



DVD設定メニューの設定操作

設定項目にカーソルを合わせた状態からの操作説明です。



DVDフォーマットメニューを表示します。

DVDフォーマット ↓

- DVD-RAMディスクのフォーマット（[20ページ](#)）で詳しく説明していますので、そちらをご覧ください。

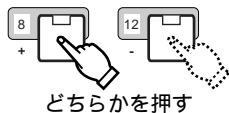


マニュアル、内部・外部タイマー録画時の自動コピー（バックアップ）機能を設定します。また、セットボタンを押すと、自動コピー（アラーム）メニューを表示します。（初期設定：OFF）

*自動コピー（イベント） OFF ↓
自動コピー（キンキュウ） OFF

- ON : 録画と同時にDVD-RAMディスクへコピーを行う
- OFF : コピーを行わない

- [77～80ページ](#)で詳しく説明していますので、そちらをご覧ください。



緊急録画時の自動コピー（バックアップ）機能を設定します。（初期設定：OFF）

*自動コピー（イベント） OFF ↓
自動コピー（キンキュウ） OFF

- ON : 録画と同時にDVD-RAMディスクへコピーを行う
- OFF : コピーを行わない

- [81ページ](#)で詳しく説明していますので、そちらをご覧ください。



DVD-RAMディスクの残容量がなくなったときの動作を設定します。（初期設定：STOP）

DVDシュウタン動作 STOP
DVDザンリョウケイコク 1%

- STOP : 録画を停止する
- CONTINUE: 古い録画データに上書きして録画を続ける



DVD-RAMディスクの残容量警告表示を設定します。（初期設定：1%）

DVDシュウタン動作 STOP
DVDザンリョウケイコク 1%

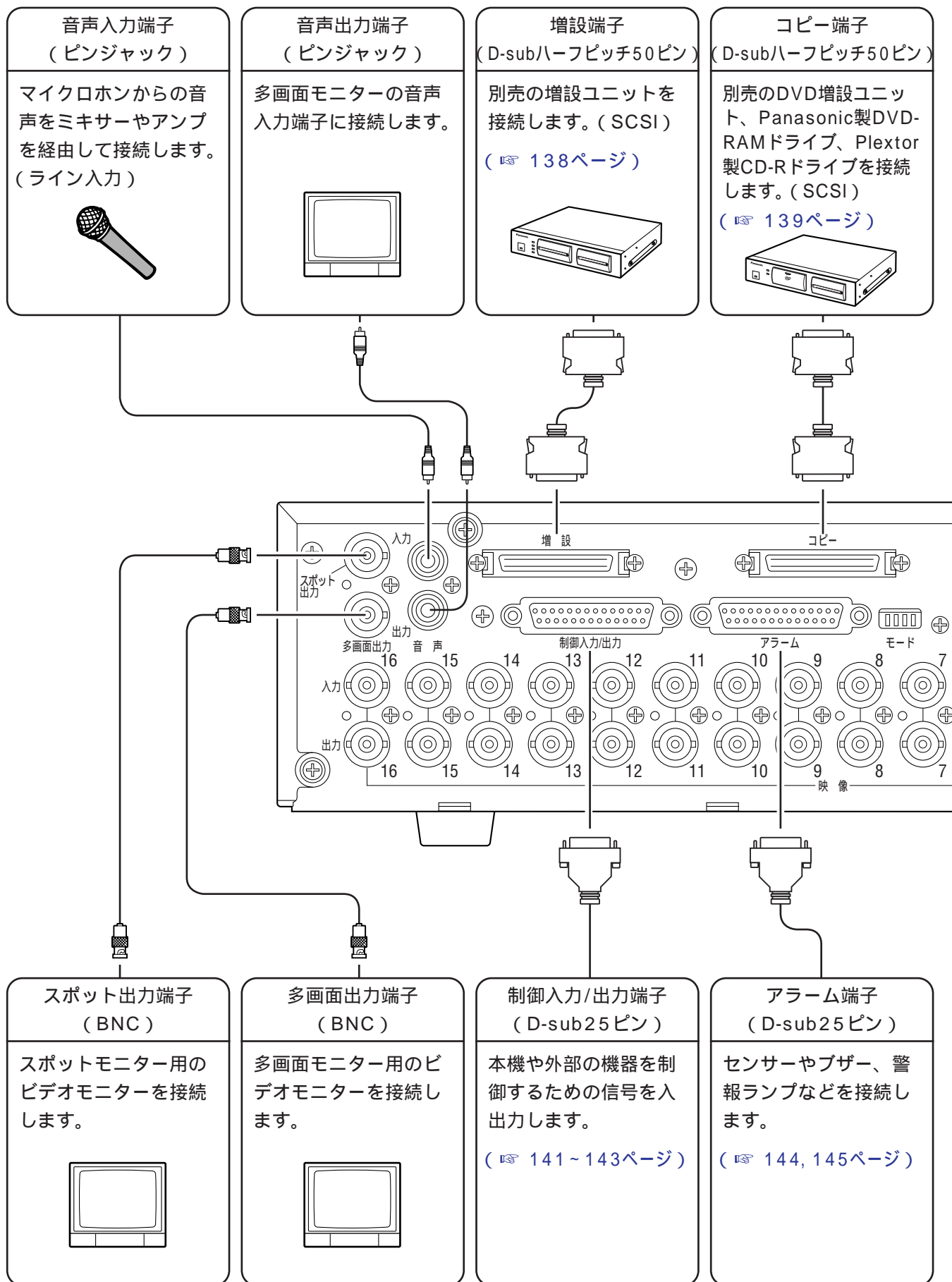
- OFF : 残容量警告しない
- 1～10% : DVD-RAMディスクの残容量1～10%で警告表示する

DVD設定メニュー（初期設定値）

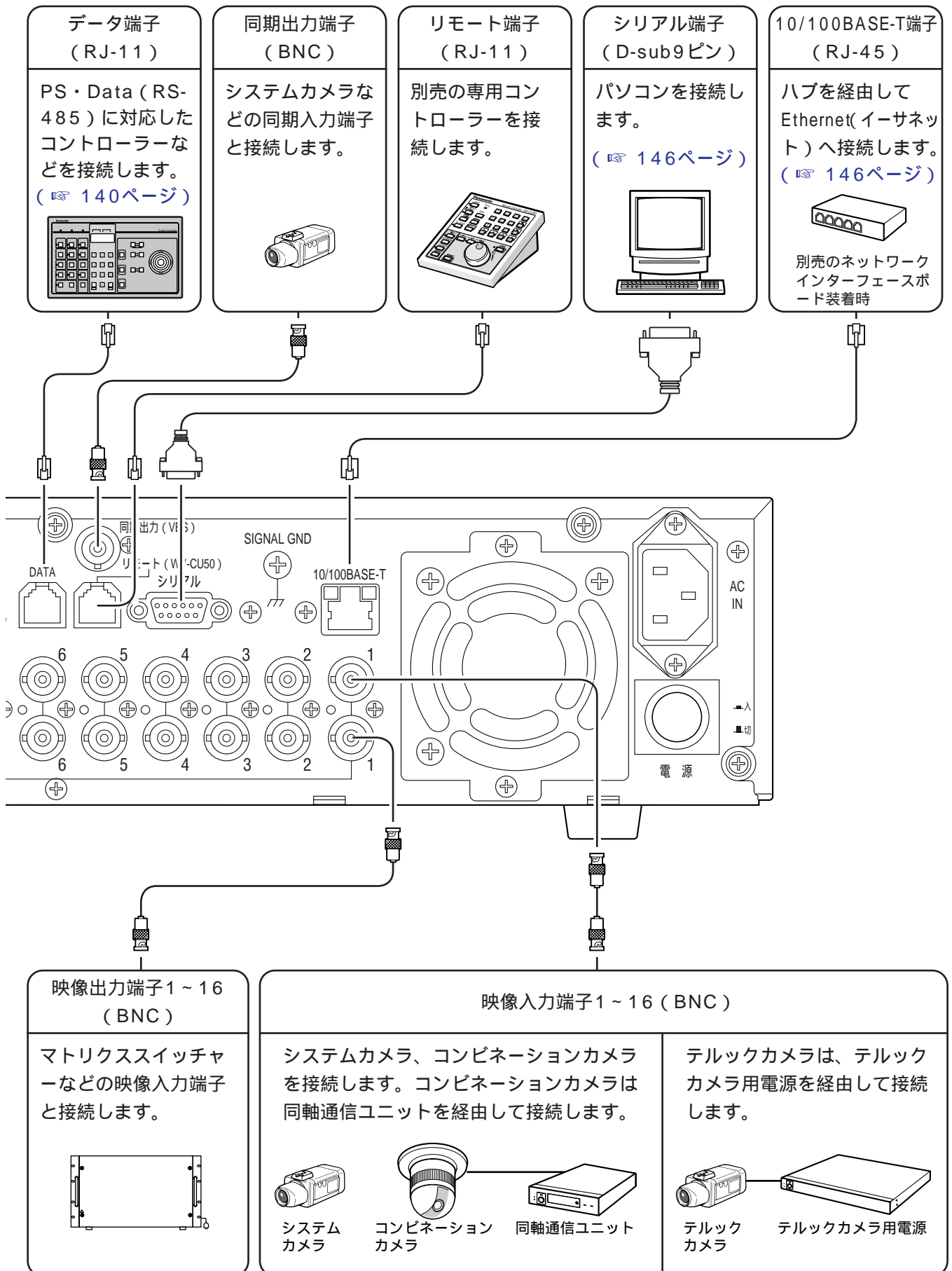
```

10 DVD
DVDフォーマット ↓
*自動コピー（イベント） OFF ↓
自動コピー（キンキュウ） OFF
DVDシュウタン動作 STOP
DVDザンリョウケイコク 1%
    
```

接続のしかた



設置

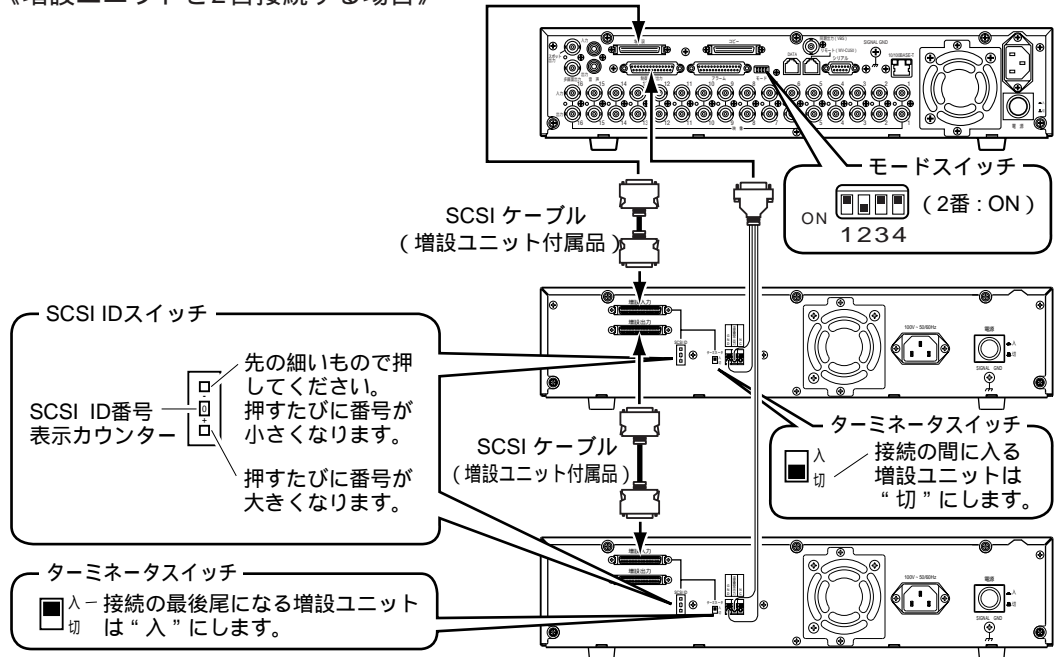


増設ユニットの接続方法

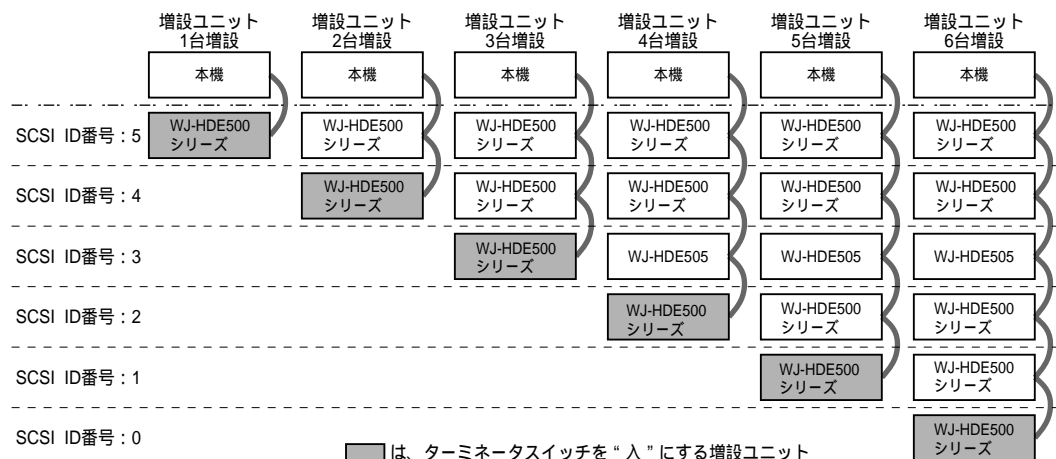
本機1台に対して、増設ユニットを最大6台まで接続することができます。
接続の際は、次の内容をお守りください。

- ① 本機のモードスイッチ2番を“ON”に設定する。
- ② 増設ユニットのSCSI ID番号(0~5)を設定する。
SCSI ID番号“6”“7”は本機で使用しています。SCSI ID番号“0~5”を各増設ユニットへ重複しないように設定してください。
- ③ 増設ユニットを4台以上接続する場合は、増設ユニットの3台目に、必ずWJ-HDE505を接続する。
- ④ 接続の最後尾になる増設ユニットは、ターミネータスイッチを“入”に設定する。他の増設ユニットは、ターミネータスイッチを“切”にしてください。
- ⑤ 接続には、増設ユニットに付属されているSCSIケーブルを使用する。
- ⑥ 増設ユニット端子台の“温度異常出力”と、本機制御入力/出力端子の“増設ユニット1~6異常入力”を接続する。(143ページ)

《増設ユニットを2台接続する場合》



増設例 (SCSI ID番号設定例)



DVD増設ユニット、DVD-RAMドライブ、CD-Rドライブの接続方法

別売のDVD増設ユニット、Panasonic製DVD-RAMドライブ、Plextor製CD-Rドライブを使用する場合は、次のように接続してください。

《DVD増設ユニット接続時》

本機とDVD増設ユニットのコピー入力端子をDVD増設ユニット付属のSCSIケーブルで接続します。接続の際は、フェライトコアが付いている方のコネクタを本機に接続してください。(下図参照)

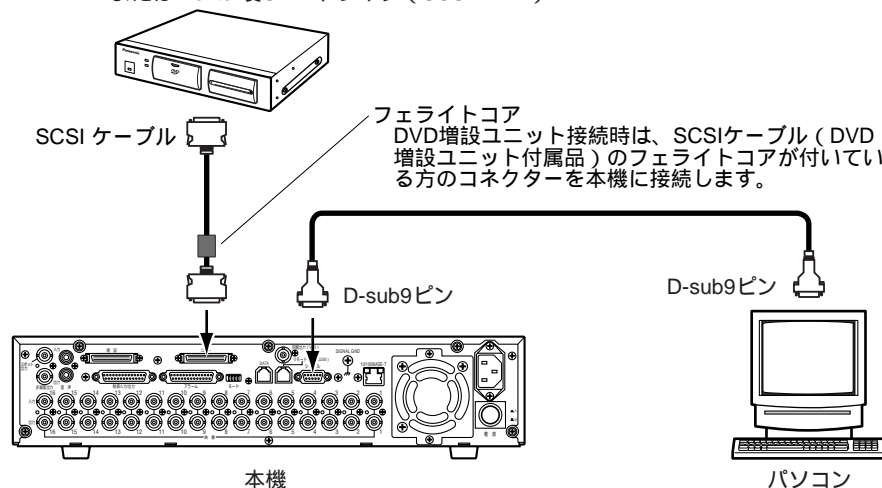
《Panasonic製DVD-RAMドライブ接続時》

本機とPanasonic製DVD-RAMドライブのSCSIコネクタを市販のSCSIケーブルで接続します。DVD-RAMドライブのSCSI IDは“4”に設定してください。

《Plextor製CD-Rドライブ接続時》

本機とPlextor製CD-RドライブのSCSIコネクタを市販のSCSIケーブルで接続します。CD-RドライブのSCSI IDは“2”に設定してください。

DVD増設ユニット、Panasonic製DVD-RAMドライブ (SCSI ID : 4)
またはPlextor製CD-Rドライブ (SCSI ID : 2)



メモ

- 本機とDVD増設ユニット、Panasonic製DVD-RAMドライブ、Plextor製CD-Rドライブ、パソコンをデジチェーン接続しないでください。正しく動作しません
- 各機器の接続後は、セットアップメニューの“コピー”設定を次のようにしてください。設定手順については、75ページをご覧ください。
DVD : DVD増設ユニット、Panasonic製DVD-RAMドライブ接続時
CD-R : Plextor製CD-Rドライブ接続時

PS・Data対応機器の接続方法

接続の際は、次の内容をお守りください。

- ① コントローラー¹とレシーバー²が接続の両端になるようにする。
- ② 接続の両端になる機器は、終端設定を“ON”にする。
本機の終端設定は、モードスイッチで行います。
- ③ 接続には、別売のRS485ケーブルを使用する。

メモ

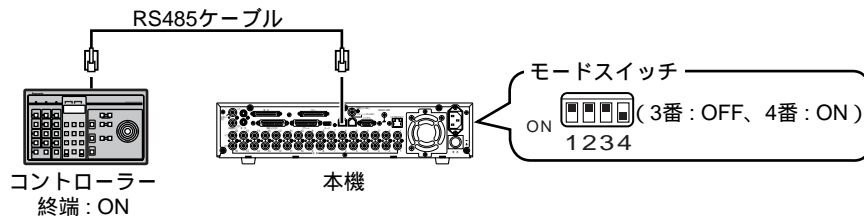
PS・Dataを使用するときは、PS・Data設定メニューを表示して、通信機能の設定を行う必要があります。(124～129ページ)

1システムコントローラーなど、他の機器を制御する機器をいいます。
本機にネットワークインターフェイスボードを装着すると、コントローラーとしても使用できます。

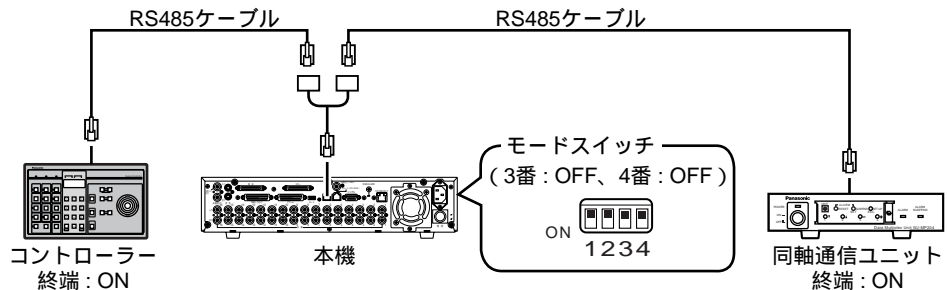
2本機や同軸通信ユニットなど、コントローラーから制御される機器をいいます。

接続例（モードスイッチ設定例）

- 本機が接続の端になる場合

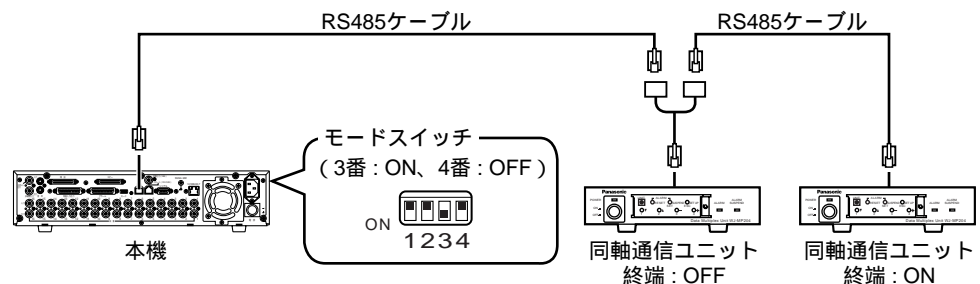


- 本機が接続の間に入る場合



ネットワークインターフェイスボード装着時の接続例（モードスイッチ設定例）

- ネットワークインターフェイスボード（別売品）を装着すると、本機をコントローラーとしても使用することができます。
ここでは、本機をコントローラーとして使用する場合の接続例を説明します。
- 本機以外にコントローラーが接続されている場合（本機をレシーバーとして使用する時）の接続およびモードスイッチ設定は、上記接続例と同じです。

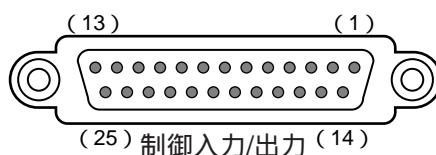


制御入力/出力端子の接続例

この端子は、緊急録画や自動時刻合わせ機能、停電対策を行うときや、ブザーやランプなどの警報装置を外部に設置するとき 사용합니다。

端子のピン配列と接続例は次のとおりです。使用するコネクタは、ピン配列に合わせて製作してください。

ピン配列 (D-sub25ピン)

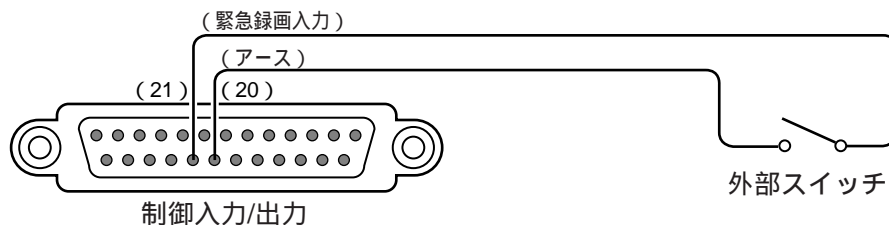


ピン番号	名称	動作内容	備考
1	グループ1～4録画中出力	内部タイマー録画中に信号を出力	1
2	マニュアル録画中出力	手動操作による録画中に信号を出力	1
3	緊急録画中出力	緊急録画中に信号を出力	1
4	シーケンス切換出力	シーケンス切換時に信号を出力	1
5	DVD残容量警告出力	DVD-RAMの残容量警告信号を出力	1
6	HDD残容量警告出力	HDDの残容量警告信号を出力	1
7	増設ユニット1異常入力	増設ユニットからの温度異常出力信号	2
8	増設ユニット2異常入力	を入力し、障害表示を行う	
9	増設ユニット3異常入力		
10	増設ユニット4異常入力		
11	増設ユニット5異常入力		
12	増設ユニット6異常入力		
13	DVD増設ユニット異常入力		
14	装置異常出力	温度異常など、本機の異常を検出したときに信号を出力	1
15, 16	アース		
17	停電検出入力	停電検出時、停電処理を起動	2
18	停電処理中出力	停電処理実行中に信号を出力	
19	停電処理完了出力	停電処理完了時に信号を出力	3
20	アース		
21	緊急録画入力	信号入力により、緊急録画を開始する	2
22	時刻合わせ出力	本機の設定時刻に信号を出力し、他の機器の時刻を本機の時刻に合わせる	
24	時刻合わせ入力	信号入力により、本機の時刻を設定されている時刻に合わせる	
25	アース		

1 : オープンコレクタ出力 24 V、100 mA 2 : 無電圧メーク接点入力
3 : High (+ 12 V)

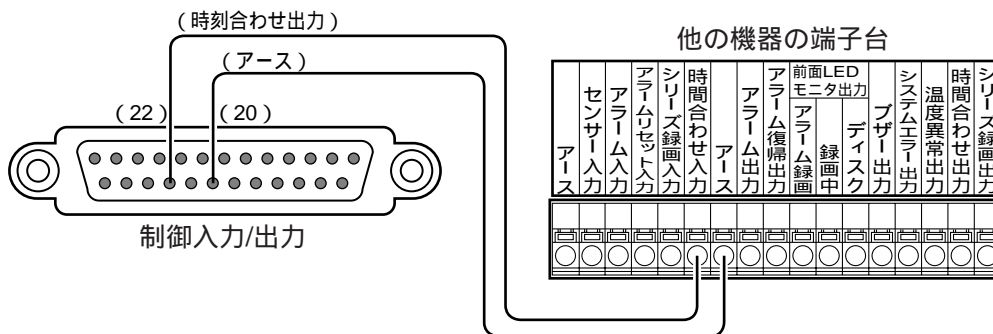
緊急録画の接続

- スイッチを“入”にすると、緊急録画が開始されます。
- 録画設定メニューの“録画時間”設定 (110ページ) により、スイッチを“入”にしたときの動作が異なります。

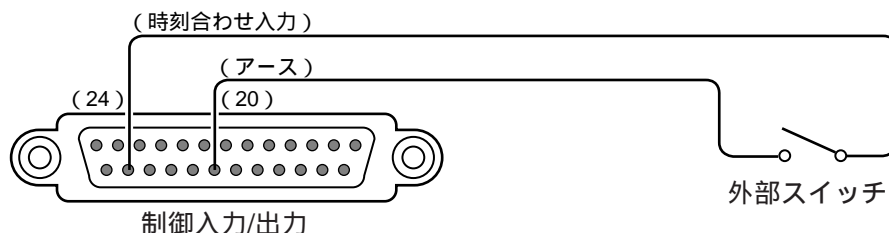


自動時刻合わせ機能の接続

- システム設定メニューの自動時刻合わせが“MASTER”の場合
“時刻合わせ出力”が使用可能になり、他の機器の時刻を本機の設定時刻に合わせることができます。

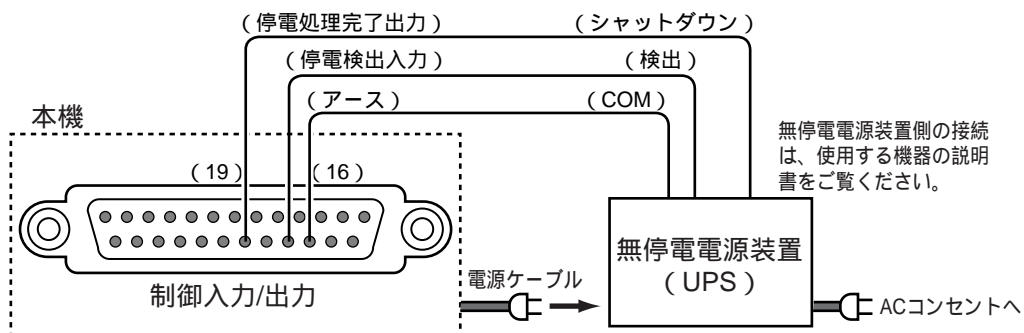


- システム設定メニューの自動時刻合わせが“SLAVE”の場合
“時刻合わせ入力”が使用可能になり、スイッチを“入”にすると、本機の時刻を設定されている時刻に合わせます。(73ページ)



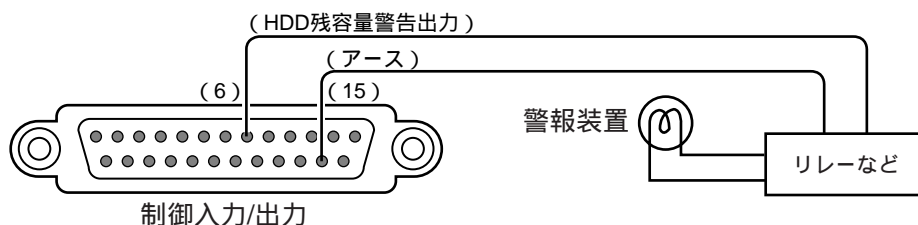
無停電電源装置（UPS）の接続

- 停電対策のために設置する無停電電源装置（UPS）の接続例です。
- 無停電電源装置（UPS）から停電検出入力に信号が入力されると、本機の電源を“切”にするための内部処理が開始されます。
- 内部処理終了時に、本機から無停電電源装置（UPS）に信号を出力します。
- 停電処理完了出力からの信号が無停電電源装置（UPS）に入力されると、本機の電源が“切”になります。



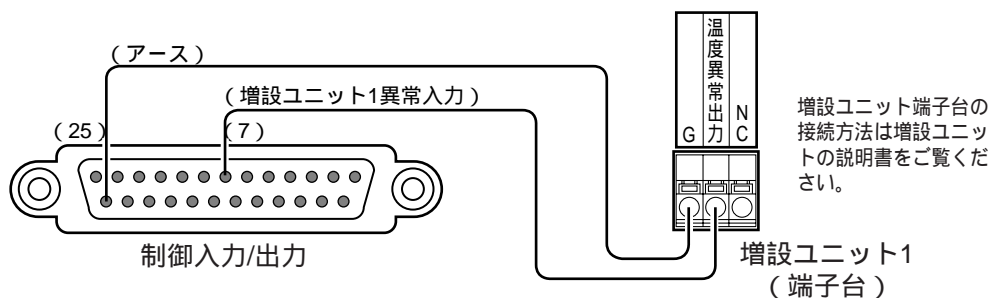
制御出力の接続

- ピン番号1～6, 18の信号出力には、ブザーやランプなどの警報装置を接続することにより、信号出力時にブザーを鳴らしたりランプを点灯して動作状態を知らせることができます。
- HDD残容量警告出力（6番ピン）の接続を例に説明します。



増設ユニット端子台との接続（制御入力）

- ピン番号7～13の信号入力には、別売の増設ユニットからの“温度異常出力”を接続します。
- 温度異常出力信号が入力されると、本機の障害検出アラームが発生します。
- 増設ユニット1異常入力（7番ピン）の接続を例に説明します。

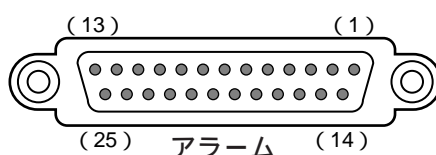


アラーム端子の接続例

この端子は、センサーやドアスイッチなど、アラームに関する装置を接続するときに使用します。また、シーケンス表示切換の同期をとるときにも使用します。

端子のピン配列と接続例は次のとおりです。使用するコネクタは、ピン配列に合わせて製作してください。

ピン配列 (D-sub25ピン)



ピン番号	名称	動作内容	備考
1	1CHアラーム入力	アラーム表示灯を点滅し、設定に従ったアラーム動作を行う	1
2	2CHアラーム入力		
3	3CHアラーム入力		
4	4CHアラーム入力		
5	シーケンス切換入力	シーケンス表示の切り換えを行う	
6	アラーム復帰出力	他の機器へアラーム状態の解除信号を出力	2
7	アース		
8	アラーム復帰入力	本機のアラーム状態を解除し、アラーム表示灯を点灯する	3
9	アラーム出力	アラーム発生時、アラーム信号を出力する	4
10	10CHアラーム入力	アラーム表示灯を点滅し、設定に従ったアラーム動作を行う	1
11	11CHアラーム入力		
12	12CHアラーム入力		
13	13CHアラーム入力		
14	アース		
15	5CHアラーム入力	アラーム表示灯を点滅し、設定に従ったアラーム動作を行う	1
16	6CHアラーム入力		
17	7CHアラーム入力		
18	8CHアラーム入力		
19	9CHアラーム入力		
20	アース		
21	+5V出力 (定格0.2 A)		
22	外部録画切換入力	内部タイマー録画のプログラムを切り換える	
23	14CHアラーム入力	アラーム表示灯を点滅し、設定に従ったアラーム動作を行う	1
24	15CHアラーム入力		
25	16CHアラーム入力		

1 : 設定により、N.O/N.C切換可能

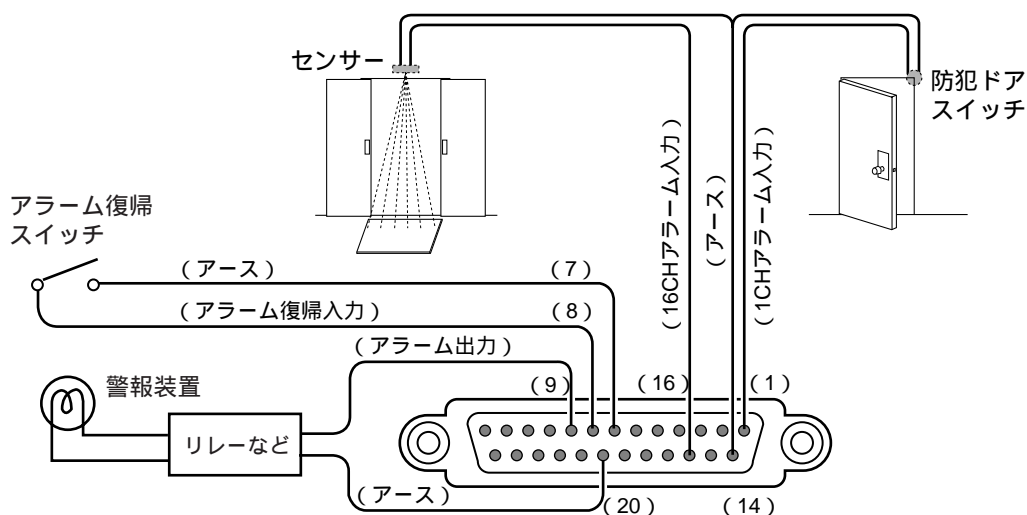
2 : HIGH (+5 V)

3 : 無電圧メーク接点入力

4 : オープンコレクタ出力 24 V、100 mA

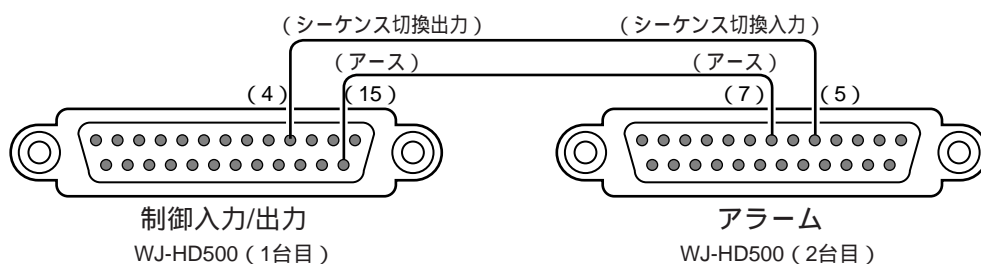
アラーム接続

- 1～16CHのアラーム入力に信号が入力されると、設定内容に従った録画動作やカメラ映像の表示を行います。
- アラーム復帰スイッチは、アラーム復帰ボタンと同じ役割をします。
- ブザーやランプなどの警報装置を外部に設置するときは、アラーム出力（9番ピン）に接続します。



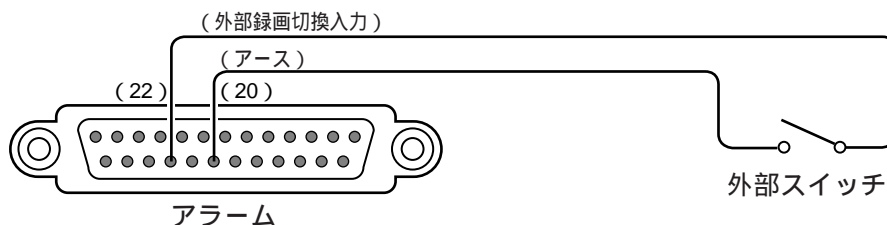
シーケンス表示切換の同期をとる（本機を複数台使用する場合）

- シーケンス切換入力に信号が入力されたタイミングでシーケンス表示を切り換えますので、本機を複数台使用する場合、画面の切換タイミングを合わせることができます。
- 2台目以降は、シーケンス設定メニューの“シーケンスタイミング”設定（[113ページ](#)）を“EXT”にします。



外部録画切換の接続

- スイッチを“入”にすると、内部タイマー録画のプログラムが切り換わります。
- 切り換わるプログラムは、タイマー録画設定メニューの“[ガイブ録画モード](#)”（[31ページ](#)）で設定したプログラムです。



シリアル端子の接続例

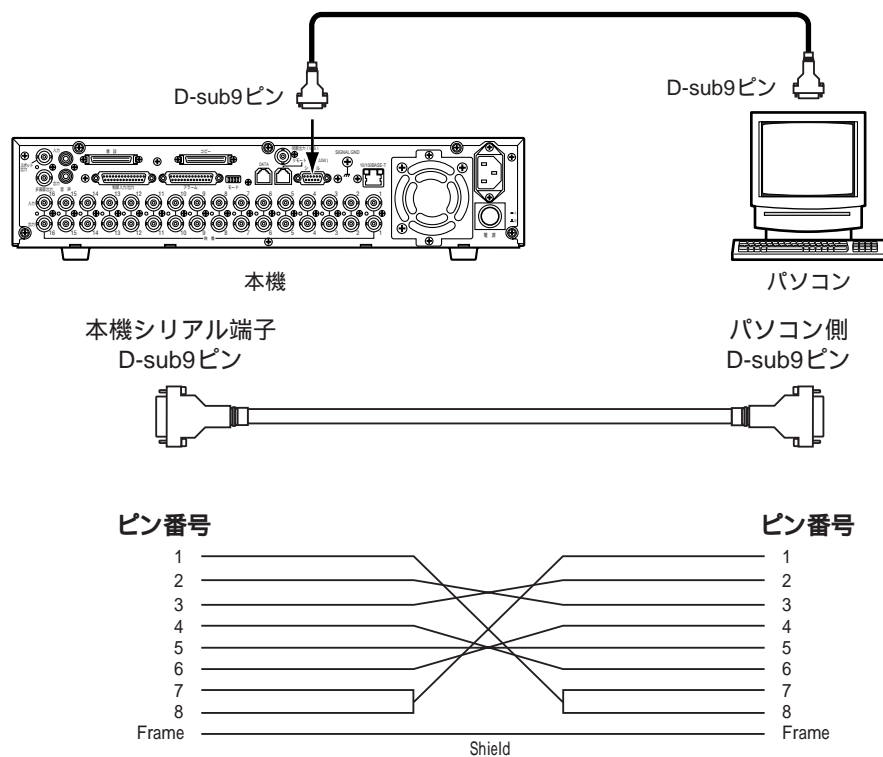
この端子はRS-232C規格に準拠しており、パソコンを接続して通信を行うときに使用します。

接続例とシリアル端子のピン配列は次のとおりです。

メモ

シリアル端子を使用するときは、RS232C設定メニューを表示して、通信機能の設定を行う必要があります。(128, 129ページ)

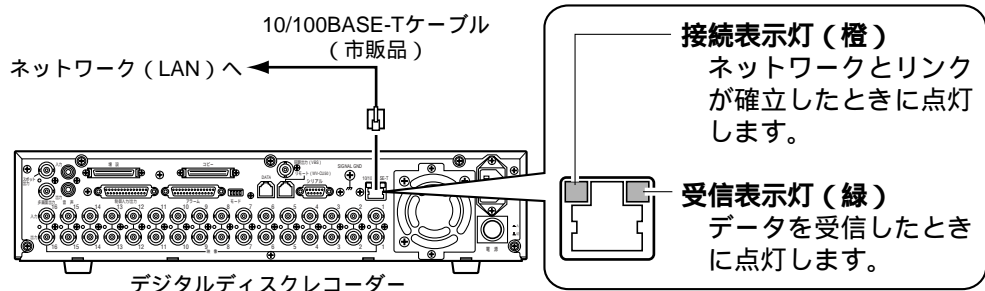
接続例、シリアル端子のピン配列



ネットワークインターフェースボード装着時の接続例

ネットワークインターフェースボードを使用すると、ネットワーク（LAN）に接続されているパソコンから本機を操作することができます。

詳細は、ネットワークインターフェースボードの「取扱説明書 設置ガイド」をご覧ください。



ラックへの取り付けかた

ラックへの取り付け

本機を取り付けるラックは、次のいずれかをご使用ください。

- スタンダードラック : WU-RS71 (当社製、収納ユニット数29U)
- ロングラック : WU-RL76 (当社製、収納ユニット数41U)
- EIA規格相当品 (他社製) : EIA19型、奥行き450 mm以上のもの

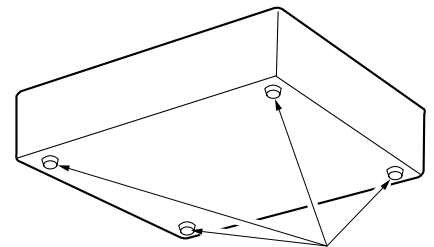
メモ

他社製ラックに取り付ける場合は、別売のラック取付ねじ W2-MSS/5008、またはM5×12ねじ(4本)が必要です。付属のラック取付ねじを使用すると、ラック取付部のねじ山を壊す恐れがあります。

1

底面のゴム足(4個)を外します。

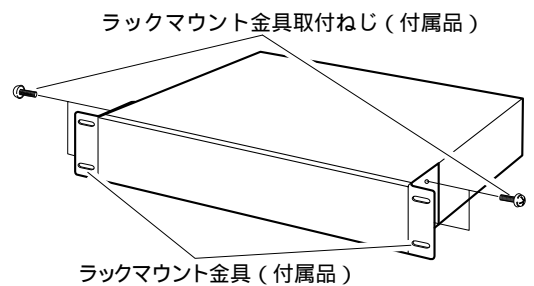
- マイナスドライバーで、ゴム足を固定しているねじを外してください。



2

本機の両側面に、ラックマウント金具を取り付けます。

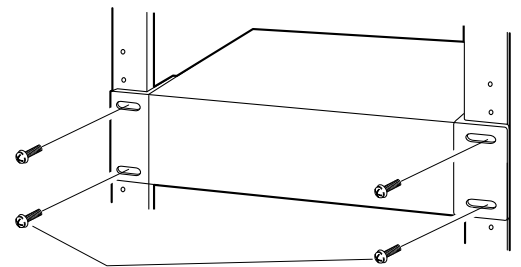
- ラックマウント金具取付ねじ(4本)で確実に固定してください。



3

本機をラックに取り付けます。

- ラック取付ねじ(4本)で確実に固定してください。



ラック取付ねじ
当社製ラックの場合：呼び径5タッピング(付属品)
他社製ラックの場合：W2-MSS/5008(別売品)、
またはM5×12(別売品)

重要!

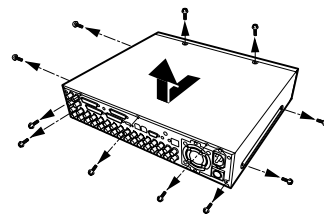
- ラック内の温度は、45℃以上にならないようにしてください。
- パワーアンプなど、発熱量の多い機器と一緒に取り付けるときは、1U以上の間隔をあけて、本機を下側に取り付けてください。

オプションボードの取り付けかた

ネットワークインターフェースボードを取り付ける

1

本機の電源を“切”の状態にします。



2

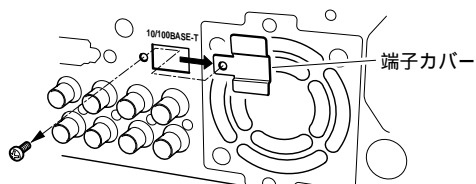
本体カバーを外します。

- 外したねじは、紛失しないように注意してください。

3

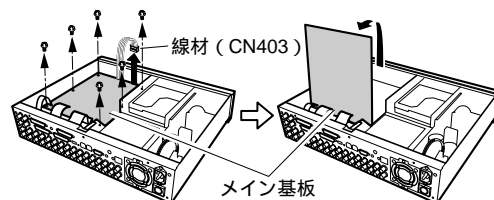
端子カバーを外します。

- 外したねじは、ボードを固定するときに使用しますので、紛失しないように注意してください。



4

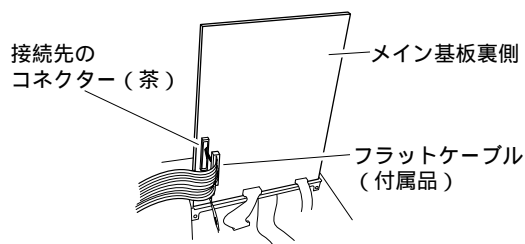
メイン基板を固定しているねじ（6本）と線材（CN403）を外し、メイン基板を起こします。



5

メイン基板の裏側にフラットケーブルを接続し、元の状態に戻します。

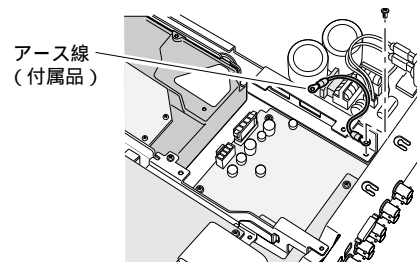
- 外したねじ（6本）で確実に固定してください。また、コネクタが外れていないか確認してください。



6

アース線を取り付けます。

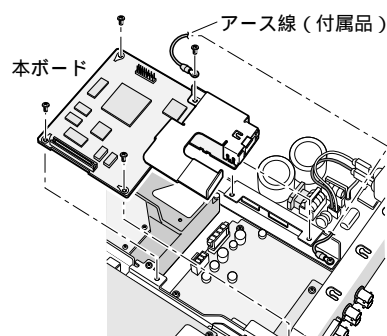
- 右図のように、本機に取り付けているねじを使用して、アース線を取り付けてください。



7

ボードを装着します。

- ボードに付属されている取付ねじ（4本）と手順3で外したねじを使用し、確実に固定してください。
- 手順6で取り付けたアース線も、右図のようにボードへ取り付けてください。



つづく

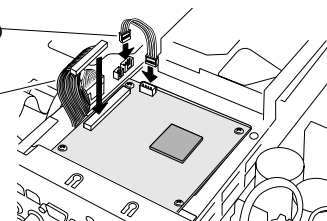
オプションボードの取り付けかた

8

フラットケーブルと電源コードを接続します。

電源コード (付属品)

フラットケーブル (付属品)



9

本体カバーを元どおりに取り付けます。(☞ 手順2参照)

モーションディテクターボードを取り付ける

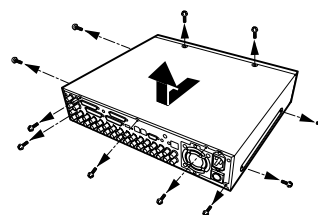
1

本機の電源を“切”の状態にします。

2

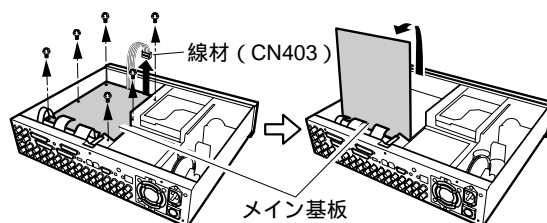
本体カバーを外します。

- 外したねじは、紛失しないように注意してください。



3

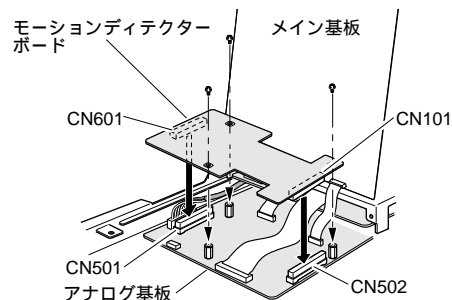
メイン基板を固定しているねじ (6本) と線材 (CN403) を外し、メイン基板を起こします。



4

アナログ基板にボードを装着します。

- ボードのコンネクター (CN601, CN101) とアナログ基板のコンネクター (CN501, CN502) を確実に接続してください。
- ボードに付属されている取付ねじ (3本) を使用し、確実に固定してください。



5

メイン基板を元の状態に戻します。(☞ 手順3参照)

- 外したねじ (6本) で確実に固定してください。また、コンネクターが外れていないか確認してください。

6

本体カバーを元どおりに取り付けます。(☞ 手順2参照)

システムの再構成について

本機では、次の内容が発生した場合、電源投入時のシステム確認において、前回使用時とのシステム構成の違いを検出し、DISKメニュー画面を表示するようになっています。

- 本機および増設ユニットのハードディスクを取り外した
- 本機および増設ユニットのハードディスクが故障した




このようなときは、システムの再構成（リンクハズシ）を行うことにより、本機および増設ユニットを使用できる状態にすることができます。

リンクハズシとは

- ハードディスクを取り外したり、ハードディスクが故障すると、そのままでは本機は使用できなくなります。
取り外したり、故障したハードディスクを無いものとして扱い、本機を使用できる状態にすることを“リンクハズシ”といいます。
- ハードディスクを取り外して“リンクハズシ”を実行すると、取り外したハードディスクを元に戻しても、そのハードディスクは使用できなくなります。
この場合、フォーマットを行う必要があります。

システムの再構成（リンクハズシ）手順

DISKメニュー画面が表示された状態から説明をの操作説明です。

1	 <p>どちらかを押す</p>	カーソルを“リンクハズシ”に合わせます。	リンクハズシ フォーマット リスタート
2	 <p>押す</p>	リンクハズシ画面を表示します。 ●リンクハズシの対象は、“LOST”および“*”が表示されているハードディスクです。	<pre>リンクハズシ ホントイ 1:30GB 2:30GB EXT5 1:30GB 2:30GB 3:30GB 4:30GB EXT4 1:* 2:* 3:ADD 4:ADD EXT3 1:LOST 2:LOST 3:LOST 4:LOST EXT2 1:LOST 2:LOST 3:LOST 4:LOST EXT1 1:- 2:- 3:- 4:- EXT0 1:- 2:- 3:- 4:- EXT DVD:-</pre>
3	 <p>どちらかを押す</p>	カーソルを“YES”に合わせます。	ジッコウシマスカ? YES NO

つづく

4



リンクハズシを実行します。

- 実行中は、画面下部に“リンクハズシ ジッコウチュウ シバラク オマチクダサイ”と表示されます。

```

リンクハズシ
ホントイ 1:30GB 2:30GB
EXT5 1:30GB 2:30GB 3:30GB 4:30GB
EXT4 1:* 2:* 3:LOST 4:LOST
EXT3 1:- 2:- 3:- 4:-
EXT2 1:- 2:- 3:- 4:-
EXT1 1:- 2:- 3:- 4:-
EXT0 1:- 2:- 3:- 4:-
EXT DVD:-

リンクハズシ ジッコウチュウ シバラク オマチクダサイ
    
```

5

リンクハズシが終了すると、画面下部に“リンクハズシガ シュウリョウシマシタ!”と表示されます。

- 約5秒後に通常画面（カメラ映像）が表示されます。

```

リンクハズシ
ホントイ 1:30GB 2:30GB
EXT5 1:30GB 2:30GB 3:30GB 4:30GB
EXT4 1:- 2:- 3:- 4:-
EXT3 1:- 2:- 3:- 4:-
EXT2 1:- 2:- 3:- 4:-
EXT1 1:- 2:- 3:- 4:-
EXT0 1:- 2:- 3:- 4:-
EXT DVD:-

リンクハズシガ シュウリョウシマシタ!
    
```

リンクハズシ画面

```

リンクハズシ
ホントイ 1:30GB 2:30GB
EXT5 1:30GB 2:30GB 3:30GB 4:30GB
EXT4 1:* 2:* 3:ADD 4:ADD
EXT3 1:LOST 2:LOST 3:LOST 4:LOST
EXT2 1:LOST 2:LOST 3:LOST 4:LOST
EXT1 1:- 2:- 3:- 4:-
EXT0 1:- 2:- 3:- 4:-
EXT DVD:-

LOST、* DISKノ リンクハズシマスカ? YES NO
YES/NO ラ選択シ セットキーヲ オシテクダサイ
    
```

ハードディスクの状態表示

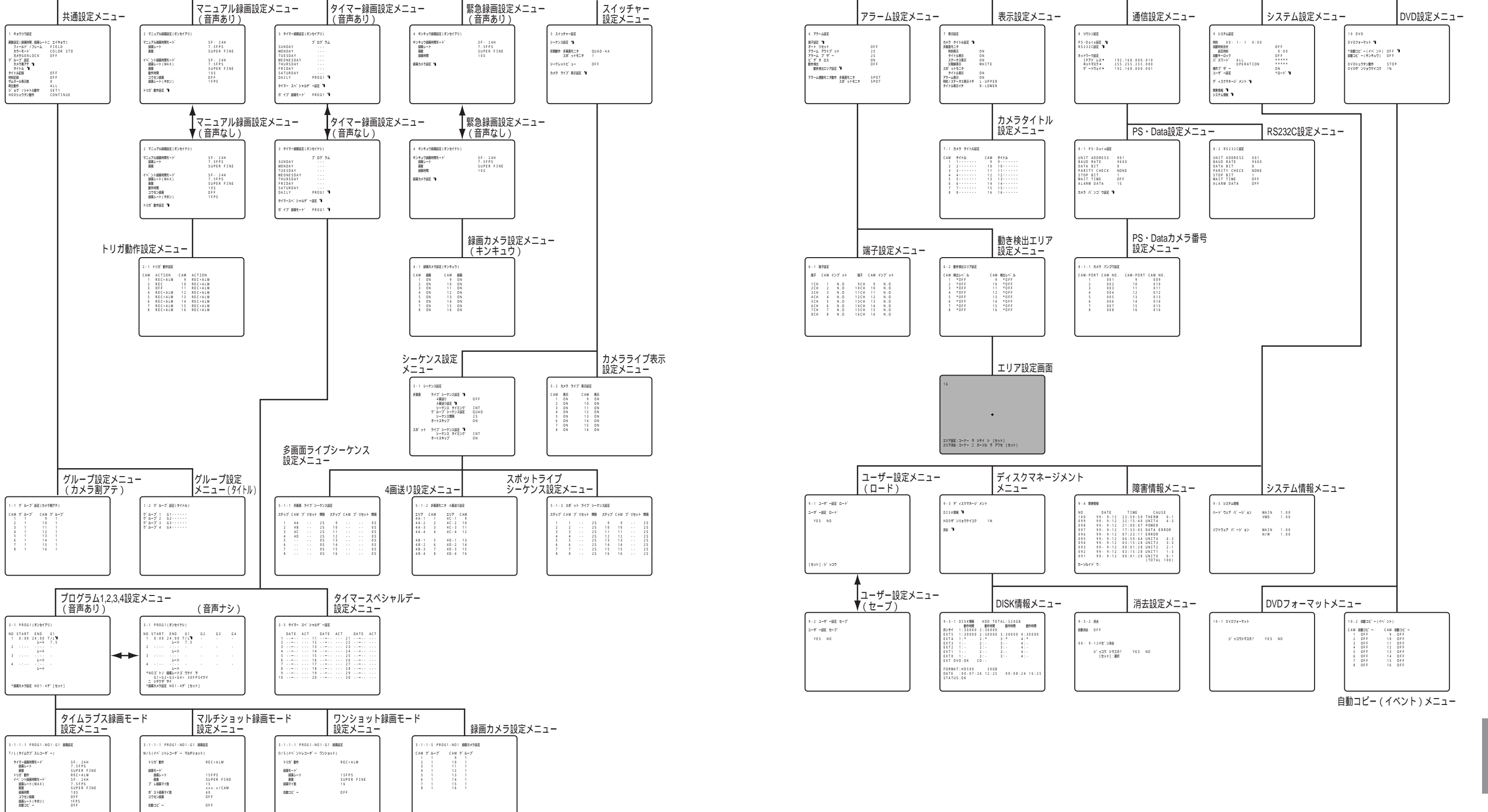
- LOST : 前回存在し、今回ハードディスクが取り外された
- * : ハードディスクが故障または交換された

リンクハズシ設定確認

- YES : リンクハズシを実行します
- NO : DISKメニュー画面に戻ります

セットアップメニュー

メニュー項目	1.00
初期設定	INT
カメラ設定	INT
音声設定	INT
映像設定	INT
録画設定	INT
表示設定	INT
システム設定	INT
その他	DVD



タイムラプス録画モード設定メニュー

メニュー項目	1.00
タイムラプス録画モード	INT
カメラ設定	INT
音声設定	INT
映像設定	INT
録画設定	INT
表示設定	INT
システム設定	INT
その他	DVD

マルチショット録画モード設定メニュー

メニュー項目	1.00
マルチショット録画モード	INT
カメラ設定	INT
音声設定	INT
映像設定	INT
録画設定	INT
表示設定	INT
システム設定	INT
その他	DVD

ワンショット録画モード設定メニュー

メニュー項目	1.00
ワンショット録画モード	INT
カメラ設定	INT
音声設定	INT
映像設定	INT
録画設定	INT
表示設定	INT
システム設定	INT
その他	DVD

録画カメラ設定メニュー

メニュー項目	1.00
録画カメラ設定	INT
カメラ設定	INT
音声設定	INT
映像設定	INT
録画設定	INT
表示設定	INT
システム設定	INT
その他	DVD

その他

メニュー項目	1.00
その他	DVD

その他

メニュー項目	1.00
その他	DVD

故障と思われましたら

修理を依頼される前に、次のことをご確認ください。

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ ●付属の電源コードが、本機に確実に差し込まれていますか？ 	-
多画面モニター、スポットモニターにカメラ映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラのレンズキャップは外しましたか？ ●カメラや接続機器の電源は入っていますか？ ●ケーブルは正しく接続されていますか？ ●モニターの輝度調整、コントラスト調整は正しくされていますか？ 	-
映像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラのレンズにゴミやほこりが付着していませんか？ ●カメラのピントは正しく調整されていますか？ 	-
ボタン操作ができない メニューを開けない	<ul style="list-style-type: none"> ●パスワードを設定していませんか？ 	60～63
録画時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> ●外部増設ユニットの電源は入っていますか？ ●ケーブルが抜けていませんか？ 	-
時刻がずれる	<ul style="list-style-type: none"> ●内蔵バックアップ電池は充電されていますか？ ●内蔵バックアップ電池が消耗していませんか？ 	8
アラーム録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●アラーム信号は正しく入力されていますか？ 	144, 145
	<ul style="list-style-type: none"> ●アラーム端子設定はできていますか？ 	120
マニュアル録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●タイマーモードが“OFF”に設定されていますか？ 	28
内部タイマー録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●タイマー設定はされていますか？ ●タイマーモードが“INT”に設定されていますか？ 	30～33
外部タイマー録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●正しく接続されていますか？ 	34
	<ul style="list-style-type: none"> ●タイマーモードが“EXT”に設定されていますか？ 	
マトリクススイッチャーシステムの設定メニューが録画できない	<ul style="list-style-type: none"> ●ノンインターレース信号で表示された設定メニューは録画できません。マトリクススイッチャーシステムの設定メニューはノンインターレース信号のため、本機では録画できません。 	-
録画中、ハードディスクの残容量が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●HDDシュウタン動作設定が“STOP”に設定されていますか？ <p>“STOP”以外の設定では表示されません。また、他の設定から“STOP”に変更した場合、残容量が正しく表示されないことがあります。</p>	91
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ●録画されていますか？ 	-
アラーム発生時、ブザーが鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> ●アラームブザーの設定を“OFF”にしていませんか？ 	118

仕様

基本仕様

電源	AC100 V 50/60 Hz
消費電力	約55 W
使用温度範囲	+5 ~ +45
外形寸法	幅420 mm 高さ88 mm 奥行き350 mm
質量	約7.5 kg

入出力

映像	映像入力	1 V [p-p] / 75 、自動終端ループスルー付き、16系統 (BNC)
	映像出力	1 V [p-p] / 75 、ループスルー出力、16系統 (BNC)
	スポット出力	1 V [p-p] / 75 (BNC)
	多画面出力	1 V [p-p] / 75 (BNC)
音声	音声入力	- 10 dB 不平衡、モノラル (ピンジャック)
	音声出力	- 10 dB 不平衡、モノラル (ピンジャック)
その他	増設	SCSIインターフェース (D-subハーフピッチ50ピン)
	コピー	SCSIインターフェース (D-subハーフピッチ50ピン)
	制御入力/出力	グループ1~4録画中出力、マニュアル録画中出力、緊急録画中出力、シーケンス切換出力、HDD残容量警告出力、増設ユニット1~6異常入力、DVD増設ユニット異常入力、装置異常出力、停電検出入力、停電処理中出力、停電処理完了出力、緊急録画入力、時刻合わせ入力、時刻合わせ出力 (D-sub25ピン)
	アラーム	1~16CHアラーム入力、シーケンス切換入力、アラーム復帰入力、アラーム復帰出力、アラーム出力、+5 V出力、外部録画切換入力 (D-sub25ピン)
	DATA	RS-485 (RJ-11)
	リモート	専用リモコン用2線式シリアル (RJ-11)
	同期出力	BBS 0.43 V [p-p] / 75 (BNC)
	シリアル	RS-232C (D-sub9ピン)
	10/100BASE-T	10BASE-Tおよび100BASE-TX (RJ-45)

ネットワークインターフェースボード (別売品) 装着時

仕上げ

パネル	AVアイボリー焼付塗装 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)
カバー	AVアイボリー塗装鋼板 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

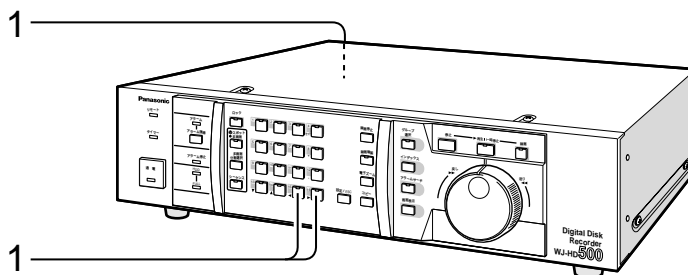
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。

初期設定（工場出荷状態）に戻す

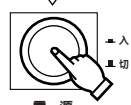
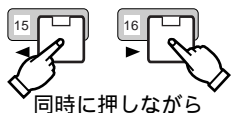
本機の設定内容を工場出荷時の状態に戻す操作方法です。

この操作を行うと、パスワードの設定も初期設定（12345）に戻りますので、設定されていた操作者認証機能も解除されます。

初期設定（工場出荷状態）に戻す操作方法



1



“入”にする

◀、▶ カーソルボタンを同時に押しながら、電源を“入”にします。

- 設定内容が、初期設定（工場出荷状態）に戻ります。

パスワードの確認方法

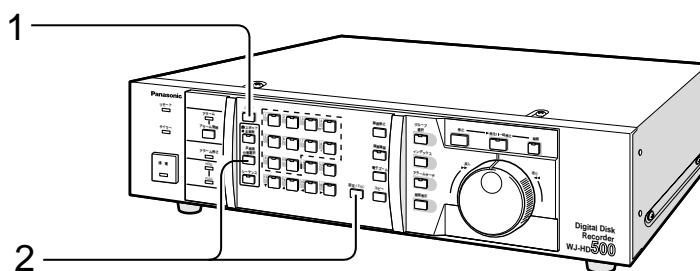
メモ

このページは、システム管理者が切り取って保管することをおすすめします。

操作者認証機能 (60ページ) にて設定したパスワードを忘れてしまったときの確認方法です。

この操作を行うと、ALLパスワードを確認することができます。

パスワードの確認操作



1



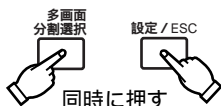
ロック

押す

パスワード入力画面を表示します。

PASSWORD > -----

2



多画面
分割選択

設定 / ESC

同時に押す

パスワードを確認します。

- ALLパスワードが表示されます。

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は...

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタルディスクレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

154ページに従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、電源スイッチを「切」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
 - 技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
 - 部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。
 - 出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

品名	デジタルディスクレコーダー
品番	WJ-HD500A
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WJ-HD500A
	販売店名	☎ () -				

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 セキュリティ&セーフティ事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)